

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 水戸ビューティカレッジ
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容学科	夜・通信	1800	160	
	総合ビューティ学科	夜・通信	1962	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html> で公開する

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 水戸ビューティカレッジ
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html>で公開する

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	旅行会社 相談役	2018. 4. 1 ～ 2021. 3. 31	企画
非常勤	一般企業 営業本部長	2018. 4. 1 ～ 2021. 3. 31	コンプライアンス
非常勤	一般企業 支店長	2018. 4. 1 ～ 2021. 3. 31	労務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 水戸ビューティカレッジ
設置者名	学校法人 八文字学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師法に基づき美容師養成施設に関する美容師免許証の取得の為、所定の学科・実習授業科目、授業時間、成績評価に準ずる。</li> <li>・8月、3月頃に編成委員会において審議</li> <li>・授業計画の変更があった場合、年度末までに厚生労働省に提出</li> <li>・年度初めにホームページにて公表</li> </ul>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p><a href="http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html">http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html</a> で公開する</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師法に基づき美容師養成施設に関する美容師免許証の取得の為、所定の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施。</li> <li>・科目修得の認定は試験によるものとし、試験は原則として学期末に、その履修科目について筆記、レポート、実技などの適切な方法によって行う。</li> <li>・成績の評価は、A・B・Cを合格とし、Dは不合格とする。</li> <li>・評価にあたっては、所定の点数が充たされていない場合は不合格とする。</li> </ul>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・履修科目の成績評価を点数化し全科目の合計点で各学年の順位を算定する。</li> <li>・学期末試験を行い、履修科目の成績評価を点数化し、合計点で各学年の順位付けを実施。1/4以下の学生に対して、個別指導や三者面談を実施し、成績を促す。</li> <li>・成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価</li> <li>・A (80点以上)・B (60点～79点)・C (40点～59点)・D (不合格)</li> </ul>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html">http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html</a> で公開する
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師免許証取得、資格検定所得を到達目標とし、所定の就業年限(2年)以上在学し、所定の授業科目及び所定の授業時間数(2040時間)を履修していること。また、学期末試験において所定の授業科目の修得が認定されていること。</li> <li>・学校教育法(昭和22年法律第26号)及び美容師法(昭和32年法律163号)に基づき、美容に関する知識・技能を修得させ、あわせて社会人としての教養と、豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成することを目的とする。</li> </ul>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html">http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html</a> で公開する

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 水戸ビューティカレッジ
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html">http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html">http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html</a>
財産目録	学校事務局備え付け・閲覧、入手方法・コピー配布可
事業報告書	学校事務局備え付け・閲覧、入手方法・コピー配布可
監事による監査報告（書）	学校事務局備え付け・閲覧、入手方法・コピー配布可

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040 単位時間/単位	750 単位時間 /単位		990 単位時間 /単位		300 単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
380人		126人	0人	14人	10人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 美容師法に基づき美容師養成施設に関する美容師免許証の取得の為、所定の学科・実習授業科目、授業時間に準じカリキュラムを構成している。
成績評価の基準・方法
（概要） ・美容師法に基づき美容師養成施設に関する美容師免許証の取得の為、所定の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施。 ・学期末試験、出席状況、授業態度による点数評価及び課題提出物の評価。 ・成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価 ・A（80点以上）・B（60点～79点）・C（40点～59点）・D（不合格）
卒業・進級の認定基準
（概要） ・所定の授業科目及び所定の授業時間数を履修していること。また、学期末試験において所定の授業科目の修得が認定されていることが進級の認定条件。（進級時 970時間） ・所定の就業年限（2年）以上在学し、所定の授業科目及び所定の授業時間数を履修していること。また、学期末試験において所定の授業科目の修得が認定されていることが卒業の認定条件。（卒業時 2040時間）

学修支援等 (概要) 1/4以下の学生に対して、個別面談や三者面談等の指導を実施する。
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	36人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容室、美容業界			
(就職指導内容) 1年次の10月から3月にかけて、校内ガイダンス開催。就職活動のための資料公開 (求人票、昨年の求人データ)			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
100人	12人	12.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、学習意欲の低下、企業等への就職、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 美容通信課程への進路変更、学生に対してのカウンセリング。保護者を交えての三者面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	総合ビューティ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2070 単位時間/単位	324 単位時間 /単位	単位時間 /単位	72 単位時間 /単位	1674 単位時間 /単位	
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		19人	0人	14人	10人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきメイク、ネイル、ジェルネイル、エステティックの基礎・応用技術など学び、メイク、ネイル、ジェルネイル、エステティック資格検定取得を目指し、社会常識・コンピュータ活用能力・ビジネスマナー関連知識などの幅広い知識についても学び、実務的な職業能力を高め即戦力となる人材育成を目的としたカリキュラムを構成している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末試験、出席状況、授業態度による点数評価及び課題提出物の評価。</li> <li>・成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価</li> <li>・A（80点以上）・B（60点～79点）・C（40点～59点）・D（不合格）</li> </ul>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所定の授業科目及び所定の授業時間数を履修していること。また、学期末試験において所定の授業科目の修得が認定されていることが進級の認定条件。（進級時 970時間）</li> <li>・所定の就業年限（2年）以上在学し、所定の授業科目及び所定の授業時間数と履修していること。また、学期末試験において所定の授業科目の修得が認定されていることが卒業の認定条件。（卒業時 2070時間）</li> </ul>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>1/4以下の学生に対して、個別面談や三者面談等の指導を実施する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容業界			
(就職指導内容) 1年次の10月から3月にかけて、校内ガイダンス開催。就職活動のための資料公開 (求人票、昨年の求人データ)			
(主な学修成果（資格・検定等）) AEA 上級エステティシャン・JNEC ネイリスト技能検定3級 MSOJ メイクアップ検定2級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	3人	15.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、学習意欲の低下、企業等への就職、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生に対してのカウンセリング。保護者を交えての三者面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容学科	150,000 円	600,000 円	740,000 円	その他 (実習費, 施設設備費, 教材費, 学生研修費・保険料等)
総合ビューティ学科	150,000 円	600,000 円	710,000 円	その他 (実習費, 施設設備費, 教材費, 学生研修費・保険料等)
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html">http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html</a> で公開する		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校の学校評価は、本校が自らの教育活動、その他の学校運営について、組織的、継続的な改善を図り、その説明責任を果たすこと、及びそれによって、企業等からの理解と参画を得て、その連携協力による教育を推進することにより、職業教育の水準の維持向上が図られることを期して行うものである。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
茨城県美容業生活衛生同業組合 監事	平成 30 年 11 月 1 日～ 令和 5 年 10 月 31 日	団体役員
タカラベルモント株式会社 北関東理美容営業所 所長	平成 30 年 11 月 1 日～ 令和 5 年 10 月 31 日	企業等委員
株式会社ティーエムプロジェクト 代表取締役	平成 30 年 11 月 1 日～ 令和 5 年 10 月 31 日	企業等委員
堤理美容商事株式会社 代表取締役社長	平成 30 年 11 月 1 日～ 令和 5 年 10 月 31 日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html">http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html</a> で公開する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html">http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html</a> で公開する
--

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(衛生専門課程美容学科) 令和2年度																
分類			実務経験	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○				関係法規・制度	美容師になるために必要な、法規として、法制度の概要、衛生行政の概要、美容師法、その他の関連法規について学習する。	2通	30		○			○				
○			○	衛生管理Ⅰ	美容の業を通して、公衆衛生の維持と増進への責務の重要性を学習する。 サロンで行われている衛生措置を把握させ、公衆衛生の重要性を学習する。	1通	50		○			○			○	○
○			○	衛生管理Ⅱ	微生物の種類、増殖と環境への影響について学習する。 又、人体の免疫や、病原菌と人体の感受性を学び、感染症対策について学習する。	1通	40		○			○			○	○
○			○	美容保健	人体の構造及び機能を学び、理解させる。又業務上、刃物や薬品を使用するため、皮膚や毛髪に関する知識が必要なるため、皮膚やその付属機関に関する知識を学習する。	2通	90		○			○			○	
○			○	化粧品化学	物理の分野では、熱、光、電気等で美容師が使用する器具や用具に関連する知識、化学の分野では化粧品を中心に学習する。	2通	60		○			○			○	
○			○	美容文化論	日本や海外の美容ファッションの変遷、流行について学び、また、服飾の歴史、衣服の種類なども学び美容業との関連性を学習する。	2通	60		○			○			○	
○			○	美容技術理論	美容用具の適切な管理や使用方法、美容技術については技術を理論的に説明できるように学ぶ。また、施術前のカウンセリングなども学習する。	2通	150		○			○			○	○
○				美容運営管理	美容師として必要な接客の役割や心構え、マーケティングや経営者として必要な経営管理、労務管理、健康管理を学習する。	2通	30		○			○			○	

(衛生専門課程美容学科) 令和2年度																
分類			実務経験	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			○	美容実習	ワインディング、オールウェーブ、カットの基本技術から、サロンワークに必要なシャンプー、カラー、ブローなどの技術を修得する。	2通	900			○	○		○		○	
	○			コンピュータ実習Ⅰ	ワープロソフトを使用して、ビジネス文書の作成から簡単なポスター作成までを学習する。	1通	60			○	○		○			
	○			コンピュータ実習Ⅱ	表計算ソフトを使用して、四則演算、関数を用いての演算、グラフの作成などの学習をする。	1通	30			○	○		○			
	○		○	美容総合	基本のまつ毛エクステンション基礎知識・技術・施術をする上での注意点等を修得する。	1通	60		△	○	○		○			
	○		○	社会福祉	社会福祉、社会保障制度、社会福祉と事業の仕組み、社会福祉専門事業者等について学習する。	1通	30		○	△	○			○		
	○			日本文化	日本髪の種類、特徴を理解させ、その歴史やファッション史についても学習する。また、和服についても着付けを通して、美しさを引き立てるための技術を学習する。	1通	30		○		○		○			
	○		○	日本文化	日本髪の種類、特徴を理解させ、その歴史やファッション史についても学習する。また、和服についても着付けを通して、美しさを引き立てるための技術を学習する。	1通	30		○		○		○			
	○		○	ビジネス実務	企業から求められる人物像、社会人として身に付けるマナー、知識を中心に、職業観、勤労観を学習する。	2通	60		○		○		○			
	○		○	エステティック技術	フェイシャルハンドマッサージ、エステ機器を使って吸引技術、パターマッサージを修得する。	1通	60			○	○			○	○	
	○		○	メイク・アップ	スキンケアからベースメイク、アイメイクを学び、一人ひとりに合わせたパーソナルメイクを学習する。	2通	60		△	○	○		○			

(衛生専門課程美容学科) 令和2年度																
分類			実務経験	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			ネイル・ケア	ネイルケア、カラーリングなどの基礎技術から、ネイルチップでネイルアートを修得する。 また爪の構造、病気等の衛生面についても学習する。	2通	60		△		○	○		○		
	○		○	ヘア・デザイン	雑誌、写真集などを参考にして、トレーシングペーパーに書写し、デッサンについて学習する。	1通	60				○	○		○		
	○		○	美容総合技術	サロンでの接客や接遇マナーを学習する。また、シャンプーのロールプレイングなどを通して、必要な技術、知識を修得する。	2通	90		○		△	○		○		
合計				21 科目		1800 単位時間 ( 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：定められた履修時間、2040 時間をすべて履修する。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業時間	20 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(衛生専門課程総合ビューティ学科) 令和2年度																
分類			実務経験	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			○	メイクアップⅠ	メイクアップ概論、形態学、色彩、スキンケア、ベースメイク、アイメイク、リップメイクなどの基礎知識を修得する。	1通	216		△		○	○		○	○	○
○			○	メイクアップⅡ	イメージメイク、ブライダルメイク、映像メイク、舞台メイクなど応用メイクの知識、技術を修得する。	1通	180		△		○	○		○	○	○
○			○	ネイルケアⅠ	ネイルケア、カラーリング、フラットアート、リペアなどの基礎知識、技術を修得する。	1通	108		△		○	○		○	○	○
○			○	ネイルケアⅡ	アクリルネイル（エンボスアート、3Dアート等）、ジェルネイルの技術を修得し、卒業作品を制作する。	1通	216		△		○	○		○	○	○
○			○	エステティック技術Ⅰ	ボディ、フェイシャル、脱毛の基礎知識、接客対応、ボディトリートメント等を修得する。	1通	306		△		○	○		○		○
○			○	エステティック技術Ⅱ	カウンセリングやエステ機器を使用した、ボディ、フェイシャル等の応用技術を修得する。	1通	216		△		○	○		○		○
○			○	エステティック学科Ⅰ	エステティック概論、皮膚科学、解剖生理学、運動生理学、栄養学、化粧品学、関連法規、衛生消毒、救急法について学習する。	1通	72		○			○		○		
○			○	エステティック学科Ⅱ	エステティック電気学、機器学、カウンセリング、サロンマネジメント、東洋西洋のセラピー、脱毛学、について学習する。	1通	108		○			○		○		
○			○	美容総合技術Ⅰ	まとめ髪、アップスタイル等の基礎技術を修得する。	1通	180				○	○		○		
○			○	美容総合技術Ⅱ	着付けの身だしなみ、作法等を修得する。	1通	144				○	○		○		
○			○	色彩学	色の分類、見え方、感情、色名などの基礎を学習する。	1通	18		○			○			○	
○			○	ビジネス	企業から求められる人物像、社会人として身に付けるマナー、知識を中心に、職業観、勤労観を学習する。	1通	18		○			○		○		

(衛生専門課程総合ビューティ学科) 令和2年度																
分類			実務経験	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			○	サービス 接客	接客マナー、コミュニケーション能力、社内・社外文書等社会人として必要なビジネスマナーについて学習する。	1通	36		○			○				○
○			○	メイク学科	美容皮膚科学、メイクアップ、生活習慣美容について学習する。	2通	36		○			○				○
○				アロマ セラピー	アロマセラピーの歴史、利用法、精油についての基礎知識、プロフィールについて学習する。	1通	18		○			○				○
○				コンピュータ 実習Ⅰ	ワープロソフトを使用して、ビジネス文書の作成から簡単なポスター作成までを学習する。	1通	36				○	○				○
○				コンピュータ 実習Ⅱ	表計算ソフトを使用して、四則演算、関数を用いたの演算、グラフの作成などを学習する。	1通	36				○	○				○
	○		○	選択 (メイク・ ネイル・エ ステ)	メイク、ネイル施術全般の応用技術を復習する。ボディ、フェイシャル、脱毛、エステ機器等の応用技術を復習する。	1通	10 8				○	○				○
○				社会常識	社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことによって、社会人としての心構えを養い、さらに、専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術、文化など幅広い教養を身に付けることによって、人間性豊かな人格の形成を目指すものである。	1通	18		○			○				○
合計				19 科目		1962 単位時間 ( 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：定められた履修時間、2070 時間をすべて履修する。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業時間	20 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

教科目名	コンピュータ実習 I	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	なし <水戸経理専門学校にて教員歴あり>		
授業方法	実習		
授業内容	ワードの基本と応用、文書入力		
年間授業時間数	60 時間		
到達目標	一般的な文書作成の修得		
成績評価の方法・基準	出席状況、授業態度、提出物、試験結果を基に、A : 80 点以上、B : 60 点～79 点、C : 40 点～59 点、D (不可) : 40 点未満の評価とする。		

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
4 時間	1. Windows の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パソコンの起動と終了</li> <li>・ マウスの操作</li> <li>・ キーボードの操作</li> <li>・ Windows の操作</li> </ul>	● オペレーティングシステムの特徴と機能を理解する。	
8 時間	2. Word 入門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MS-IME の利用</li> <li>・ 文字の入力と訂正</li> <li>・ 漢字、カタカナ、ローマ字変換</li> </ul>	● 各種変換と文字入力の基礎を修得する。	
8 時間	3. 文章の入力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書式設定</li> <li>・ 保存と読み込み</li> <li>・ 複写、移動、削除</li> <li>・ 読めない漢字やローマ字の含む文章の入力</li> </ul>	● 文章の入力に必要な基本操作を修得する。	
6 時間	4. 画像の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行内に画像を挿入</li> <li>・ 文字列と画像を横並びに配置</li> <li>・ 画像のコピーとグループ化</li> <li>・ 画像を文字列の背面に置く</li> </ul>	● 画像の挿入及び配置を修得する。	
8 時間	5. 文書作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文書の基本形式</li> <li>・ 右揃えや中央揃えなどの機能</li> <li>・ 太字や下線、フォントサイズなどの機能</li> <li>・ 均等割付や段落番号の付け方</li> </ul>	● 文書作成の基本を修得する。	
14 時間	6. 罫線を利用した文書作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本の表作成</li> <li>・ 表の配置、セル内の配置</li> <li>・ 表のサイズ・行高や列幅の変更</li> <li>・ セルの結合、罫線の書式設定</li> <li>・ 表内の塗りつぶし、表内の均等割付</li> <li>・ 表内の文字位置の配置</li> <li>・ 表のスタイルの変更</li> </ul>	● 罫線を利用した文書作成を修得する。	
8 時間	7. ビジュアルな文書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 段組み、セクション区切り</li> <li>・ ドロップキャップ、ページ罫線</li> <li>・ ワードアートの利用</li> <li>・ 文字の効果と体裁</li> <li>・ 図形の利用</li> <li>・ テキストボックスの利用</li> </ul>	● ビジュアルな文書の作成方法を修得する。	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
2 時間	8. 差し込み印刷	<ul style="list-style-type: none"><li>・差し込み印刷のデータ作成</li><li>・差し込み印刷による印刷</li></ul>	●差し込み印刷の操作の修得。	
2 時間	9. 他アプリケーションとの連携	<ul style="list-style-type: none"><li>・他のアプリケーションからデータの貼り付け</li><li>・他のアプリケーションのデータ変更及び表示</li></ul>	●他のアプリケーションとの連携を理解する。	
年間授業時間数				60 時間

教科目名	ネイル・ケア	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	なし		
授業方法	実習／講義		
授業内容	基礎理論（ネイルの歴史、爪の構造と働き）、ネイルケア、フラットアート		
年間授業時間数	30時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきネイルケア基礎・応用技術、知識を学び、資格検定取得、実務的な職能能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価。</li> <li>・A（80点以上）・B（60点～79点）・C（40点～59点）・D（不合格）</li> <li>・学期末に期末試験を実施、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各出席状況、授業態度も評価対象とする。</li> </ul>		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3時間	1. ネイルの基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイルの歴史</li> <li>・ネイルの技術体系</li> <li>・爪の構造と働き</li> <li>・ネイルのための皮膚科学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>・爪の病気とトラブル</li> <li>・消毒法</li> <li>・マッサージ理論、化粧品学（ネイル用化粧品）</li> <li>・色彩学</li> <li>・カウンセリング、プロフェッショナルリズム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ネイルの基礎知識、技術の重要ポイントを抑え、学ばせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※JNAテクニカルシステム</li> <li>※ベーシック</li> </ul>
3時間	2. ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイルケア手順</li> <li>・ファイリング→キューティクルケア</li> <li>・デモンストレーション（トレーニング相モデル）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ネイルケア手順の理解</li> <li>●プッシャー、ニッパー持ち方、使用法の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※スクールキット</li> <li>※お湯</li> </ul>
3時間	3. ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレマニキュア</li> <li>・テーブルセッティング～消毒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テーブルセッティング、技術者、モデルの消毒の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※スクールキット</li> </ul>
3時間	4. ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイリング手順、ファイルの持ち方カットスタイル（ハンド）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ファイリングの手順、5種類のカットスタイルの理解（スクエア、スクエアオフ、ラウンド、オーバル、ポイント）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※スクールキット</li> </ul>
3時間	5. ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キューティクルクリーン（トレーニング相モデル）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ニッパー、プッシャーの手順、使用法の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※スクールキット</li> </ul>
2時間	6. ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドマッサージ</li> <li>・デモンストレーション（トレーニング相モデル）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マッサージの効果と目的</li> <li>●マッサージ手法の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※スクールキット</li> </ul>

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
9 時間	7. ネイルケア	・ プレマニキュア→ファイリング→キューティクルクリーン (トレーニング相モデル)	● プレマニキュア～キューティクルクリーンまでの手順の理解	※スクールキット ※お湯
3 時間	8. 期末試験（前期）	・ プレマニキュア～キューティクルクリーンまで相モデルの実技試験	● これまでに学習範囲について理解度を確認する	
1 時間	9. 期末試験（後期）	・ JNEC ネイリスト技能検定試験 3 級内容	● これまでに学習範囲について理解度を確認する	
年間授業時間数				30 時間

教科目名	ビジネス実務	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験 10年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	業務の基本、対人関係とコミュニケーション、仕事の実践、対人関係・チームワークとコミュニケーション、社会人常識マナー		
年間授業時間数	30時間		
到達目標	社会人として覚えてもらいたい常識		
成績評価の方法・基準	授業・ノート提出・出席・テスト 60点以上		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
14時間	1. 社会人としての常識	・社会人常識マナー (検定プリント)	●社会人としての常識やマナーを学ばせる。	
1時間	2. 社会人としての常識	・社会人常識マナー (テスト)	●社会人としての常識やマナーを学ばせる。	
2時間	3. 就職	・履歴書作成		
4時間	4. 電話対応	・電話対応のポイント ・かけ方のポイント ・取り次ぎ対応のポイント ・電話予約の対応 ・実技体験	●電話対応のポイントを学ぶ ●印象の良い対応を学ぶ ●敬語の基本的な使い方を学ぶ ●体験を通し、流れを学ぶ	
4時間	5. 接客対応	・お客様の応対 ・挨拶のポイント ・笑顔ポイント ・受付、接客時の言葉遣い ・実技体験	●来客に対する心遣い ●マナーなどを学ぶ ●笑顔の大切さ	
4時間	6. 就職 7. サロン見学	・サロン見学申し込み方 メール、電話 ・サロン見学に行く前の心構え ・サロン見学のマナー ・サロン見学で見るべきポイント	●事前にアポイントをとって訪問することを学ぶ ●実際にお店やスタッフの雰囲気などを自分の目で見ることを学ぶ ●そこで働く自分を想定して見学することを学ぶ	
1時間	8. 期末試験			
年間授業時間数				30時間

教科目名	メイク・アップ	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験 10年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	基本のスキンケアテクニック、メイクアップテクニック		
年間授業時間数	30時間		
到達目標	ナチュラルメイクアップの基礎知識・技術・施術をする上での注意点等を習得する		
成績評価の方法・基準	期末試験・出席状況を総合としてA(80点以上) B(60点~79点) C(40点~59点) D(不合格)		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
3時間	1. 道具のセッティング 2. スキンケアの基礎知識 3. スキンケアの手順 4. フルメイクアップ手順	・タオル掛け、道具のセッティング ・スキンケアの目的・手順・デモンストレーション(自分の顔で実施) ・フルメイクアップのデモンストレーション	●使用する道具・スキンケアの目的・手順について学ばせる ●フルメイクアップの手順を見せる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	5. スキンケア ~ベースメイクアップまで①	・ベースメイクアップの目的・手順 ・スキンケア ~ベースメイクアップ ・デモンストレーション(自分の顔で実施)	●スキンケアの手順・ベースメイクアップの目的・手順について学ばせる ●モデルへ施術する時の注意点を学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	6. スキンケア ~ベースメイクアップまで②	・スキンケア(クレンジング・トーンング・プロテクティング) ・ベースメイクアップ(ベース・ハイライト・ローライト・カバーホワイト・パウダリング) 相モデルで実施	●相モデルで実施する上での注意点を気をつけながらスキンケア~ベースメイクアップの手順を中心に学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	7. スキンケア ~ベースメイクアップまで③	・スキンケア(クレンジング・トーンング・プロテクティング) ・ベースメイクアップ(ベース・ハイライト・ローライト・カバーホワイト・パウダリング) 相モデルで実施	●相モデルで実施する上での注意点を気をつけながらベースメイクアップの手順・仕上がりを中心に学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	8. スキンケア ~アイメイクアップまで(基本:ブラウン系)①	・アイメイクアップの目的・手順 ・デモンストレーション(アイホール・フレームライン・アイライン・ラインのぼかし・グラデーションのぼかし・ビューラー・マスカラ) 相モデルで実施	●アイメイクアップの目的・手順について学ばせる	※プリント ※スクール教材キット

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3時間	9. スキンケア ～アイメイクアップまで （基本：ブラウン系）②	・アイメイクアップの目的・ 手順 ・デモンストレーション （アイホール・フレームライ ン・アイライン・ラインのぼ かし・グラデーションのぼか し・ビューラー・マスカラ） 相モデルで実施	●アイメイクアップの手順・仕 上がりを中心に学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	10. スキンケア ～アイメイクアップ （ソフト：ピンク系）①	・アイメイクアップのデモン ストレーション （ソフトな印象に見せる ためのテクニック） 相モデルで実施	●スキンケア～アイメイクア ップまでの仕上がりを中心 に学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	11. スキンケア ～アイメイクアップ （ソフト：ピンク系）②	・アイメイクアップのデモン ストレーション （ソフトな印象に見せる ためのテクニック） 相モデルで実施	●スキンケア～アイメイクア ップまでの仕上がりを中心 に学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	12. スキンケア ～アイメイクアップ （シャープ：グレー系）①	・アイメイクアップのデモン ストレーション （シャープな印象に見せる ためのテクニック） 相モデルで実施	●スキンケア～アイメイクア ップまでの仕上がりを中心 に学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	13. スキンケア ～アイメイクアップ （シャープ：グレー系）① アイブロウペンシルの削り方	・アイメイクアップのデモン ストレーション （シャープな印象に見せる ためのテクニック） 相モデルで実施 ・アイブロウペンシルをカッ ターで削る	●スキンケア～アイメイクア ップまでの仕上がりを中心 に学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
年間授業時間数				30時間

教科目名	衛生管理	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	あり <薬剤師免許取得>		
授業方法	講義		
授業内容	公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術、衛生管理技術の実践例		
年間授業時間数	50時間		
到達目標	衛生学を基盤にして、美容師として必要な知識と技術を習得する。		
成績評価の方法・基準	年2回の期末テストを実施し、80点以上をA、79点以下60点以上をB、59点以下をC評価とする。		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
15時間	1. 公衆衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>公衆衛生の概要 公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史 美容師と公衆衛生 公衆衛生と美容師</li> <li>保健 母子保健、成人高齢者保健、精神保健</li> </ul>	●美容師にとって欠かすことのできない公衆衛生を学び、地域社会の公衆衛生向上に資するための知識を習得する。	
15時間	2. 環境衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境衛生の概要 環境衛生の内容、目的と意義、環境衛生活動</li> <li>空気環境</li> <li>衣服・住居の衛生</li> <li>上下水道と廃棄物</li> <li>衛生害虫とネズミ</li> <li>環境保全</li> </ul>	●環境が自然や人々の健康に及ぼす影響を知り、社会の一員として適切に行動できる知識を習得する。	
18時間	3. 感染症(総論)	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症の総論</li> <li>感染症の歴史、法律、分類</li> <li>病原微生物の種類、形状、構造、増殖と環境の影響</li> <li>感染症の予防、病原性と感受性、感染と発病、常在細菌叢、免疫と予防接種、感染症発生の要因、予防の3原則</li> </ul>	●感染症を理解し、客と自身を感染症から守り、危害を防止するための知識と技能を習得する。	
2時間	4. 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導内容の理解度、目標到達度を評価するために前後期2回の試験を実施する。</li> </ul>		
年間授業時間数				50時間

教科目名	関係法規・制度	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	なし <高等学校「社会」教員免許取得>		
授業方法	講義		
授業内容	法制度の概要、衛生行政の概要、美容師法、関連法規		
年間授業時間数	20時間		
到達目標	美容師になるために必要な美容師法及び関連法規について理解する		
成績評価の方法・基準	期末試験 A (80点以上)・B (60点～79点)・C (40点～59点)・D (不合格)		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
2時間	1. 第1章 法制度の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1節 社会生活における法の役割               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人と社会生活</li> <li>2. 法とは何か</li> </ol> </li> <li>・第2節 法の形式               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 憲法と日本の法令体系</li> <li>2. 条約</li> <li>3. 法律</li> <li>4. 命令</li> <li>5. 自治法規</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会において法が必要とされる理由と法の特徴及び現在の日本社会における法の形式とその違いについて理解させる</li> </ul>	
2時間	2. 第1章 法制度の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3節 衛生法規の概要               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 衛生法規の意義</li> <li>2. 衛生法規の分類と生活衛生法規</li> </ol> </li> <li>・第4節 美容師法と附属法令</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多くの衛生法規がどのように分類され、また衛生法規全体の中での美容師法の位置づけについて理解させる</li> </ul>	
	3. 第2章 衛生行政の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1節 衛生行政の意義と歴史               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行政とは何か</li> <li>2. 衛生行政の意義</li> <li>3. 我が国における衛生行政の歴史</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●我が国の衛生行政のこれまでの歴史と発展及び現在の衛生行政の課題について理解させる</li> </ul>	
2時間	4. 第2章 衛生行政の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2節 衛生行政の分類と生活衛生行政の内容               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 衛生行政の分類</li> <li>2. 生活衛生行政</li> </ol> </li> <li>・第3節 衛生行政を担う行政機関               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般衛生行政の仕組み</li> <li>2. 厚生労働省の役割</li> <li>3. 都道府県及び市町村の役割</li> <li>4. 保健所の役割と機構</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●衛生行政の分類と特に美容業と関係の深い生活衛生行政分野の内容について理解させる</li> <li>●特に美容業とつながりの深い保健所について理解させる</li> </ul>	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
2時間	5. 第3章 美容師法	第1節 目的 第2節 用語の定義 1. 美容 2. 美容師 3. 美容所	●美容師法の目的と美容師法で特に重要であると思われる用語にていて、その定義を理解させる	
2時間	6. 第3章 美容師法	第3節 人（美容師）に関する規定 1. 概説 2. 養成施設の入所資格 3. 養成施設 4. 試験	●美容師の制度が法律の中でどのように規律されているのかを理解させ、特に養成施設と美容師試験について理解させる	
2時間	7. 第3章 美容師法	5. 免許と登録 6. 美容師の義務 7. 業務停止、免許取消及び再免許 8. 管理美容師	●美容師免許、業務上の遵守事項、管理美容師の制度について理解させる	
2時間	8. 第3章 美容師法	第4節 施設（美容所）に関する規定 1. 概説 2. 美容所の開設 3. 開設者が講ずべき衛生措置 4. 美容所以外での業務	●施設において、衛生的に美容を行うために美容師法上守らなければならないことを理解させる	
2時間	9. 第3章 美容師法	第5節 立入検査と環境衛生監視員 第6節 違反者等に対する行政処分 1. 違反者等に対する行政処分 2. 不利益処分を行う場合の手続き 3. 違法または不当な処分等についての審査請求 第7節 罰則 1. 罰則について 2. 美容師法の罰則	●保健所の環境衛生監視員による立入検査について理解させる ●行政処分及び罰則について理解させる	
2時間	10. 第4章 関連法規	1. 美容業の運営に関連する法律 2. 美容業の衛生に関連する法律 3. 美容業の消費者保護に関する法律	●美容師法以外の関連法規について理解させる	
2時間	11. 国家試験対策	国家試験問題の学習	●美容師国家試験の傾向について理解させる	
年間授業時間数				20時間

教科目名	化粧品化学	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	あり <高等学校「理科」教員免許取得、教員歴あり>		
授業方法	講義		
授業内容	化粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的。化粧品の定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安全性。身体に直接装着するつけまつ毛、まつ毛エクステンション、つけ爪の材料と使用方法。		
年間授業時間数	40時間		
到達目標	公衆衛生に資する美容師として、身に付けなければならない知識をえる。		
成績評価の方法・基準	絶対評価 授業点+期末試験(60点以上を合格) 合計点80点以上“A”、60点以上“B”、40点以上を“C”、40点以下“不可”		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
2時間	1. 化粧品の社会的意義と品質特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧品の社会的意義</li> <li>化粧品の品質と必要条件</li> </ul>	●化粧品について理解させる	
2時間	2. 化粧品の規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧品の定義</li> <li>化粧品の製造販売の規制</li> <li>化粧品の品質等の規制</li> <li>化粧品の表示・広告の規制</li> </ul>	●化粧品に関する法的規制について理解させる	
1時間	3. 化粧品の安定性と取り扱い上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧品の安定性</li> <li>化粧品の経時変化</li> <li>化粧品の使用上の注意</li> </ul>	●化粧品の安定性と取り扱い上の注意について理解させる	
1時間	4. 化粧品の安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧品の安全性</li> <li>表示成分の安全性</li> <li>化粧品によるトラブル</li> </ul>	●化粧品の安全性について理解させる	
2時間	5. 化粧品の対象となる人体各部の性状	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧品の種類と機能</li> <li>皮膚と水</li> <li>頭皮や毛髪健康な状態</li> <li>爪の性状</li> <li>まぶたや口唇の性状</li> <li>化粧品のなりたち</li> </ul>	●化粧品の対象となる人体各部の性状について理解させる	
1時間	6. 水性原料	<ul style="list-style-type: none"> <li>水</li> <li>エタノール (エチルアルコール)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●硬水と軟水について理解させる</li> <li>●エタノールについて理解させる</li> </ul>	
2時間	7. 油性原料	<ul style="list-style-type: none"> <li>油脂</li> <li>ロウ</li> <li>炭化水素</li> <li>その他の油性原料</li> <li>油性原料の機能</li> </ul>	●油性原料について理解させる	
3時間	8. 界面活性剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>界面活性剤の基本的性質</li> <li>界面活性剤の種類</li> <li>界面活性剤の化粧品への応用</li> </ul>	●界面活性剤の働き・製品について理解させる	
1時間	9. 高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>高分子化合物の種類と特性</li> <li>高分子化合物の化粧品への応用</li> </ul>	●高分子化合物について理解させる	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
2時間	10. 色材	<ul style="list-style-type: none"> <li>色材と香粧品</li> <li>無機顔料</li> <li>タール色素 (有機合成色素)</li> <li>光輝性顔料</li> <li>天然色素</li> </ul>	●色材について理解させる	
2時間	11. 香料	<ul style="list-style-type: none"> <li>香料と香粧品</li> <li>香料の種類</li> <li>調合香料</li> </ul>	●香料について理解させる	
1時間	12. 前期末試験			
2時間	13. その他の配合成分	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸化防止剤（抗酸化剤）</li> <li>防腐・殺菌剤（抗菌剤）</li> <li>紫外線吸収剤</li> <li>収れん剤</li> <li>その他の特殊成分</li> </ul>	●種々の配合成分について理解させる	
2時間	14. ネイル、まつ毛エクステンション用材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>成繊維</li> <li>接着剤</li> <li>塗料</li> </ul>	●ネイル、まつ毛エクステンション用材料について理解させる	
2時間	15. 皮膚洗浄用香粧品	<ul style="list-style-type: none"> <li>皮膚の汚れと洗浄作用</li> <li>石けんの種類とその性質</li> <li>その他の洗浄剤</li> </ul>	●石けん製法について理解させる	
1時間	16. 化粧水	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧水の種類と機能性</li> </ul>	●化粧水について理解させる	
2時間	17. クリームと乳液	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーム、乳液の皮膚への作用</li> <li>クリームの種類と機能</li> <li>乳液の種類と機能</li> </ul>	●クリームについて理解させる	
1時間	18. その他の基礎香粧品	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧液</li> <li>打粉</li> <li>パック剤</li> </ul>	●その他の基礎香粧品について理解させる	
1時間	19. メイクアップ用香粧品	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイクアップ用香粧品の種類と剤型</li> </ul>		
1時間	20. ベースメイクアップ香粧品	<ul style="list-style-type: none"> <li>おしろい</li> <li>ファンデーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●おしろいについて理解させる</li> <li>●ファンデーションについて理解させる</li> </ul>	
1時間	21. ポイントメイクアップ香粧品	<ul style="list-style-type: none"> <li>紅類（口紅と頬紅）</li> <li>アイメイクアップ香粧品</li> <li>ネイル技術用香粧品類</li> </ul>	●ポイントメイクアップ香粧品について理解させる	
2時間	22. シャンプー用剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャンプー剤</li> <li>ヘアリンス剤</li> <li>ヘアトリートメント剤</li> </ul>	●シャンプーについて理解させる	
1時間	23. スタイル剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタイリング剤の機能</li> <li>油性スタイリング剤</li> <li>液状スタイリング剤</li> <li>高分子物質を基剤とするスタイリング剤</li> </ul>	●スタイリング剤について理解させる	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3 時間	24. パーマネント 25. ウェーブ用剤	<ul style="list-style-type: none"><li>・パーマネント・ウェーブの原理</li><li>・パーマネント・ウェーブ用剤の種類</li><li>・パーマネント・ウェーブ用剤の第1剤</li><li>・パーマネント・ウェーブ用剤の第2剤</li><li>・使用上の注意</li></ul>	●パーマネント、ウェーブ用剤について理解させる	
1 時間	26. 後期末試験			
年間授業時間数				40 時間

教科目名	日本文化	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	なし <高等学校「社会」教員免許取得>		
授業方法	講義		
授業内容	国語表現（漢字の読みと書き）		
年間授業時間数	30 時間		
到達目標	常用漢字のうち約 1600 字程度を理解し、文書の中で適切に使えるようになること		
成績評価の方法・基準	期末試験、ノート提出による総合評価 A(80 点以上)・B(60 点～79 点)・C(40 点～59 点)・D(不合格)		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3 時間	1. ステップ 1・2	・漢字の読み、部首、熟語、漢字の書き、四字熟語、誤字訂正	●問題の文書等をノートに書き写し的確な解答記入が出来るようにする	
3 時間	2. ステップ 3・4	・漢字の読み、類義語、部首、漢字の書き、送り仮名、選択問題		
3 時間	3. ステップ 5・6	・漢字の読み、四字熟語、誤字訂正、漢字の書き、部首		
3 時間	力だめし（第 1 回） 4. ステップ 7	・漢字の読み、部首、送り仮名、選択問題、熟語構成、対義語・類義語、四字熟語、漢字の書き		
3 時間	5. ステップ 8・9	・漢字の読み、熟語、選択問題、漢字の書き		
3 時間	6. ステップ 10・11	・漢字の読み、誤字訂正、対義語、漢字の書き、熟語、四字熟語		
3 時間	力だめし（第 2 回） 7. ステップ 12	・漢字の読み、対義語・類義語、漢字の書き、熟語構成、送り仮名、選択問題、誤字訂正、四字熟語		
3 時間	8. ステップ 13・14	・漢字の読み、四字熟語、熟語、漢字の書き、選択問題、送り仮名		
3 時間	9. ステップ 15・16	・漢字の読み、意味を打消す漢字、熟語、漢字の書き、対義語・類義語、漢字の書き		
3 時間	10. ステップ 17・18	・漢字の読み、送り仮名、四字熟語、漢字の書き、対義語、選択問題		
年間授業時間数				30 時間

教科目名	美容運営管理	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	なし <高等学校「社会」教員免許取得>		
授業方法	講義		
授業内容	経営とは・経営者とは、美容業の経営について、資金の管理、人という資源、健康・安全な職場環境の実現従業員としての視点から		
年間授業時間数	20 時間		
到達目標	経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割、人を雇うことの責任や働くうえで求められること、顧客を満足させるサービスとは何かについて理解する		
成績評価の方法・基準	期末試験、A (80 点以上)・B (60 点～79 点)・C (40 点～59 点)・D (不合格)		

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
1 時間	第 1 章 経営とは・経営者とは 1. 経営が必要とされる理由	①経営とは何か ②経営の最大のテーマ ：継続企業の原則	●経営者の役割について理解させる	
1 時間	2. 継続が難しい理由＝経営が必要な理由	①変化 ②競争 ③経営の必要性	●継続が難しいものになっている理由について理解させる	
1 時間	3. 経営とは何か	①経営の目的：継続を実現するために ②経営の成果：利益とは何か	●経営とは具体的に何をすることなのかについて理解させる	
1 時間	4. 経営資源と経営計画	①経営資源 ②経営計画	●すぐれた経営を行うための基本的な考え方について理解させる	
1 時間	5. 経営戦略	①経営戦略とは ②経営戦略の視点 ③経営者の視点	●長期的な視点から計画する ●経営戦略について理解させる	
1 時間	6. 経営戦略が目指すもの	①よい店をどう実現するか ②クオリティの実現	●経営戦略について理解を深めさせる	
1 時間	第 2 章 美容業の経営について 1. 業界の概要	①美容業界の現状 ②今日の美容店	●状況が変化している美容業の内容について理解させる	
1 時間	2. 競争の変化	①競争 ②競争の方向性の変化	●美容サービスを取り巻く競争について理解させる	
1 時間	3. サービスとしての美容	①サービスは経験の提供 ②顧客が決めるサービス ③サービスを実現するもの	●サービスの本質について理解させる	
1 時間	4. 美容業の顧客について	①顧客が来るのは当たり前ではない ②美容の顧客の特徴	●美容業の顧客の意向や動向について現状を理解させる	
1 時間	第 3 章 資金の管理 1. 資金管理の重要性	①資金管理とは ②会計の活用	●資金管理は特に慎重に行う必要があり会計の活用についても理解させる	
1 時間	2. 収支と損益	①収支とは ②損益とは ③収支と損益が異なる例	●お金の出入り(収支)ともうかった損した(損益)の関係について理解させる	
1 時間	3 会計の考え方	①会計が目指しているもの ②会計の考え方 ③会計の応用	●基本的な経営数値の見方を理解させる	
1 時間	4. コストを管理する	①利益の仕組み ②コストの仕組み ③コストを削減するために	●収益を上げるために低コストを実現する必要性について理解させる	
1 時間	5. 税金について	①税金の種類とその内容 ②税金を支払うタイミング ③税金を支払わない時の罰則	●税金の支払いについて理解させる	

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
1時間	第4章 人という資源 1. 人という資源とは	①人という資源の特徴と課題 ②労務管理の目指すもの	●労務管理の基本的な考え方について理解させる	
1時間	2. 人の能力を高める	①採用について ②美容業のトレーニング ③トレーニングと資格制度	●能力を高めるための教育、トレーニングについて理解させる	
1時間	3. 人をやる気にさせるために	①やる気とは何か ②やる気を高める	●人の力は「やる気」によって大きく変わることを理解させる	
1時間	4. 給与	①給与の役割 ②給与の設計	●労務管理上の給与の役割について理解させる	
1時間	5. 待遇・福利厚生	①評価・待遇 ②福利厚生 ③休暇	●お金以外で人をやる気にさせるものについて理解させる	
年間授業時間数				20時間

教科目名	美容技術理論	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	美容技術理論を学ぶにあたって、美容用具、シャンプーイング、ヘアデザイン、ヘアカットイング、パーマネントウェービング、ヘアセッティング、ヘアカラーリング		
年間授業時間数	90時間		
到達目標	基礎的な理論を学び、技術を習得する上での動作と並行して、具体的で効果的な履修を目指す		
成績評価の方法・基準	期末試験・出席状況を総合として A(80点以上) B(60点~79点) C(40点から59点) D(不合格)		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
5時間	1. 序章 2. 美容技術理論を学ぶにあたって	<ul style="list-style-type: none"> <li>美容理論と美容技術</li> <li>美容技術における作業姿勢</li> <li>人体各部の名称</li> </ul>	●美容師としての心得、技術を行うにあたっての正しい姿勢や力の配分、人体各部の名称について学ばせる	※テキスト
6時間	第1章 美容用具	<ul style="list-style-type: none"> <li>美容技術における用具</li> </ul>	●美容の道具・器具・機械を衛生的に安全に取り扱うことを理解させる	※テキスト
2時間	序章・第1章 小テスト			※テキスト
11時間	第2章 シャンプーイング	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャンプー総論</li> <li>サイド・バックシャンプー</li> <li>リンス・コンディショナー・トリートメント</li> <li>スカルプトリートメント</li> <li>ヘッドスパ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シャンプーイングの目的、シャンプー剤の成分、種類、施術を行う際の注意点、リンス・コンディショナー・トリートメントの違い、目的、種類</li> <li>●スカルプトリートメントの目的、種類、基本手技の一例を学ばせる</li> </ul>	※テキスト
2時間	第2章 小テスト			※テキスト
10時間	第3章 ヘアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>美容とデザイン</li> </ul>	●点・線・面・大きさ・テクスチャーなどのデザイン要素、方向・比率・シンメトリー・バランス・調和・リズムなどのデザイン原理について美容との関係性を学ばせる	※テキスト
2時間	第3章小テスト			※テキスト
11時間	第4章 ヘアカットイング	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘアカットイングとは</li> <li>シザーズ・レザーの扱い方</li> <li>カットイングの正しい姿勢</li> <li>基礎理論・カット技法</li> </ul>	●カットイングの目的、シザーズ・レザーの扱い方、基礎理論、カット技法(ベーシック・シザーズ・レザー)について学ばせる	※テキスト
2時間	第4章 小テスト			※テキスト

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
11 時間	第 5 章 パーマネントウェーブ ング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーマネントウェーブの歴史と現在・理論</li> <li>・パーマ剤の分類・注意事項</li> <li>・パーマネントウェーブ技術</li> <li>・ワインディングのバリエーション</li> <li>・縮毛矯正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パーマネントウェーブの歴史から現在までの変化について、理論、パーマ剤の種類・注意事項</li> <li>●パーマネントウェーブ技術やワインディングのバリエーションについて学ばせる</li> </ul>	※テキスト
2 時間	第 5 章 小テスト			※テキスト
11 時間	第 6 章 ヘアセッティング	ヘアセッティングとは ヘアパーティング ヘアシェーピング ヘアカーリング ヘアウェーピング ローラーカーリング バックコーミング アップスタイル ウィッグとヘアピース	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘアセッティングについて、いろいろな技術の意味と仕上げ方について違いを学ばせる</li> <li>●ウィッグとヘアピースの違いを学ばせる</li> </ul>	※テキスト
2 時間	第 6 章 小テスト			※テキスト
11 時間	第 7 章 ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概論・道具 ヘアカラーの種類・タイプ別特徴 染毛のメカニズム 毛髪のレベルとアンダートーン 色の基本・パッチテスト 染毛剤使用時の注意事項 酸化染毛剤・染毛料の技術の手順 ヘアブリーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘアカラーリングについて種類・タイプ別特徴・道具・染毛のメカニズム・使用時の注意事項</li> <li>●技術の手順等をそれぞれに理解させ学ばせる</li> </ul>	※テキスト
2 時間	第 7 章小テスト			※テキスト
年間授業時間数				90 時間

教科目名	美容実習	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	国家試験課題（ワインディング、オールウェーブセッティング、カットティング）、ヘアアレンジ、カラーリング、パーマネントウェーブ、スキャルプマッサージ、ヘアトリートメント		
年間授業時間数	390時間		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの知識習得、正確な技術の習得		
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況、授業態度、学期末実技試験を加味し総合的に評価する。</li> <li>・成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格する素点による評価</li> <li>・A（80点以上）・B（60点～79点）・C（40点～49点）・D（不合格）</li> </ul>		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
25時間	1. TONI&GUYカット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シザーズとコームの持ち方</li> <li>・ブロッキング</li> <li>・ワンレングスカット（ブロー）</li> <li>・グラデュエーションカット（ブロー）</li> <li>・レイヤーカット（ブロー）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●美容用具の扱いを学ぶ（ウィッグ・シザーズ・コーム・ダックカール・ドライヤー・ブラシなど）</li> <li>●シザーズとコームの正しい持ち方（扱い方を身に付けさせる）</li> <li>●正確なブロッキングを覚えさせる</li> <li>●カットの基本動作に慣れさせる</li> <li>●ドライヤー、ブラシ類の正しい持ち方、熱の当て方を覚えさせる</li> </ul>	
15時間	2. 国家試験カット 3. ワインディング用ウィッグの制作	ワインディングの国家試験用のウィッグカット	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国家試験基準の長さを正しく確認しカットさせる</li> </ul>	
203時間	4. ワインディング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リングコームの持ち方</li> <li>・ベースの取り方</li> <li>・ストランドの取り方</li> <li>・ブロッキング</li> <li>・ロッドの巻き方（下巻き）</li> <li>・ロッドの巻き方（上巻き）</li> <li>・全体巻き</li> <li>・センター巻き時間短縮（7分間）</li> <li>・全体巻き時間短縮（30分間）</li> <li>・全体巻き時間短縮（20分間）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ワインディングの基本動作を正しく身に付けさせる</li> <li>●正確なブロッキングを覚えさせる</li> <li>●パネル、ロッドの持ち方、ペーパーの当て方などを正確に身に付けさせる</li> <li>●下巻きと上巻きとの違いを理解させ、正確に身に付けさせる</li> <li>●ロッドの綺麗な収まり、スムーズな手の動きを覚えさせる</li> <li>●手の動きを早めながら綺麗な巻き上がりを意識させる</li> <li>●スピードを意識させ、時間短縮を計る</li> </ul>	

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
30 時間	5. ヘアアレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クッションブラシの持ち方、とかし方</li> <li>・ローラーの巻き方、角度の決め方</li> <li>・アイロンの巻き方</li> <li>・アメリカピンの開け方、とめ方</li> <li>・オニピンのとめ方</li> <li>・ゴムの縛り方</li> <li>・逆毛の立て方</li> <li>・編み込み</li> <li>・すき毛のとめ方</li> <li>・アップスタイルの作り方</li> <li>・作品作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●髪を傷めないとかし方を身に付けさせる</li> <li>●角度を考え、ボリュームを出したい部分などを気にしながらローラー巻きをする</li> <li>●アイロンを使い、ウェーブ、カールの出し方を身に付けさせる</li> <li>●アップスタイルを作るにあたり逆毛の立て方、アメリカピン、オニピンの開け方、止め方、すき毛の入れ方を覚えさせる</li> <li>●表編み、裏編み、ねじり編みを身に付けさせる</li> <li>●夜会巻き、シニヨンの作り方を覚えさせる</li> </ul>	
9 時間	6. ヘアトリートメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラッシング</li> <li>・スキャルプマッサージ</li> <li>・トリートメント塗布</li> <li>・シャンプー・ブロー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●相モデルにより、ブラッシングの工程を覚えさせる</li> <li>●ツボ、力の強弱を学ばせる</li> <li>毛髪の状態に応じた手当の仕方正しい塗布の手順を覚えさせる</li> </ul>	
18 時間	7. ヘアカラーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィッグを使用し、スライシング</li> <li>・ウィービング</li> <li>・ブリーチ</li> <li>・ヘアマニキュア</li> <li>・酸化染毛剤(アルカリ)</li> <li>・おしゃれ染</li> <li>・白髪染</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘアカラーリング技術のベースとなる適切な手順や塗布技術を身に付けさせる</li> <li>●コームとブラシのテクニックをしっかり把握して手早く丁寧に行うことを身に付けさせる</li> <li>●髪色より、明るく、暗くしたりすることで希望の色調を得るための適切な技法を身に付けさせる</li> </ul>	
6 時間	8. ヘアカラーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーマメントウェーブ</li> <li>・レザーカット</li> <li>・刈り上げ</li> <li>・スタイリング(ウィッグを使用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感性を磨くため、色々な技法を使い一つの作品を作らせる</li> </ul>	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
75 時間	9. オールウェーブセッティング 10. ウィッグ制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェーブの国家試験用ウィッグカット</li> <li>・ウェーブ用ウィッグにパーマネント、ウェーブかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国家試験基準の長さを正しく確認し、カットさせる</li> <li>●正確なワインディングを仕上げさせ、実際にウェーブをかける</li> </ul>	
	11. フィンガーウェーブノーパート (7段構成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローション塗布、コーム持ち方など</li> <li>・コーミング 1段目～7段目 (デモンストレーション) (実技)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本動作を覚えさせる馬蹄形を理解させる</li> <li>●フィンガーウェーブ 1～7段目をデモにより覚えさせる</li> <li>●実際に作成させ仕上がりを確認させる</li> </ul>	
9 時間	12. 日本髪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本髪作成をデモンストレーションで見せる</li> <li>・日本髪の各部の名称</li> <li>・備品の説明 スキ毛 (5ヶ所) クッションブラシ コーム アメリカピン オニピン 黒ゴム (元結)</li> <li>・ブロッキング 5分割にわけ 前髪 サイド (左右) 髷、髻</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本独自の結び方を学ぶ</li> <li>●顔の形との調和を考えて結う事を学ぶ</li> <li>●全身に比べて髪だけが大きくなりすぎないようにバランスを考えさせる</li> <li>●粋な髪、上品髪の違いを学ばせる</li> </ul>	
年間授業時間数				390 時間

教科目名	美容総合	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験4年以上>		
授業方法	講義、実習		
授業内容	基本のまつ毛エクステンション		
年間授業時間数	60時間		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本のまつ毛エクステンション基礎知識・技術・施術をする上での注意点等を習得する</li> <li>・一人で編み込みのエクステンションを付けられるようになること</li> </ul>		
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりと装着出来ているかどうか</li> <li>・期末試験、出席状況を総合としてA(80点以上)B(60～79点)C(40点～59点)D(不合格)</li> </ul>		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
4時間	1.まつ毛エクステンションの概論	・衛生管理、概論、用具	●まつ毛エクステンションするにあたって衛生管理や用具の使い方を学ぶ	※教科書 ※スクール教材キット
7時間	2.装着の仕方	・まつ毛のかき分け方、装着(デモンストレーション)(実習)	●装着のやり方を学び手順を覚えさせる	※スクール教材キット
5時間	3.テーピング	テーピングの仕方(デモンストレーション)(実習)	●テーピングの仕方を正確に覚えさせる	※スクール教材キット
6時間	4.保健	・眼、皮膚、毛髪に関する知識	●眼周辺の知識を学ぶ	※教科書
5時間	5.カウンセリング	・カウンセリングの仕方	●基本的なカウンセリングの仕方をロールプレイングしながら学ぶ	※教科書
5時間	6.リムービング	・リムービング全体、ポイント	●リムービングのポイントをつかむ	※教科書 ※スクール教材キット
6時間	7.まつ毛エクステンションI	・テーピングから装着までリムービング	●まつ毛エクステンションの仕上がりを中心に学ばせる	※スクール教材キット
2時間	8.模擬授業	・概論、衛生、保健 ・カウンセリング、用具と管理	●今までのまとめ	※教科書 ※スクール教材キット
3時間	9.基礎テスト(学科、実技)		●一年間のまとめ	
2時間	10.ファッションエクステンション	・エクステのブロックの取り方 ・ゴムの結び方 ・毛束の引き出し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正確なブロック</li> <li>●基本となるゴムの結び方</li> <li>●一人でやる作業に慣れさせる</li> </ul>	※スクール教材キット

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
5時間	11. ファッションエクステンション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二人一組の四つ編みでの取り付け方</li> <li>・頭髪、エクステ担当両方を体験すること</li> </ul>	●二人一組での作業なので、協力しながら仕上げる	※スクール教材キット
5時間	12. ファッションエクステンション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で編み込む取り付け方</li> <li>・ファッションエクステンションなので取り付ける場所を考えてもらう</li> </ul>	●一人でブロックングから編み込み、ゴム結びまでスムーズに出来るように慣れさせる	※スクール教材キット
5時間	13. コーンローでのエクステ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏編み込みでのコーンローでのエクステを取り付け、デザインしていく</li> </ul>	●エクステを加えたコーンローでデザインして仕上げる	※スクール教材キット
年間総時間数				60時間

教科目名	美容総合技術	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	シャンプーイング、ブローイング、ヘッドマッサージ		
年間授業時間数	30時間		
到達目標	サロンに就職して、即戦力になれるよう		
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況、授業態度、学期末実技試験を加味し総合的に評価する。</li> <li>・成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価。</li> <li>・A (80点以上) ・B (60点～79点) ・C (40点～59点) ・D (不合格)</li> </ul>		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
3時間	1. シャンプー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リアシャンプー技術テキストでの説明</li> <li>・タオル、クロスのやり方</li> <li>・ウィッグを使った手の動き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シャンプーの基礎を学ばせる</li> <li>●タオル、クロスなどのポイントを学ばせる</li> </ul>	
3時間	2. シャンプー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相モデルで手の動き</li> <li>・ブレーンリンスの手順</li> <li>・シャンプーの手順</li> <li>・タオル、ターバンのやり方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お湯のため方、手の動きを学ばせる</li> <li>●泡の立て方、手の動きを学ばせる</li> <li>●シャンプー、ブレーンリンスの基礎を理解させる</li> </ul>	
3時間	3. シャンプー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相モデルで手の動き</li> <li>・ブレーンリンスの手順</li> <li>・シャンプーの手順</li> <li>・タオル、ターバンのやり方</li> <li>・接客のマナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お湯のため方、手の動きを学ばせる</li> <li>●泡の立て方、手の動きを学ばせる</li> <li>●シャンプー、ブレーンリンスの基礎を理解させる</li> </ul>	
3時間	4. シャンプー	全部の工程	●シャンプーの工程を完成させ時間内に終わらせる	
3時間	5. シャンプー (テスト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全部の工程</li> <li>・ブローアレンジ</li> </ul>	●シャンプーの工程を完成させ時間内に終わらせる	
3時間	6. シャンプー 7. トリートメント塗布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相モデルでシャンプー、トリートメント塗布の仕方手順</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●トリートメントの役割を理解させる</li> <li>●刷毛の使い方を学ばせる</li> </ul>	
3時間	8. シャンプー・ブロー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相モデルでシャンプー</li> <li>・ハーフラウンドブラシの使い方</li> <li>・ロールブラシの使い方</li> <li>・ワンリングスタイル</li> <li>・レイヤースタイル</li> </ul>	●ドライインプの基礎を学ばせる	
3時間	9. シャンプー・ブロー	ロールプレイング	●サロンでの動き接客の仕方を学ばせる	
3時間	10. シャンプー・ブロー	ロールプレイング	●サロンでの動き接客の仕方を学ばせる	
3時間	11. シャンプー・ブロー (テスト)	ロールプレイング	●サロンでの動き接客の仕方を学ばせる	
年間授業時間数				30時間

教科目名	美容文化論	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	あり<短期大学 美術教員経験あり>		
授業方法	講義		
授業内容	日本や海外の美容ファッションの変遷、流行について学ぶ。また、服飾の歴史、衣服の種類なども学び美容業との関連性を学習する。		
年間授業時間数	40 時間		
到達目標	理容業、美容業の歴史を理解させ、美の成り立ちやあり方への理解を深める		
成績評価の方法・基準	教科内容に即した課題を与えて、学生同士に討論させ、レポートを作成させる。		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
6 時間	1. 美容の美 2. 髪文化 3. メイクアップの文化 4. 美容業の始まり 5. 近代の美容業 6. 現代の美容業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容の目的と社会</li> <li>・美容文化とは何か</li> <li>・ヘアスタイルとメイクアップ</li> <li>・女髪結という職業</li> <li>・女髪結から美容師へ</li> <li>・現代の美容と社会</li> </ul>	●本講では「美容」が今日までの社会の中でどのような役割を持ち発展してきたかを系統立てて学び、美容のもつ社会的使命と意義について理解させる。	
6 時間	7. 古代の美容 8. 中世の美容 9. 中世の美容 10. 近世の美容 11. 近世の美容 12. 近世の美容 13. 近代の美容 14. 現代の美容・髪型 15. 現代の美容・化粧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代美容の髪型と化粧</li> <li>・成女式と髪型(平安・鎌倉)</li> <li>・中世の化粧(室町)</li> <li>・近世の髪型(安土・桃山)</li> <li>・近世の髪型(江戸)</li> <li>・近世の化粧(江戸)</li> <li>・近代の髪型(明治・大正)</li> <li>・パーマメント以降の髪型</li> <li>・現代のメイクアップ</li> </ul>	●日本の美容の歴史を年代順にたどりながら「美容」が時代・地域・民族・政治・文化などの影響からどのような形で現れ、変化してきたかを学ぶ。さらに「社会」は美容に何を求め「時代」はどのような美容文化を築いてきたのかを理解させる。	
6 時間	16. 古代の美容Ⅰ 17. 古代の美容Ⅱ 18. 中世の美容 19. 近世の美容Ⅰ 20. 近世の美容Ⅱ 21. 近代の美容 22. 現代の美容Ⅱ 23. 美容文化のこれから	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代エジプトの美容</li> <li>・古代ギリシャ・ローマの美容</li> <li>・中世ヨーロッパの美容</li> <li>・ルネサンスと16世紀</li> <li>・バロックとロココ時代</li> <li>・フランス革命後の髪型</li> <li>・1900年代以降の髪型</li> <li>・これからの美容の流れ</li> </ul>	●西洋の美容の文化を歴史的に辿っていくことによって「美容」がどのように生まれ発展し今日のかたちになったかを学ぶ。また同時代の日本の美容などと比較を試みながら風土や民族性と「美容」の関係などについても理解を深める。	
4 時間	24. 流行の意味 25. 流行の特色 26. 流行を迫る心理 27. 流行を作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流行の特色と美容</li> <li>・流行の理論</li> <li>・流行の欲求と心理</li> <li>・流行の作り手としての美容師</li> </ul>	●美容と流行は密接な繋がりを持った関係である。ここでは、流行がなぜ生まれるのか、またその必要性について考えていく。さらに流行を発信するとは何かを理解させる。	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
9 時間	28. 日本の服装（古代） 29. 飛鳥・奈良時代 30. 平安時代 31. 鎌倉・室町時代 32. 安土・桃山時代 33. 江戸時代 34. 江戸時代 35. 江戸時代 36. 明治・大正の服装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縄文・弥生・古墳時代の服装</li> <li>・7～8 世紀の服装</li> <li>・日本の服装（和服）の確立</li> <li>・武家文化の時代と服装</li> <li>・小袖の時代</li> <li>・江戸時代の男性服</li> <li>・江戸時代の女性服 1</li> <li>・江戸時代の女性 2</li> <li>・鹿鳴館の時代</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の服飾の歴史を学ぶ。服飾がその時代によってどのように生まれ変化していったかを知ることによって服飾文化の意義と役割を考えていく。特に江戸時代の服装については髪型と服装などの関係に触れあいながらその生活や風俗を含めて理解させる。</li> </ul>	
7 時間	37. 西洋の服装（古代） 38. 古代から中世 39. 16 世紀の服装 40. 17 世紀の服装 41. 18 世紀の服装 42. ファッション革命期 43. 19 世紀の服装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代ゲルマン人の服装</li> <li>・12 世紀からの服装</li> <li>・巨大なスカートへのこだわり</li> <li>・メンズファッションの高揚</li> <li>・サロン文化とルイ王朝</li> <li>・フランス革命と「サン・キュロット」</li> <li>・クラシックからモダンへ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●西洋の服飾史を学ぶ。服飾が発生から様々な時代とともに、どのように変化し位置づけられてきたかを学ぶことによって人間にとって服飾とは何かという根源的な問題まで考えていくことを目的とする。</li> </ul>	
2 時間	44. 1920 年代の服装 45. 1930 年代の服装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代ファッションの始まり</li> <li>・女性らしさから戦時調へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1920 年から現在までのファッションの移り変わり。変遷を追いかける。</li> </ul>	
年間授業時間数				40 時間

教科目名	美容保健	学科・学年	美容学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上、「美容保健研修」受講>		
授業方法	講義		
授業内容	人体の構造および機能、皮膚科学		
年間授業時間数	50時間		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの知識習得		
成績評価の方法・基準	A (80点以上) ・ B (60点～79点) ・ C (40点～59点) ・ D (不合格)		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
6時間	1. 人体各部の名称 2. 人体解剖学	・人体各部の名称の習得 ・目とその周辺のつくり ・耳・鼻・口とその周辺のつくり	●目・耳・鼻それぞれの働きを理解する(専門用語の習得)	
6時間	3. 骨の種類と構造 4. 骨の連結 5. 骨格器系とそのはたらき	・骨のつくり、骨の働き 関節について ・全身の主な骨格器の名称 (頭蓋、脊柱、上肢、下肢骨、胸郭)	●主な骨格の名称とその働きについて理解する	
1時間	【学習能力評価小テスト】		●学習能力のチェック	
5時間	6. 筋の種類とその特徴 7. 主な骨格器系とその働き 8. 表情筋と表情運動 9. 理容・美容の作業と筋疲労	・全身の主な筋肉の名称と働き ・頭部、頸部、上肢と下肢、体幹の筋について ・眼、口を中心にした筋 ・立位作業と静的な筋肉疲労 ・シャンプー、パーマ、ヘアカット	●主な筋肉についてその働きを理解する (屈筋、伸筋、外転筋、内転筋、腱など)	
1時間	【学習能力評価小テスト】		学習理解度のチェック	
5時間	10. 神経系の成り立ち 1) 中枢神経とその働き 2) 末梢神経とその働き	・脳、脊髄、体性神経、自律神経	●中枢、末梢神経の働きを理解する (脳、脊髄) (脳神経、脊髄神経) (運動神経、交感神経など)	
1時間	【前期期末試験】			
5時間	11. 視覚 12. 聴覚平衡感覚 13. 味覚 14. 嗅覚 15. 皮膚感覚	・眼球のつくりについて ・耳のつくりについて ・舌のつくりについて ・鼻のつくりについて ・感覚受容器について	●眼の働きと構造 ●耳の働きと構造 ●舌の働きと構造 ●鼻の働きと構造について理解する ※第2編・第4章で詳細に学ぶ	※血液循環経路のプリントを配布(参考資料)

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
1時間	【学習能力評価小テスト】		●学習理解度のチェック	
6時間	16. 血液のあらまし 1) 血液循環の仕組み 2) 血液の循環経路 3) 心臓と血管の働き 4) リンパ管の仕組みと働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血球成分（赤血球、白血球、血小板）</li> <li>・心臓、血管</li> <li>・大循環、小循環、門脈循環について</li> <li>・血圧、脈拍について</li> <li>・リンパ管、リンパ節、リンパ球について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●血球成分の構造と働きについて</li> <li>●心臓、血管、各循環経路、リンパ管の構造と働きについて理解する</li> </ul>	
1時間	【学力評価テスト】		●学習理解度のチェック	
4時間	17. 呼吸器系のあらまし 1) 気道 2) 肺の仕組みとガス交換 3) 呼吸運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吸気、呼気、ガス交換、呼吸運動、</li> <li>・肺呼吸、組織呼吸について</li> <li>・気道、線毛上皮、波状運動、鼻腔、</li> <li>・鼻中隔、鼻毛、咽頭、喉頭、声帯</li> <li>・気管、気管支について</li> <li>・葉気管支、肺胞について</li> <li>・ガス交換、肋間筋、横隔膜、呼吸器量、肺活量について</li> </ul>	●気道、鼻腔、喉頭、気管、気管支、肺、呼吸運動の構造と仕組みや働きについて理解する	
6時間	18. 消化器系のあらまし 1) 消化管の仕組み 2) 消化管の働き 3) 消化と物質代謝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化と消化管について</li> <li>・口腔、唾液、食道、胃腸について</li> <li>・咀嚼や嚥下、胃腸の運動について</li> <li>・栄養物質（門脈から肝臓へ）アミノ酸やタンパク質、ブドウ糖</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●消化器の働きと仕組みを理解する</li> <li>●歯の働きと構造</li> <li>●唾液腺、食道の蠕動運動、胃、腸の構造と働きについて理解する</li> </ul>	
1時間	【学力評価テスト】		●学習理解度のチェック	
1時間	【後期期末試験】			
年間授業時間数				50時間

教科目名	エステティック技術	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験 30年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	基本のフェイシャルエステティック、フェイシャル機器トリートメント（ブラシクレンジング、吸引トリートメント）		
年間授業時間数	60時間		
到達目標	エステの技術と知識を理解させる		
成績評価の方法・基準	前期評価：肌を清潔にするケアクレンジングの手順を5段階評価（応対整容、言葉遣い、笑顔含む） 後期評価：肌の働きを高めるマッサージを中心に手技、手順、全体のケアを5段階評価（応対整容、言葉遣い、笑顔含む）		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
30時間	1. エステティック準備	・クライアントを迎える準備 相モデルトレーニング	●ベッド回り、ターバン、タオルケットの準備が心地良く出来る	※バスタオル ※フェイスタオル
	2. エステティック理論	・講義	●エステティック理論の修得	※テキスト、筆記用具
	3. 技術解説	・美容機器の扱い方 ・美顔法—デモンストレーション	●美容機器を使い洗顔までの流れを確認	
	4. 基本技術 ＜洗顔＞	・洗顔技術の修得 ・実習 (相モデルトレーニング)	●相モデルに洗顔がスムーズに出来る	※テキスト、筆記用具 ※スキンケア化粧品 ※美容機器
	5. 基本技術 ＜洗顔＞ ＜吸引＞	・吸引 (デモンストレーション)	●吸引の確認	※バスタオル ※フェイスタオル(3本) ※ティッシュペーパー
	6. 基本技術 ＜洗顔＞ ＜吸引＞	・洗顔、吸引 ・実習 (相モデルトレーニング)	●洗顔、吸引、相モデルによりスムーズに出来る	
20時間	7. 基本技術 ＜手技＞ ＜マッサージ＞	・パターマッサージ手順 ・デモンストレーション	●パター、マッサージ手順の確認	※テキスト、筆記用具 ※スキンケア化粧品 ※美容機器
	8. 基本技術 ＜パター+手技＞ ＜マッサージ＞	・パターマッサージの手順の修得実習 (相モデルトレーニング)	●パターの手順の修得 ●マッサージの力加減、早さ 手順の修得	※バスタオル ※フェイスタオル(3本) ※ティッシュペーパー
	9. スチームタオルの扱い方	・デモンストレーション ＜ふきとり＞ 実習（相モデルトレーニング）	●スチームタオルでのふき取りが出来る	※スチームタオル —温蔵庫
10時間	10. 基本技術 ＜フェイシャル＞ 洗顔からマッサージ	・機器使用 ・洗顔からマッサージまで 実習（相モデルトレーニング）	●機器使用 ●洗顔からマッサージまで スムーズに出来る	※テキスト、筆記用具 ※スキンケア化粧品 ※美容機器 ※バスタオル
	11. スキンタイプ別 フェイシャルケア	・講義	●スキンケアタイプ別フェイシャルケアの確認	※フェイスタオル(3本) ※ティッシュペーパー ※スチームタオル —温蔵庫
	12. フェイシャルパック とマスク	・デモンストレーション	●パックとマスクの種類と 使い方確認	
年間授業時間数				60時間

教科目名	コンピュータ実習Ⅱ	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	なし <水戸経理専門学校にて教員歴あり>		
授業方法	実習		
授業内容	エクセルの基本と応用		
年間授業時間数	30時間		
到達目標	一般的なエクセルの利用技術の修得		
成績評価の方法・基準	出席状況、授業態度、提出物、試験結果を基に、A：80点以上、B：60点～79点、C：40点～59点、D（不可）：40点未満の評価とする。		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
2時間	1. Excel入門	<ul style="list-style-type: none"> <li>起動と終了</li> <li>データ入力の基本</li> </ul>	●ワークシートへのデータ入力を理解する。	
5時間	2. 基本的な表作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>数式と合計の求め方</li> <li>セル参照と数式</li> <li>連続データ</li> <li>合計・平均・連続データ</li> <li>平均・最大・最小</li> </ul>	●基本的な表作成を理解する。	
3時間	3. 絶対参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成比</li> <li>累計の計算</li> <li>相対参照・絶対参照・複合参照</li> </ul>	●相対参照と絶対参照の違いを理解する。	
5時間	4. 基本的な関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大・最小</li> <li>条件にもとづく処理</li> <li>数える</li> <li>論理関数</li> <li>端数処理</li> </ul>	●基本的な関数の使い方を理解する。	
7時間	5. グラフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>円、折れ線、集合縦棒</li> <li>積み上げ縦棒</li> <li>積み上げ横棒</li> <li>レーダーチャート</li> <li>バブルチャート</li> <li>補助円グラフ付き円グラフ</li> <li>複合グラフ</li> </ul>	●グラフの利用を修得する。	
2時間	6. シート分析と入力規則	<ul style="list-style-type: none"> <li>条件付き書式</li> <li>ユーザー定義の表示形式と入力規則</li> </ul>	●シート分析と入力規則の修得。	
6時間	7. 関数の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>順位付け</li> <li>別表を検索して参照</li> <li>条件処理と検索参照</li> <li>切捨てと剰余</li> <li>文字列検索</li> <li>条件で集計</li> <li>時間の計算</li> <li>日付の管理</li> </ul>	●Excelの主な関数を修得する。	
年間授業時間数				30時間

教科目名	ネイル・ケア	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	なし		
授業方法	実習		
授業内容	基礎理論（ネイルの歴史、爪の構造と働き）、ネイルケア、フラットアート		
年間授業時間数	30時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきネイルケア基礎・応用技術、知識を学び、資格検定取得、実務的な職能能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価。</li> <li>・A（80点以上）・B（60点～79点）・C（40点～59点）・D（不合格）</li> <li>・学期末に期末試験を実施、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各出席状況、授業態度も評価対象とする。</li> </ul>		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3時間	1. ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーリング（赤）</li> <li>・カラー、ベース、トップコート の使用法 デモンストレーション （ハンド）</li> </ul>	●カラー、ベース、トップコートの使用法の理解、手順の理解	※スクールキット
3時間	2. ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合トレーニング プレマニキュア→ファイ リング→キューティクル クリーン→カラーリング （トレーニング相モデル）</li> </ul>	●プレマニキュア～カラーリングまでの手順の理解	※スクールキット ※お湯
4時間	3. アート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクリル絵の具の使用法</li> <li>・色彩学</li> </ul>	●JNECネイリスト技能 検定試験 3級課題 「フラワー」のデザイン決定 5分でフラワーの練習	※スクールキット ※お湯
18時間	4. 検定対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JNECネイリスト 技能検定試験 3級内容 ネイルケア～フラットアート （トレーニング相モデル）</li> </ul>	●JNECネイリスト技能 検定試験合格	※スクールキット ※お湯
1時間	5. 期末試験（前期）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JNECネイリスト技能 検定試験 3級内容</li> </ul>	●これまでに学習範囲について理解度を確認する	
1時間	6. 期末試験（後期）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JNECネイリスト技能 検定試験 3級内容</li> </ul>	●これまでに学習範囲について理解度を確認する	
年間授業時間数				30時間

教科目名	ビジネス実務	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験 20年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	業務の基本とビジネス文書、対人関係とコミュニケーション、仕事の実践とビジネス文書、対人関係・チームワークとコミュニケーション		
年間授業時間数	30時間		
到達目標	ビジネスマナーを学び、社会常識とサービス業の専門知識を身に付け、自己管理、職業理解を高め就業に対する意識の向上		
成績評価の方法・基準	授業・ノート提出・出席・テスト 60点以上		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
28時間	1. 社会人としての心構え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として仕事をしていく上での組織の一員としての自覚</li> <li>・指示の受け方・報告の仕方</li> <li>・注意・忠告の受け方、仕方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日頃の生活態度を振り返らせてどのように意識を変えていくか</li> <li>●何気ないやり取りの中で指示報告、注意、忠告のポイント</li> </ul>	
	2. 基本動作 (ロールプレイング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お辞儀の仕方 (種類と使い方)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実際に立って、お辞儀する・歩くといった動作をさせどのように見えるか</li> <li>●立つ、歩く、お辞儀をする</li> </ul>	
	3. 言葉使いの基本 (ロールプレイング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の仕方・話の聞き方</li> <li>・敬語の基本</li> <li>・間違いやすい敬語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言葉は、相手との人間関係や状況に応じて使い分ける</li> <li>●敬語表現の間違っていている部分を見つけたら、どこが間違っているのかその理由を考える</li> </ul>	
	4. 接客対応 (ロールプレイング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の受付からお見送りまで</li> <li>・案内の要領、お茶の出し方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お客様が見えたら「いらっしゃいませ」と笑顔で明るく迎える</li> <li>●お預かりした荷物間違いなにか</li> <li>●受付はお客様が最初に接する場であり、ここでの印象がサロン全体へイメージを左右することを認識させる</li> <li>●案内する席はよごれていないか</li> <li>●待合からの席への案内はお客様の二、三步前を歩く</li> </ul>	
	5. 電話対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話対応の注意点</li> <li>・電話の受け方の基本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●相手の氏名を確認してから取次を行っているか</li> <li>●正しい言葉使い</li> <li>●明るく爽やかな声</li> <li>●慣れるまでは事前にメモを作成しておく</li> </ul>	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
	6. 信頼される美容師になるため	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様 1 人 1 人の立場に立って気配りや配慮の仕方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●心からのおもてなしをする</li> <li>●美容師は、挨拶や身だしなみを含めた接客、清潔かつ、おしゃれな店内など、お客様にとってもっとも居心地のいい空間を提供できるよう心がける</li> </ul>	
2 時間	7. 前期期末試験 8. 後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本動作から接客対応（ロールプレイング）</li> <li>・信頼される美容師になるには（作文）</li> </ul>		
年間授業時間数				30 時間

教科目名	ヘア・デザイン	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	ヘア・イラストレーション（鉛筆の削り方、顔のプロポーショナル、顔の部分練習・基礎編、顔の描き方、角度の変化による顔形、ヘアの描き方、いろいろな描き方）、顔の部分練習・応用編、配置・ヘアスタイルによるイメージの違い		
年間授業時間数	60時間		
到達目標	美容師は髪型（ヘアスタイル）の決定から仕上げまでのすべてをこなす特殊な職業であり、お客様に満足していただくために、ヘアデザインについて創作的な技術を身につける。		
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況、授業態度、課題提出物、小テスト、学期末試験を加味し総合的に評価する。</li> <li>・A（80点以上）・B（60点～79点）・C（40点～59点）・D（不合格）</li> </ul>		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
5時間	1. 鉛筆の削り方	・ Bから 4Bを中心に何本か削る	● 太い、細い、平ら、自分の使いやすいよう工夫してみる。	
	2. 顔の部分練習 基礎編	・ 目、鼻、口、眉の書き方	● 形を写し取って練習し学ばせる。	
4時間	3. ヘアの書き方	・ 髪の毛のライン、ウェーブ・カール	● 強弱をつけ毛先の表現を学ばせる。	
5時間	4. ぼかして消しゴムで書く	・ 消しゴムでやわらかいラインを書く	● 影、やわらかい感じを学ばせる。	
5時間	5. いろいろな描き方	・ トレーストレーニング 1～3	● 線の強弱をつけ自然な毛の流れを学ばせる。	
1時間	前期末試験	・ 目、鼻、口、眉の書き方 髪の毛のライン、ウェーブ・カール		
10時間	6. 顔の描き方	・ レディース、メンズ正面向き	● トレーストレーニングで確認しながら描けるように学ばせる。	
10時間	7. 顔の描き方	・ レディース、メンズ横向き	● トレーストレーニングで確認しながら描けるように学ばせる。	
5時間	8. 実写的な描き方 1	・ トレーストレーニング 1～3	● 細かい線やぼかし具合を学ばせる。	
5時間	9. 実写的な描き方 2	・ 雑誌などのヘアスタイルを書く	● 上からなぞるように書かせる。	
5時間	10. 実写的な描き方 3	・ 相モデルでお互いを書く	● いままでの授業内容をいかしながら学ばせる	
4時間	11. 自分の顔を書く	・ 鏡を見ながら書く	● いままでの授業内容をいかしながら学ばせる	
1時間	後期末試験	・ ぼかしかた ・ 立体的に表現できるかどうか		
年間授業時間数				60時間

教科目名	メイク・アップ	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験 10年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	基本のメイクアップテクニック		
年間授業時間数	30時間		
到達目標	ナチュラルメイクアップの基礎知識・技術・施術をする上での注意点等を習得する		
成績評価の方法・基準	期末試験・出席状況を総合としてA(80点以上) B(60点~79点) C(40点~59点) D(不合格)		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
3時間	1. スキンケア～フルメイクアップまで (基本: ブラウン系) ①	・アイブロウ・ブラッシュオン・リップメイクアップの目的・手順デモンストレーション(基本的なイメージのテクニック) 相モデルで実施	● スキンケア～アイメイクアップまでは復習、アイブロウ・ブラッシュオン・リップの手順・特徴・仕上がりについて学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	2. スキンケア～フルメイクアップまで (ソフト: ピンク系) ①	・アイブロウ・ブラッシュオン・リップメイクアップの目的・手順デモンストレーション(ソフトな印象に見せるためのテクニック) 相モデルで実施	● スキンケア～アイメイクアップまでは復習、アイブロウ・ブラッシュオン・リップの手順・特徴・仕上がりについて学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	3. スキンケア～フルメイクアップまで (シャープ: グレー系) ①	・アイブロウ・ブラッシュオン・リップメイクアップの目的・手順デモンストレーション(シャープな印象に見せるためのテクニック) 相モデルで実施	● スキンケア～アイメイクアップまでは復習、アイブロウ・ブラッシュオン・リップの手順・特徴・仕上がりについて学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	4. スキンケア～フルメイク(モデルに合うパーソナルメイク) ①	・モデルの個性に合う印象メイク・カラー等を考えフルメイクアップを相モデルで実施	● スキンケア～フルメイクアップまでの特徴・仕上がりについて学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	5. スキンケア～フルメイク(モデルに合うパーソナルメイク) ②	・モデルの個性に合う印象メイク・カラー等を考えフルメイクアップを相モデルで実施	● スキンケア～フルメイクアップまでの特徴・仕上がりについて学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	6. スキンケア～フルメイク(モデルに合うパーソナルメイク) ③	・モデルの個性に合う印象メイク・カラー等を考えフルメイクアップを相モデルで実施	● スキンケア～フルメイクアップまでの特徴・仕上がりについて学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
3時間	7. メイクアップ技能検定試験対策①	・スキンケア～フルメイクアップ タイム取り 60分間	● メイクアップ技能検定試験の課題(ナチュラルメイクアップ)をスキンケア～リップメイクアップまでを時間内に完成させる	※プリント ※スクール教材キット

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3 時間	8. メイクアップ技能検定試験対策②	・スキンケア～フルメイクアップ タイム取り 60 分間	●メイクアップ技能検定試験の課題（ナチュラルメイクアップ）をスキンケア～リップメイクアップまでを時間内に完成させる	※プリント ※スクール教材キット
3 時間	9. メイクアップ技能検定試験対策③	・スキンケア～フルメイクアップ タイム取り 60 分間	●メイクアップ技能検定試験の課題（ナチュラルメイクアップ）をスキンケア～リップメイクアップまでを時間内に完成させる	※プリント ※スクール教材キット
3 時間	10. メイクアップ技能検定試験対策④	・スキンケア～フルメイクアップ タイム取り 60 分間 ※衛生面において検定基準に合わせた道具のセッティング・扱い方	●メイクアップ技能検定試験の課題を時間内に完成させる ●衛生面についての検定基準に沿って道具をセッティング・扱い方を学ばせる	※プリント ※スクール教材キット
年間授業時間数				30 時間

教科目名	衛生管理	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	あり <獣医師免許取得>		
授業方法	講義		
授業内容	公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術、衛生管理の実践例		
年間授業時間数	40時間		
到達目標	衛生学を基盤にして、美容師として必要な知識と技術を習得する。		
成績評価の方法・基準	年2回の期末テストを実施し、80点以上をA、79点以下60点以上をB、59点以下をC評価とする。		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
10時間	1. 感染症(各論)	<b>【感染症の各論】</b> ・美容業と感染症 ・空気飛沫を介するもの、飲食物を介するもの、血液等を介するもの、動物を介するもの ・標準予防策、咳のある客への対応、皮膚に病変のある客への対応、嘔吐した客への対応	●感染症を理解し、美容師として客と自信を感染症から守り、危害を防止するための知識と技術を習得する	
20時間	2. 衛生管理技術	<b>【消毒法総論】</b> ・病原微生物と非病原微生物 ・汚染、感染、発病と消毒の意義 ・殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義 ・法の規定 ・怠った場合の危険性と美容師の責任 ・消毒法の種類 ・消毒に必要な条件 ・病原微生物の抵抗力 ・消毒薬使用、保存上の注意 <b>【消毒法各論】</b> ・理学的消毒法 ・化学的消毒法 ・すぐれた消毒法と実施上の注意 <b>【消毒法実習】</b> ・消毒薬の概要、器具の使い方、常備する消毒薬と希釈液の濃度、希釈法 ・美容所の消毒の原則、設備、器具の消毒法、手指の消毒、その他のものの消毒 ・美容所の清潔法の実際	●客や美容師自身の感染を防止するため、消毒法を論理的に理解し、確実な消毒を行うための技術を習得する。	
8時間	3. 衛生管理の実践例	・美容所における衛生管理要領 ・美容所の自主点検表	衛生管理要領に記載された内容の具体的な実例について学習する。	
2時間	4. 期末試験	・指導内容の理解度、目標到達度を評価するために前後期2回の試験を実施する。		
年間授業時間数				40時間

教科目名	関係法規・制度	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	なし <高等学校「社会」教員免許取得>		
授業方法	講義・演習		
授業内容	法制度の概要、衛生行政の概要、美容師法、関連法規		
年間授業時間数	10 時間		
到達目標	美容師国家試験に合格できる知識の修得を目標とする		
成績評価の方法・基準	期末試験 A (80 点以上) ・ B (60 点～79 点) ・ C (40 点～59 点) ・ D (不合格)		

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
5 時間	1. 項目別問題演習	・ 保健所、免許、美容所の開設、開設者が講ずべき衛生措置。管理美容師、美容師が講ずべき衛生措置。美容の業を行う場所、行政処分、罰金。その他の項目別問題の学習	●項目別の問題を学習することによって、問題の傾向に慣れさせる	
1 時間	2. 国家試験重点項目 (出題ポイントのまとめ)	・ 出題内容の重点的項目についての学習	●出題ポイントを理解させる	
4 時間	3. 問題演習	・ 国家試験過去問題の学習	●過去問題の出題傾向について理解させる	
年間授業時間数				10 時間

教科目名	化粧品化学	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	あり <高等学校「理科」教員免許取得、教員歴あり>		
授業方法	講義		
授業内容	化粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的。化粧品の定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安全性。身体に直接装着するつけまつ毛、まつ毛エクステンション、つけ爪の材料と使用方法。		
年間授業時間数	20 時間		
到達目標	公衆衛生に資する美容師として、身に付けなければならない知識をえる。		
成績評価の方法・基準	絶対評価 授業点+期末試験(60点以上を合格) 合計点 80点以上“A”、60点以上“B”、40点以上を“C”、40点以下“不可”		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
3 時間	1. ヘアカラー製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>種類とメカニズム</li> <li>一時着色剤</li> <li>半永久染毛剤</li> <li>脱色剤・脱染剤</li> <li>永久染毛剤(酸化染毛剤)</li> <li>ヘア・ブリーチ剤</li> </ul>	●ヘアカラー製品について理解させる	
1 時間	2. 育毛・養毛剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>育毛、養毛剤の使用目的と種類</li> <li>育毛、養毛剤の原料</li> </ul>	●育毛・養毛剤について理解させる	
2 時間	3. 芳香製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>香水</li> <li>オーデコロン</li> <li>その他の芳香製品</li> </ul>	●フレグランス製品について理解させる	
2 時間	4. 特殊化粧品	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンケア製品</li> <li>美白用化粧品</li> <li>制汗、防臭用化粧品</li> <li>ニキビ用化粧品</li> <li>除毛剤・脱毛剤</li> </ul>	●特殊化粧品について理解させる	
1 時間	5. 物質の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の構成</li> <li>水の構造</li> <li>原子量と分子量</li> </ul>	●物質の構成について理解させる	
1 時間	6. 前期末試験			
1 時間	7. 溶液とコロイド	<ul style="list-style-type: none"> <li>溶液と溶解のしくみ</li> <li>飽和溶液と溶解度</li> </ul>	●溶液の性質について理解させる	
1 時間	8. コロイド	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロイドの定義と種類</li> <li>ミセルと乳濁液</li> </ul>	●コロイドの性質について理解させる	
1 時間	9. イオンと水素イオン指数	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオン</li> <li>水素イオン指数</li> </ul>	●イオンと水素イオン指数について理解させる	
2 時間	10. 酸と塩基の定義	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸と塩基の定義と強弱</li> <li>緩衝作用と緩衝液</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●酸と塩基の性質について理解させる</li> <li>●pH、中和について理解させる</li> </ul>	
2 時間	11. 物理変化と化学変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>物理変化と化学変化</li> <li>中和反応と塩の生成</li> <li>化学反応の速さ</li> <li>中和反応と塩</li> </ul>	●物理変化と化学変化について理解させる	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
1 時間	12. 酸化・還元反応	<ul style="list-style-type: none"><li>・酸化と還元の見義</li><li>・酸化剤と還元剤</li></ul>	●酸化、還元について理解させる	
1 時間	13. たんぱく質	<ul style="list-style-type: none"><li>・たんぱく質とその種類</li><li>・たんぱく質の構造と性質</li><li>・ケラチン</li></ul>	●たんぱく質について理解させる	
1 時間	14. 後期末試験			
年間授業時間数				20 時間

教科目名	社会福祉	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	あり <介護福祉士15年以上、現在も在職中>		
授業方法	講義		
授業内容	現代社会と社会福祉、社会保障制度、高齢者と障害者の体と心・介助		
年間授業時間数	30時間		
到達目標	わが国の社会福祉・社会保障制度について説明することができる		
成績評価の方法・基準	試験の点数 出席状況 授業態度		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
4時間	1. 現代社会と社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちと生活問題</li> <li>・社会経済環境の変化</li> <li>・私たちの暮らしを支える社会福祉</li> </ul>	●現代社会と社会保障の成り立ち、そして社会福祉の役割について理解する	
3時間	2. 医療保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療保障制度の概要</li> <li>・医療保険の仕組み・公費負担</li> </ul>	●安心して療養に専念することができる社会的な制度を理解する	
4時間	3. 所得保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所得保障の概要</li> <li>・公的年金・労働保険</li> <li>・公的扶助・社会手当</li> </ul>	●所得の減少は社会保険による公的年金制度で、また生活に困窮する国民には生活保護制度により対応していることを理解する	
7時間	4. 社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉の概要</li> <li>・児童家庭福祉・障害者福祉</li> <li>・高齢者福祉</li> </ul>	●さまざまな理由で生活困難を抱えている人々に対し、自立支援のために各種の施設及び在宅サービスを提供することを理解する	
6時間	5. 高齢者と障害者の体と心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者・障害者の身体的・心理的特性</li> </ul>	●高齢者・障害者の生活上の困難、身体的・心理的特性を理解する	
3時間	6. 高齢者・障害者の介助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容・美容における介助の考え方</li> <li>・高齢者に対する介助</li> <li>・障害のある方に対する介助</li> </ul>	●身体的・精神的な状態に合わせた対応と、個別的な特徴を理解する	
1時間	7. 高齢者・障害者に対する理容・美容技術の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店内における実践</li> </ul>	●高齢者・障害者に対する施術は、状態に応じた配慮が必要であることを理解する	
2時間	8. 理容師・美容師と社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献活動</li> <li>・理容・美容技術を用いた社会・貢献活動</li> </ul>	●「自分たちが身に付けた理容・美容技術を活用した社会貢献活動」と「地域住民としての社会貢献活動」を理解する	
年間授業時間数				30時間

教科目名	日本文化	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験 30年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	着付けの技術、日本髪		
年間授業時間数	30 時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づき着付けの基礎、知識を学び、実務的な職業能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	学期末に期末試験を実施し、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行う。出席状況、授業態度も評価対象とする。		

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
4 時間	1. たたみ方 (本だたみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>着物のシワを最小限に抑えるたたみ方を学ぶ</li> <li>着物の種類別によるたたみ方を学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手順を覚えさせる</li> <li>●着物の名称を覚えさせる</li> </ul>	※浴衣一式
10 時間	2. 浴衣の着付け 3. 浴衣に合う帯選び	<ul style="list-style-type: none"> <li>着物を着る目的</li> <li>着崩れしにくい紐の締め方を学習する</li> <li>浴衣を着て帯が結べるように学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●紐を結ぶ位置を学習させる</li> <li>●扱い方を覚え、一人で浴衣が着られるように指導する</li> <li>●着崩れしないように紐の位置に注意しながら着付ける</li> </ul>	※浴衣一式
5 時間	4. 留袖の着付け 5. 補正 6. 留袖、長襦袢のたたみ方、用具 (小物) の名称を覚えさせる	<ul style="list-style-type: none"> <li>着付けの手順を見せる</li> <li>着崩れを防ぎ美しく着物を着る</li> <li>ポイント補正を学ぶ</li> <li>本だたみ・夜具だたみ・長襦袢の</li> <li>たたみ方を学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●着物の種類別によるたたみ方の違いを学習する</li> <li>●最小限にシワを抑えるたたみ方を学ぶ</li> </ul>	※着物一式
5 時間	7. 着付けの一般的要領 8. 訪問着・付け下げの着付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>着付けのポイントを見せ、手順を学習させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●腰ひもを結ぶ位置</li> <li>●襟の合わせ方</li> <li>●裾武・襟あわせを覚えさせる</li> </ul>	※着物一式
5 時間	9. 帯結び (二重太鼓)	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順を覚えさせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体の調和を考え帯が結べるように学ばせる</li> </ul>	※帯一式
1 時間	10. 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>着付けの一例・全般</li> </ul>		
年間授業時間数				30 時間

教科目名	美容運営管理	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	なし <高等学校「社会」教員免許取得>		
授業方法	講義		
授業内容	接客、経営戦略・マーケティング、経営管理、労務管理、健康管理		
年間授業時間数	10時間		
到達目標	経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割、人を雇うことの責任や働くうえで求められること、顧客を満足させるサービスとは何かについて理解する		
成績評価の方法・基準	期末試験、A(80点以上)・B(60点～79点)・C(40点～59点)・D(不合格)		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
1時間	第4章 人という資源 1. 労働者の権利	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く者の権利</li> <li>適正な労使関係の構築</li> <li>新しい問題への対応</li> </ul>	●従業員の権利を守っていく 労務管理について理解させる	
1時間	第5章 健康・安全な職場環境の実現 1. 健康管理の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康管理とその仕組み</li> <li>健康診断</li> </ul>	●従業員の健康を守る取り組みについて理解させる	
1時間	2. 美容の仕事と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>人的サービス・顧客に求められるサービスゆえの健康課題</li> <li>職務の特性と健康課題</li> <li>経営者としての責任</li> </ul>	●サービスの提供である美容の仕事としての健康について理解させる	
1時間	3. 美容業に特徴的な健康課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>美容の仕事と疲労</li> <li>美容師に多い健康問題</li> </ul>	●美容業で働く人の健康に影響を与える要因や疾病の特徴について理解させる	
1時間	4. 美容の作業環境に関する健康問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>採光・照明</li> <li>換気</li> <li>温度・湿度</li> </ul>	●適切な店内環境に整えていくことについて理解させる	
1時間	第6章 従業員としての視点から 1. 社会人としての責任・美容業の従業員としての責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人としての責任</li> <li>美容という仕事ゆえの責任</li> <li>新しい責任</li> </ul>	●社会人として、従業員としての責任について理解させる	
1時間	2. 社会保険① ～公的年金～	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民年金</li> <li>厚生年金保険</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国民年金の制度について理解させる</li> <li>●厚生年金の制度について理解させる</li> </ul>	
1時間	3. 社会保険② ～医療保険～	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康保険</li> <li>国民健康保険</li> <li>介護保険</li> </ul>	●医療保険制度について理解させる	
1時間	4. 社会保険③ ～労働保険～	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用保険</li> <li>労務者災害補償保険</li> </ul>	●労働保険制度について理解させる	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
1時間	5. キャリアプランの重要性 6. 仕事をするうえで考えるべきこと	<ul style="list-style-type: none"><li>・進むべき道を考える</li><li>・準備</li><li>・キャリアプランのメリット</li><li>・自己管理、将来設計</li><li>・サービス提供者としての役割とは</li><li>・仲間と働くうえでの役割</li></ul>		
			年間授業時間数	10時間

教科目名	美容技術理論	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	エステティック、ネイル技術、メイクアップ、日本髪、着付けの理論と技術		
年間授業時間数	60時間		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの知識習得		
成績評価の方法・基準	期末試験・出席状況を総合として A (80点以上) B (60点~79点) C (40点から59点) D (不合格)		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
8時間	第8章 エステティック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚の生理と構造</li> <li>・カウンセリング</li> <li>・美容におけるマッサージ理論</li> <li>・フェイシャルケア技術</li> <li>・フェイシャルパック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国家試験内容に基づいたプリント</li> <li>●重要ポイントを集中して学ばせる</li> </ul>	
8時間	第9章 ネイル技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイル検定対策</li> <li>・ネイル技術の種類</li> <li>・爪の構造と機能</li> <li>・爪のカット形状</li> <li>・アーティフィシアルネイル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国家試験内容に基づいたプリント</li> <li>●重要ポイントを集中して学ばせる</li> </ul>	
8時間	第10章 メイクアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メイクアップ検定対策</li> <li>・メイクアップ概論</li> <li>・メイクアップの道具</li> <li>・スキンケア</li> <li>・ベースメイクアップ</li> <li>・アイメイクアップ</li> <li>・リップメイクアップ</li> <li>・まつ毛エクステンション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国家試験内容に基づいたプリント</li> <li>●重要ポイントを集中して学ばせる</li> </ul>	
8時間	第11章 日本髪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本髪の由来</li> <li>・日本髪の各部の名称</li> <li>・日本髪の種類と特徴</li> <li>・日本髪と調和</li> <li>・日本髪の装飾品</li> <li>・日本髪の結髪道具</li> <li>・日本髪の結髪技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国家試験内容に基づいたプリント</li> <li>●重要ポイントを集中して学ばせる</li> </ul>	
8時間	第12章 着付けの理論と技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着付けの目的</li> <li>・礼装</li> <li>・着物と季節</li> <li>・着物いろいろ</li> <li>・帯</li> <li>・小物</li> <li>・着物のたたみ方</li> <li>・着付けの一般的要領</li> <li>・男子礼装羽織、袴着付け技術</li> <li>・婚礼着付けの際の注意事項</li> <li>・和装花嫁</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国家試験内容に基づいたプリント</li> <li>●重要ポイントを集中して学ばせる</li> </ul>	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
18 時間	国家試験筆記対策 第 1 章から第 12 章	・ 国家試験過去問題	●問題を繰り返し行う事で、 試験問題に慣れさせ、内容を復習させる	
2 時間	前期期末試験 後期期末試験	・ 第 1 章から第 10 章までポイント範囲 ・ 第 1 章から第 12 章までポイント範囲	●問題を繰り返し行う事で、 試験問題に慣れさせ、内容を復習させる	
年間授業時間数				60 時間

教科目名	美容実習	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	国家試験課題（ワインディング、オールウェーブセッティング、カットイング）		
年間授業時間数	510時間		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの知識習得、正確な技術の習得		
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況、従業態度、学期末実技試験を加味し総合的に評価する。</li> <li>・成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格する素点による評価</li> <li>・A（80点以上）・B（60点～79点）・C（40点～50点）・D（不合格）</li> </ul>		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
50時間	1. ワインディング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成の見直し</li> <li>・ロッドの種類と配列</li> <li>・ロッドの方向性とステムの角度</li> <li>・輪ゴムの掛け方とロッドの巻き止め状態</li> <li>・全体のバランス</li> <li>・課題制作時間20分で仕上げる</li> </ul>	●国家試験の課題の技術条件に基づいて	
50時間	2. オールウェーブセッティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成の見直し</li> <li>・オールウェーブセッティング7段構成</li> <li>・ピンカール構成</li> <li>・ピニング</li> <li>・全体のバランス</li> <li>・課題作成時間25分で仕上げる</li> </ul>		
50時間	3. レイヤーカット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シザーズの開閉、コームの持ち方</li> <li>・ブロッキングからの手順</li> <li>・シザーズによるブラントカットイング</li> <li>・パネルを持つ指の角度</li> <li>・ガイドの長さ</li> <li>・全体のバランス</li> <li>・課題作成時間20分で仕上げる</li> </ul>	●技術の条件、ガイドの長さやそれぞれシンメトリーであること	
50時間	4. 国家試験に使用する用具 5. 準備物の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課題使用する用具の衛生面指導</li> <li>・ラベルの張り方</li> <li>・モデルウィッグの扱い方</li> <li>・各課題の使用する用具の取り扱い</li> <li>・テーブルセッティングの配置</li> <li>・用具類の収納方法</li> <li>・用具類の衛生状態</li> <li>汚物入れの収納状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●時間内に準備し手順通りに設置出来るようにする</li> <li>●特に衛生面のピン皿の扱い、汚物入れなど</li> <li>●身体及び服装のチェック</li> </ul>	
6時間	6. 前期期末試験 7. 後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワインディング・オールウェーブセッティング両課題時間内に仕上げられるのか判定</li> </ul>	●苦手分野に向け克服を図る	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
304 時間	8. 国家試験実技課題対策 (11 月～2 月)	第 1 課題 (カッティング) 第 2 課題 (ワインディング) (オールウェーブセッティング) ・ 国家試験対策により合同授業 開始 ・ 試験会場をイメージしながら 何度も練習に取り組む	●各課題の構成、作成時間、長さの基準などの完成度 ●衛生面の取り扱いの細かい指導	
			年間授業時間数	510 時間

教科目名	美容総合技術	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	シャンプーイング、ブローイング、スカルプマッサージ		
年間授業時間数	60時間		
到達目標	サロンでの接客や接客マナーを学習しシャンプーでのロールプレイングを通し必要技術、知識を習得する		
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況、授業態度、学期末実技試験を加味し総合的に評価する</li> <li>・成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価</li> <li>・A (80点以上) ・B (60点～79点) ・C (40点～59点) ・D (不合格)</li> </ul>		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
30時間	1. シャンプーイング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の案内誘導</li> <li>・タオル、クロスの掛け方</li> <li>・シャンプーの手順</li> <li>・トリートメントの手順</li> <li>・タオルドライ、ターバンの仕方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サロンに出たから即実践で使えるようにする</li> <li>●お客様との対応、言葉の掛け方</li> <li>●手の動きや力加減の調節</li> <li>●シャンプーの泡のたて方</li> <li>●シャワーヘッドの持ち方 (サイドシャンプーとバックシャンプーのヘッドの違い)</li> <li>●ネープのすすぎ方の注意点</li> <li>●タオルドライ (ショート・ロングの対応)</li> </ul>	
	2. スカルプマッサージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トニック塗布</li> <li>・スカルプマッサージの目的</li> <li>・スカルプマッサージの手順</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●トニック剤が顔に流れないようにする</li> <li>●マッサージによって必要な刺激、加え、頭皮、毛髪の健康維持</li> <li>●手の動き、力加減</li> <li>●お客様の満足度を図る</li> </ul>	
	3. ブローイング (サロンワークスタジオ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショートスタイルからロングスタイルのブロー</li> <li>・ドライヤーの当て方</li> <li>・ブラシの使い方 (ハーフラウンドブラシ) (スケルトンブラシ) (ロールブラシ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●セット面の誘導声掛け</li> <li>●ストレートな毛流を作る</li> <li>●毛先に丸みをつける</li> <li>●くせ毛ブロー</li> </ul>	
15時間	4. 国家試験 実技対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験課題 (ワインディング) (オールウェーブセッティング) (レイヤーカット)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●苦手分野に向けて克服を図る</li> <li>●グループ分け個別指導</li> </ul>	

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
9時間	5. 国家試験 筆記対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去問題</li> <li>・ 各教科ごとの問題集</li> <li>・ ノートまとめ</li> <li>・ プリントの見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 過去問題を何度も繰り返し行い教科書にラインや付箋を付けて覚えさせる</li> </ul>	
6時間	6. 前期期末試験 7. 後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お客様誘導案内から、スキャルプマッサージ・シャンプーまで</li> <li>・ 国家試験第1課題 (レイヤーカット)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 手順通りに出来ているか</li> <li>● 技術の条件、ガイドの長さやそれぞれシンメトリーであること</li> <li>● 衛生面の徹底指導確認 (汚物入れ) (絆創膏) (ウェットティッシュ)</li> </ul>	
年間授業時間数				60時間

教科目名	美容文化論	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上、「美容文化論研修」受講>		
授業方法	講義		
授業内容	日本や海外の美容ファッションの変遷、流行について学ぶ。また、服飾の歴史、衣服の種類なども学び美容業との関連性を学習する。		
年間授業時間数	20時間		
到達目標	理容業、美容業の歴史を理解させ、美の成り立ちやあり方への理解を深める		
成績評価の方法・基準	教科内容に即した課題を与えて、学生同士に討論させ、レポートを作成させる。		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
8時間	1.日本の理容業、美容業の歴史(明治・大正・昭和)	・明治時代の髪型	●断髪令と髪型 ●理髪用具の国産化と髪型について理解させる。	
		・大正時代への髪型	●日常生活の西洋化を学ばせる。	
		・昭和時代の髪型(戦前)	●パーマネットウェーブの導入による髪型の変遷を学ばせる。	
		・昭和時代の髪型(前後)	●男性髪型の名称と女性髪型の名称を理解させる。	
8時間	2.ファッション文化史(日本編)	・明治時代の服装	●洋装のはじまりについて理解させる。	
		・大正時代の服装	●都会の会社員の服装の普及と職業婦人と洋服の関係について理解させる。	
		・昭和時代の服装(戦前)	●戦時体制と服装の変化を読みとらせ、体制の影響からどのような形で変化したかを学ばせる。	
		・昭和時代の服装(戦後)	●流行の流れや、流行を追う心理、流行が社会に及ぼす影響について理解させる。	
4時間	3.礼装の種類	・和装の礼装	●花嫁の礼装 ●女性の礼装・準礼装 ●男性の礼装についてそれぞれの特徴と種類、エチケットについて理解させる。	
		・洋装の礼装	●男性の礼装 ●女性の礼装の種類とTPOについて理解させる。	
年間授業時間数				20時間

教科目名	美容保健	学科・学年	美容学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験 9 年以上、「美容保健研修」受講>		
授業方法	講義		
授業内容	人体の構造および機能、皮膚科学		
年間授業時間数	40 時間		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの知識習得		
成績評価の方法・基準	A (80 点以上) ・ B (60 点～79 点) ・ C (40 点～59 点) ・ D (不合格)		

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
3 時間	1. 皮膚の表面 2. 皮膚の断面	・ 皮膚の構造、皮膚の断面について	● 皮膚のそれぞれの器官の働きについて	
	3. 表皮 4. 表皮と真皮の境	・ 表皮のつくりについて ・ 表皮と真皮の境はどのようなになっているか	● 表皮内に存在する細胞の働きについて	
	5. 真皮	・ 真皮のつくりについて	● 真皮の役割と真皮に存在する汗腺、脂腺などについて	
	6. 皮下組織	・ 皮下組織とは	● 皮下組織 (脂肪細胞) の果たす役割について	
	7. 皮膚の部位差	・ 頭、顔、耳、首、の皮膚について	● 体の部位によって皮膚にはどのような特徴があるのか理解する	
3 時間	8. 毛	・ 毛の構造や成長周期と付属する筋について	● 毛の成長周期、性質全般、毛と熱との関係、性状について	
	9. 脂腺	・ 脂腺、汗腺、爪それぞれの役割について	● 脂腺と汗腺について図をもとにしてその位置を確認、エクリン腺、アポクリン腺の違いを習得、爪のつくりとその働きについて理解する	
1 時間	10. 【学習能力評価テスト】		● 学習理解度のチェック	
2 時間	11. 皮膚の血管	・ 皮膚の血管について	● 皮膚血管の分泌と血液の状態、皮膚の状態について	
	12. 皮膚のリンパ管	・ 皮膚のリンパ管について	● リンパ管の作用	
	13. 皮膚の神経	・ 皮膚の神経について	● 皮膚神経の分布と感覚について理解する	
1 時間	14. 【前期期末試験】			

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
4 時間	15. 対外保護作用	・皮膚の保護作用について	●皮膚に対する機械的外力、光線（紫外線）、化学的刺激、細菌や微生物への保護作用について	
	16. 体温調節作用	・体温調節について	●皮膚血管の拡張や収縮、発汗、蒸発熱について	
	17. 知覚作用と皮膚反射	・皮膚の知覚と皮膚反射について	●痛点、触点、冷点、掻痒（そうよう）、皮膚反射、鳥肌反応、皮膚反射について	
	18. 分泌排泄作用	・皮脂、汗の分泌について	●皮脂や汗の分泌によって体にはどのような影響があるか	
	19. 呼吸作用	・皮膚呼吸について	●動物と人間の皮膚呼吸の違いを理解する	
3 時間	20. 吸収作用 21. 貯蔵作用	・皮膚の吸収作用について ・貯蔵作用について	●経皮吸収、表皮経路、皮膚付属器官経路、構造について図をもとに説明 ●皮膚のもつ水分量について	
	22. 免疫・解毒・排除作用	・免疫・解排・除作用それぞれの役割について	●角化細胞、マクロファージ、ワクチン接種による貪食、殺菌、解毒、などの免疫作用について理解する	
	23. 再生作用	・皮膚の再生作用について	●表皮、皮膚、基底細胞の再生と肉芽組織による癒痕の有無について	
	24. 毛のはたらき	・体の各部位の毛について	●毛による機械的刺激からの保護、保護作用、性毛の特徴を理解する	
	25. 爪のはたらき	・爪（爪母）について	●爪の保護作用と爪の再生について	
4 時間	26. 皮膚と全身状態	・皮膚と全身の健康状態について	●皮膚の血色、貧血、悪液質、チアノーゼ、黄疸について	
	27. 皮膚と精神	・皮膚と精神状態について	●皮膚疾患と精神状態、ストレス、ホルモン分泌、多汗症について	
	28. 皮膚と栄養	・皮膚が生育していくのに必要な栄養について ・皮膚が生育していくのに必要な栄養について	●皮膚に必要なタンパク質、炭水化物、脂肪、無機質、血液 pH、ビタミンなど、各種の栄養について	
	29. 皮膚とし好品	・皮膚とし好品について	●アルコール、たばこ、コーヒーなどの常用によって皮膚に対して及ぼす悪影響	

時間	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
	30. 皮膚と体内病変	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体内の臓器に起こる病気による皮膚疾患について</li> <li>・肝臓と皮膚について</li> <li>・腎臓と皮膚について</li> <li>・胃腸と皮膚について</li> <li>・膵臓と皮膚 (糖尿病と皮膚変化) について</li> </ul>	●肝臓障害、腎臓炎、胃腸障害、便秘、糖尿病が原因で起こる皮膚疾患について理解する	
4 時間	31. 皮膚の水分と脂の状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しわ、乾皮、あぶら性の皮膚、敏感肌について</li> </ul>	●しわ、乾皮、あぶら性の皮膚、敏感肌と皮膚付属器官の状態を理解する	
	32. 皮膚・付属器官とホルモン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚、脂腺、毛とホルモンについて</li> </ul>	●男性ホルモン、女性ホルモン、副腎皮質ホルモンの分泌と脂腺、毛と皮膚の関係を理解する	
	33. 皮膚と保護と手入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚の保護</li> <li>・皮膚手入れ</li> <li>・ひげそりあとの皮膚の手入れ</li> <li>・ふけ症の手入れ</li> <li>・汗をかきやすい部位の手入れ</li> <li>・紫外線に対する皮膚の手入れ</li> <li>・皮膚表面のpHと化粧品</li> <li>・皮膚の色を白くする化粧品</li> <li>・硬い皮膚のケア</li> </ul>	●ストレス、飲酒、喫煙、化粧品に対する皮膚の保護。皮膚表面の衛生や紫外線に対するケアについて	
	34. 毛の保護と手入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毛の衛生やケアについて</li> </ul>	●脂腺から分泌される皮脂やブラッシング、シャンプーの果たす役割について理解する	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷んだ毛とそのケア</li> </ul>	●パーマメントウェーブや染毛剤、熱による傷害について理解する	
2 時間	35. 爪の保護と手入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・爪の手入れについて</li> </ul>	●ネイルエナメルやパーマメントウェーブ (第1剤) が爪のケラチンに悪影響を与えることを理解する	
	36. 子どものおしゃれによる皮膚トラブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おしゃれによる皮膚トラブルについて</li> </ul>	●染色、化粧品、アイメイク、マニキュアなどによるトラブルについて理解する	
4 時間	37. 皮膚の以上とその種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発疹について</li> </ul>	●原発疹 (紅斑・紫斑、)、皮膚色素異常、続発疹について	
	38. 皮膚疾患の原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚の病気 (皮膚疾患) について</li> <li>・日光皮膚炎 (日焼け)、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、蕁麻疹について</li> </ul>	●アレルギー現象 (化粧、パーマメントウェーブ、染毛剤、まつ毛エクステンション) による接触皮膚炎、麻疹などについて	
	39. 温熱・寒冷による皮膚障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱傷、凍傷、凍瘡ヒビとアカギレについて</li> </ul>	●熱傷の程度によって瘢痕を残さず治る場合と、残ることを理解する	

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
3 時間	40. 色素異常による皮膚疾患	・タコ、ウオノメ、などについて	●皮膚に機械的な刺激が絶えず加わると、タコ、ウオノメができることを理解する	
	41. 色素異常による皮膚疾患	・雀卵斑 (ソバカス)、肝斑 (シミ) 尋常性白斑 (シロナマズ) について	●メラニンの増加で起こる色素沈着とメラニンの減少で起こる白斑について理解する	
4 時間	42. 分泌異常による皮膚疾患	・尋常性痤瘡 (ニキビ) について	●男性ホルモンにより皮脂腺からの皮脂の分泌亢進によるニキビの発生について	
		・腋臭症 (ワキガ) について	●腋窩のアポクリン腺から分泌される汗の臭いとケアについて	
	43. 化膿菌による皮膚疾患	・細菌 (化膿菌) につて	●細菌感染で起こる皮膚疾患 (伝染性膿痂疹、毛包炎、癬、尋常性毛瘡) などについて	
	44. ウイルスによる皮膚疾患	・ウイルスについて	●ヘルペス、などについて	
	45. 真菌による皮膚疾患	・真菌 (カビ) について	●白癬菌、癬菌について	
	46. 衛生害虫による皮膚疾患	・衛生害虫について	●疥癬、虱などによる皮膚の状態を理解する	
	47. 毛と爪の疾患	・白髪、脱毛について	●白髪や男性型脱毛症、円形脱毛症の原因について	
・爪の疾患		●爪には身体のあらゆる症状が現れる、爪の形や色に変化がみられるその要因を理解する		
1 時間	48. 【学習能力評価テスト】		●学習理解度のチェック	
1 時間	49. 【後期期末試験】			
年間授業時間数				40 時間

教科目名	エステティック学科 I	学科・学年	総合ビューティ学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	エステティック概論、皮膚科学、解剖生理学、栄養学、ボディ実技理論、フェイシャル実技理論		
年間授業時間数	72時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきエステティックの基礎・応用技術、知識を学び資格検定取得、実務的な職業能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	学期末に期末試験を実施し、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各種検定取得の目標達成のため所定の単位の修得を行っている。出席状況、授業態度も評価対象とする。		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
4時間	1. エステティック概論	・エステティックの概念や歴史、産業としての規模と方向性、将来性、エステティックに関連する法律、業界の取り組むべき課題とその具体的な事例などを総合的に学習し理解する。	●自分の関わっていく業界について歴史、将来性などを理解する。関連する法律について学び、遵守することの大切さを学ぶ。	※日本エステティック業協会 ※エステティック概論テキスト
28時間	2. 皮膚科学	・皮膚の構造・皮膚の生理機能及び臓器と栄養素との関係性・肌老化や疾患などを理解しトリートメントの際に対応できる知識を身につける。	●エステティックを施す際に必要な肌の基礎知識を学ぶ。皮膚の構造・生理機能を学ぶことで、エステティックの基本原則である「スキンホメオスタシス(皮膚の恒常性維持機能)」を高めることを理解する。	※皮膚科学テキスト
16時間	3. 解剖生理学	・人体を構成する細胞、組織、器官、器官系について学びそれぞれの特徴や働きを理解する。筋肉の仕組み、免疫システム、アレルギーなどの仕組みを理解する。	●人の身体に触れて施術をする上で必要な基本的知識の習得をする。人体の構造と働きの基本を理解しエステティックサービスが正しく効果的に且つ安全に行えるようにする。	※解剖生理学テキスト
16時間	4. 栄養学	・代謝の仕組み、栄養素について理解する。5大栄養素、3大栄養素とその働きを理解する。基礎代謝量、摂取エネルギー量について理解し、体重管理が行えるようにする。	●食物の栄養素と健康の関係を学び、エステティック施術に役立つアドバイスができるようになる。又、各項目をより深く熟知することで、お客様とのコミュニケーションを深め、エステティック効果を高められるようにする。	※栄養学テキスト
3時間	5. ボディ実技理論	・ボディマッサージを行うにあたり、エステティシャンとしての心得を理解する。6つの基本手技、手法、効果をそれぞれ理解する。	●ボディトリートメントを行う上でそれぞれのトリートメントの基本手技、目的、効果、禁忌事項を理解する。	※ボディ実技理論テキスト

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3 時間	6. フェイシャル実技理論	・フェイシャルトリートメントの大きな3つの構成（クレンジング・機器トリートメント・マッサージ）を理解し、肌に合わせた施術の流れの構成の必要性を理解する。	●お客様の肌分析に基づき対応力のある施術とアドバイスができるエステティシャンを育てる。	※フェイシャル実技理論テキスト
2 時間	7. 期末試験	・一年次に学ぶべき基礎知識を中心に出題（前期・後期）	●基礎知識をどのくらい理解できているか把握させる。	
年間授業時間数				72 時間

教科目名	エステティック技術 I	学科・学年	総合ビューティ学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験 9年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	基本のボディマッサージ、ボディ機器トリートメント（低周波、パイブレーション機器）、基本のフェイシャルエステティック、フェイシャル機器トリートメント（ブラシクレンジング、吸引トリートメント）、WAX脱毛テクニック		
年間授業時間数	306時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきエステティックの基礎・応用技術、知識を学び資格検定取得、実務的な職業能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	学期末に期末試験、単元ごとの実技チェックを実施し、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各種検定取得の目標達成の為所定の単位の修得を行っている。出席状況、授業態度も評価対象とする。		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3時間	1. ボディ実技授業における準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エステティック実習室の使い方</li> <li>・教材・教具説明（名称・使用方法）</li> <li>・ベットメイキング・ワゴンセッティング</li> <li>・挨拶からベッドへのご案内</li> <li>・タオルドレーピング・ターバンセッティング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実習室内での守るべきルールを理解させ、全ての人が使いやすい実習室になるよう一人ひとりが意識できるようにする。</li> <li>●ホスピタリティマインド（おもてなしの心）を意識し、スムーズなご案内、効率のよいセッティングができるようにする。</li> </ul>	
6時間	2. 6種類の基本手技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック業協会ボディ実技理論テキストP28～29</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●軽擦法、強擦法、揉捏法、打法、振動法、圧迫法の手法、効果を理解させ意識して手技が行えるようにする</li> </ul>	※ボディ実技理論テキスト
36時間	3. ボディ技術 4. 下肢後面 (基本のオイルマッサージ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック業協会ボディ実技理論テキストP31～39の手順に基づき相モデル実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手順と手技名、スピードや強弱、密着、メリハリ、特に姿勢、体重移動を意識させ、体に負担をかけない手技をこころがける。</li> </ul>	※ボディ実技理論テキスト ※粧材
3時間	5. 下肢後面技術チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下肢後面のオイルマッサージ実技試験</li> <li>・ベットメイキング・ワゴンセッティング、挨拶からベッドへのご案内</li> <li>・タオルドレーピング・ターバンセッティングも含める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お客様から好感のめたれる身だしなみ、ホスピタリティマインドを意識した接客をこころがけ技術を行う。手順と手技名、スピードや強弱、密着、メリハリ、姿勢、体重移動を意識する。</li> </ul>	※粧材

21 時間	6. ボディ技術 7. 腰背部 (基本のオイルマッサージ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本エステティック業協会ボディ実技理論テキストP40～44の手順に基づき相モデル実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手順と手技名、スピードや強弱、密着、メリハリを意識する。</li> <li>●背中の中のツボ(天宗・膈愈)の位置の把握。自分の体重をうまく使えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ボディ実技理論テキスト</li> <li>※粧材</li> </ul>
3 時間	8. 腰背部技術チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>腰背部オイルマッサージ実技試験</li> <li>ベットメイキング・ワゴンセッティング、挨拶からベッドへのご案内</li> <li>タオルドレーピング・ターバンセッティングも含める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お客様から好感のもたれる身だしなみ、ホスピタリティマインドを意識した接客をこころがけ技術を行う。手順と手技名、スピードや強弱、密着、メリハリ、姿勢、体重移動を意識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※粧材</li> </ul>
3 時間	9. フェイシャル使用化粧品説明 (成分・使用方法) 10. ワゴンセッティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用化粧品の成分、使用方法を理解させる。新しく使用する用具等のセッティングを説明し実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●肌タイプに合わせた化粧品理解を深め、正しい化粧品選択ができるようにする。</li> </ul>	
33 時間	11. フェイシャル技術 (クレンジング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポイントメイククレンジング</li> <li>ベースメイククレンジング</li> <li>ウェットコットン拭き取り</li> <li>ホットタオル拭き取り</li> <li>相モデル実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クレンジングの目的を理解し、肌に負担無く手早くメイクを落とせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※粧材</li> </ul>
30 時間	12. フェイシャル技術 (パック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>肌タイプ、目的に合わせたパックの選択をし、さまざまな剤型のパックを塗布できるようにする。</li> <li>ハケによるパック塗布</li> <li>スポンジ拭き取り</li> <li>相モデル実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●規定の時間内に手際よく美しくパックを塗布できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※用具</li> <li>※粧材</li> </ul>
3 時間	13. クレンジング・パック技術チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレンジング・パック実技試験</li> <li>ベットメイキング・ワゴンセッティング、挨拶からベッドへのご案内</li> <li>タオルドレーピング・ターバンセッティングも含める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お客様から好感のもたれる身だしなみ、ホスピタリティマインドを意識した接客をこころがけ技術を行う。手際よく肌に負担がかからないようにクレンジングをし、既定の時間内に美しくパックを仕上げられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※用具</li> <li>※粧材</li> </ul>
12 時間	14. フェイシャル技術 (ディープレンジング・吸引)	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェイシャル機器の使い方(スチーム・バックスプレイ)</li> <li>ベントーゼ使用方法・消毒方法</li> <li>吸引相モデル実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正確に機器を使用できるようにする。</li> <li>●機器トリートメントの禁忌を理解し安全に使用できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※フェイシャル機器(ラルジュ)</li> </ul>

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
3時間	15. 採寸実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>相モデルで採寸</li> <li>BMI値の計算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理想のプロポーションを理解し、アドバイスにいかせるようにする。</li> </ul>	
18時間	16. ボディトリートメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボディ(皮膚)に対するトリートメントの相モデル実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディーブクレンジング、スキンケア目的のパックを施し、プロポーションメイク以外のボディケアの実践。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※フェイシャル機器(ラルジュ)</li> <li>※粧材</li> </ul>
21時間	17. ボディ技術 18. 下肢前面 (基本のオイルマッサージ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本エステティック業協会ボディ実技理論テキストP45~48の手順に基づき相モデル実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順と手技名、スピードや強弱、密着、メリハリを意識する。</li> <li>しっかり指先まで密着し丁寧に技術を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ボディ実技理論テキスト</li> <li>※粧材</li> </ul>
3時間	19. 下肢前面技術チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>下肢前面オイルマッサージ技術試験</li> <li>ベットメイキング・ワゴンセッティング、挨拶からベッドへのご案内</li> <li>タオールドレーピング・ターバンセッティングも含める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様から好感のもたれる身だしなみ、ホスピタリティマインドを意識した接客をこころがけ技術を行う。手順と手技名、スピードや強弱、密着、メリハリ、姿勢、体重移動を意識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※粧材</li> </ul>
3時間	20. WAX脱毛セッティング (用具・粧材説明)	<ul style="list-style-type: none"> <li>WAX脱毛テクニックに必要な用具・粧材の説明。</li> <li>禁忌事項の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料、用具、準備物の確認をする。施術前のカウンセリングの重要性や内容を理解し実践できるようにする。</li> </ul>	
18時間	21. WAX脱毛テクニック	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォームWAX(ソフト)</li> <li>ホットWAX(ハード)</li> <li>衛生管理、使用方法、アフターケア</li> <li>相モデル実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確な毛流を理解し、的確にWAXテクニックが行えるようにする。</li> <li>毛質に合わせてWAXの選択ができるようにする。</li> <li>アフターケアアドバイスまで行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※美容脱毛実技理論テキスト</li> <li>※用具</li> <li>※粧材</li> </ul>
18時間	22. ボディ技術 (低周波機器トリートメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>低周波機器の使い方</li> <li>効果、使用方法、パッドの消毒方法</li> <li>パディングレイアウト</li> <li>相モデル実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確に機器を使用できるようにする。</li> <li>機器トリートメントの禁忌を理解し安全に使用できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※低周波機器(バルシェイブ)</li> <li>※粧材</li> </ul>
18時間	23. ボディ技術 (バイブレーション機器トリートメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイブレーション機器の使い方</li> <li>アタッチメントの効果、使用方法、消毒方法</li> <li>相モデル実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確に機器を使用できるようにする。</li> <li>機器トリートメントの禁忌を理解し安全に使用できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※バイブレーション機器(G5)</li> <li>※粧材</li> </ul>
12時間	24. フェイシャル技術 (ディーブクレンジング・ブラシクレンジング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェイシャル機器の使い方(スチーム・フリマトール)</li> <li>ブラシ使用方法・消毒方法</li> <li>ブラシクレンジング</li> <li>相モデル実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確に機器を使用できるようにする。</li> <li>機器トリートメントの禁忌を理解し安全に使用できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※フェイシャル機器(ラルジュ)</li> </ul>

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
37 時間	25. フェイシャル技術 (マッサージ)	・基本のフェイシャルオイルマッサージテクニック	●6 種類の基本手技（軽擦法、強擦法、揉捏法、打法、振動法、圧迫法）の手法、効果を理解し、メリハリのあるマッサージを習得する。	※粧材
2 時間	26. 期末試験	・手技名、効果、化粧品成分など、実技を行うために必要な内容で出題	●一年時に習得すべき内容の把握	
年間授業時間数				306 時間

教科目名	コンピュータ実習 I	学科・学年	総合ビューティ学科 1年生
実務経験	なし		
授業方法	実習		
授業内容	ワードの基本と応用、文書入力		
年間授業時間数	36 時間		
到達目標	一般的な文書作成の修得		
成績評価の方法・基準	出席状況、授業態度、提出物、試験結果を基に、A：80点以上、B：60点～79点、C：40点～59点、D（不可）：40点未満の評価とする。		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
2 時間	1. Windowsの基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの起動と終了</li> <li>・マウスの操作</li> <li>・キーボードの操作</li> <li>・Windowsの操作</li> </ul>	●オペレーティングシステムの特徴と機能を理解する。	
4 時間	2. Word入門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MS-IMEの利用</li> <li>・文字の入力と訂正</li> <li>・漢字、カタカナ、ローマ字変換</li> </ul>	●各種変換と文字入力の基礎を修得する。	
4 時間	3. 文章の入力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書式設定</li> <li>・保存と読み込み</li> <li>・複写、移動、削除</li> <li>・読めない漢字やローマ字の含む文章の入力</li> </ul>	●文章の入力に必要な基本操作を修得する。	
4 時間	4. 画像の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行内に画像を挿入</li> <li>・文字列と画像を横並びに配置</li> <li>・画像のコピーとグループ化</li> <li>・画像を文字列の背面に置く</li> </ul>	●画像の挿入及び配置を修得する。	
4 時間	5. 文書作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書の基本形式</li> <li>・右揃えや中央揃えなどの機能</li> <li>・太字や下線、フォントサイズなどの機能</li> <li>・均等割付や段落番号の付け方</li> </ul>	●文書作成の基本を修得する。	
8 時間	6. 罫線を利用した文書作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の表作成</li> <li>・表の配置、セル内の配置</li> <li>・表のサイズ・行高や列幅の変更</li> <li>・セルの結合、罫線の書式設定</li> <li>・表内の塗りつぶし、表内の均等割付</li> <li>・表内の文字位置の配置</li> <li>・表のスタイルの変更</li> </ul>	●罫線を利用した文書作成を修得する。	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
6 時間	7. ビジュアルな文書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 段組み、セクション区切り ドロッキャップ、ページ 罫線</li> <li>・ ワードアートの利用</li> <li>・ 文字の効果と体裁</li> <li>・ 図形の利用</li> <li>・ テキストボックスの利用</li> </ul>	● ビジュアルな文書の作成方法を修得する。	
2 時間	8. 差し込み印刷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 差し込み印刷のデータ作成</li> <li>・ 差し込み印刷による印刷</li> </ul>	● 差し込み印刷の操作の修得。	
2 時間	9. 他アプリケーションとの連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他のアプリケーションからデータの貼り付け</li> <li>・ 他のアプリケーションのデータ変更及び表示</li> </ul>	● 他のアプリケーションとの連携を理解する。	
年間授業時間数				36 時間

教科目名	サービス接遇	学科・学年	総合ビューティ学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験5年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	一般的なサービスを行うために必要な知識と技能を習得する		
年間授業時間数	36時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきサービスの基礎・応用技術、知識を学び、資格検定取得、実務的な職能能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価。</li> <li>・A(80点以上)・B(60点～79点)・C(40点～59点)・D(不合格)</li> <li>・学期末に期末試験を実施、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各出席状況、授業態度も評価対象とする。</li> </ul>		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
3時間	1. オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・グループワーク</li> <li>・第一印象の大切さ</li> <li>・お辞儀の種類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初対面の相手に自分の意見を伝える</li> <li>●第一印象の大切さを理解し、挨拶の仕方を学ぶ</li> </ul>	
2時間	2. 挨拶の仕方に関する実技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち方・座り方・挨拶の仕方(ロールプレイング)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●接客時の基本的な挨拶の仕方を習得する</li> </ul>	
3時間	3. 敬語の使い方と話し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尊敬語・謙譲語・丁寧語の種類</li> <li>・尊敬語・謙譲語・丁寧語の使い分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●尊敬語・謙譲語・丁寧語の種類を習得し、状況に合わせた使い分けを理解する</li> </ul>	
6時間	4. サービススタッフの資質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要とされる要件</li> <li>①明るさと誠実さを備えている</li> <li>②適切な判断と表現を心得ている</li> <li>③身だしなみを心得ている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サービススタッフに求められる資質を理解し、適切な表現力と身だしなみを習得する</li> </ul>	
4時間	5. 一般知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助数詞の知識</li> <li>・社外文書に関する知識(時候の挨拶、頭語と結語、挨拶文等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●常識的なもの数え方を理解する</li> <li>●社外文書の校正を理解する</li> </ul>	
6時間	6. 対人技能①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接客マナーと知識</li> <li>①来客時の席次とお茶の出し方</li> <li>②エレベーターの席次</li> <li>③車・列車の席次</li> <li>④来客対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お茶の出し方や接客時の席次等、様々な場面におけるお客様対応を理解する</li> </ul>	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
6 時間	7. 対人技能②	<ul style="list-style-type: none"><li>・話し方と接遇用語の理解 様々な場面における言葉遣いをきちんと理解する</li><li>・ロールプレイングも行う</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●接遇者としての基本的な話し方が理解できる</li><li>●提示、説明の仕方を習得する</li></ul>	
6 時間	8. 実務技能	<ul style="list-style-type: none"><li>・社交業務とマナー</li><li>①冠婚葬祭のマナー</li><li>②社交業務の服装と身だしなみ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●社交儀礼の業務について理解し、処理できる能力を習得する</li></ul>	
年間授業時間数				36 時間

教科目名	ネイル・ケア I	学科・学年	総合ビューティ学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験 10年以上>		
授業方法	講義・実習		
授業内容	ネイルケア、リペア、チップ&ラップ、フラットアート、ジェルネイル基礎		
年間授業時間数	108 時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきネイル、ジェルネイルの基礎・応用技術、知識を学び、資格検定取得、実務的な職能能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100 点満点、40 点以上を合格とする素点による評価。</li> <li>・ A (80 点以上) ・ B (60 点～79 点) ・ C (40 点～59 点) ・ D (不合格)</li> <li>・学期末に期末試験を実施、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各出席状況、授業態度も評価対象とする。</li> </ul>		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
4 時間	1. ネイルの基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイルの歴史</li> <li>・ネイルの技術体系</li> <li>・爪の構造と働き</li> <li>・ネイルのための皮膚科学</li> <li>・ネイルのための整理解剖学 I・II</li> <li>・爪の病気とトラブル</li> <li>・消毒</li> <li>・マッサージ理論、化粧品学(ネイル用化粧品)</li> <li>・色彩学</li> <li>・ネイルカウンセリング、プロフェッショナリズム</li> <li>・マッサージ理論、化粧品学(ネイル用化粧品)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ネイルの基礎知識、技術の重要ポイントを抑え、学ばせる</li> </ul>	※JNAテクニカルシステムベシック
2 時間	2. ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイルケア手順 ファイリング→キューティクルクリーン (デモンストレーション)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ネイルケア手順の理解</li> <li>●プッシャー、ニッパー持ち方、使用法の理解</li> </ul>	※スクールキット
2 時間	3. ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレマニキュア テーブルセッティング～消毒 (デモンストレーション)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テーブルセッティング、技術者、相モデルの消毒法の理解</li> </ul>	※スクールキット
4 時間	4. ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイリング手順、ファイルの持ち方、カットスタイル (デモンストレーション) (ハンド)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ファイリングの手順、5 種類のカットスタイルの理解 (スクエア、スクエアオフ、ラウンドオーバル、ポイント)</li> </ul>	※スクールキット
4 時間	5. ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キューティクルクリーン (トレーニング相モデル)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ニッパー、プッシャーの手順、使用法の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※スクールキット</li> <li>※お湯</li> </ul>
2 時間	6. ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドマッサージ (デモンストレーション) (トレーニング相モデル)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マッサージの効果と目的</li> <li>●マッサージの手法の理解</li> </ul>	

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
4時間	7. ネイルケア	・カラーリング ・カラー、ベース、トップの使用法 (デモンストレーション) (ハンド)	●カラー、ベース、トップの使用法の理解・手順の理解	※スクールキット
4時間	8. ネイルケア	・総合トレーニング ・プレマニキュア→ファイリング→キューティクルクリナー→カラーリング (トレーニング相モデル)	●プレマニキュア～カラーリングまでの手順の理解	※スクールキット ※お湯
4時間	9. アート	・アクリル絵の具の使用法 ・色彩学 (ハンド)	●JNECネイリスト技能検定試験 3級課題 「フラワー」のデザイン決定 5分でフラワーアートの練習	※スクールキット ※お湯
14時間	10. 検定対策	・JNECネイリスト技能検定試験 3級内容 ネイルケア～フラットアート	●JNECネイリスト技能検定試験 3級合格	※スクールキット ※お湯
8時間	11. リペア	・ナチュラルネイルの修正 (デモンストレーション) (ハンド→トレーニング相モデル)	●レジン、グルー、シルクを使用するリペアの手順、使用法の理解	※スクールキット
6時間	12. チップラップ	・リペア→チップラップ デモンストレーション (JNECネイリスト技能検定試験 2級内容)	●レジン、シルク、グルー、ハーフウェルチップを使用するイクステンションの手順の理解	※スクールキット
12時間	13. チップラップ	・チップラップ (トレーニング相モデル)	●モデルの爪に合わせたイクステンションの理解	※スクールキット
4時間	14. ジェルネイル (理論)	・ジェルネイル概論 ・ジェルネイル材料の基礎理論 ・ジェルネイルの技術体系 ・ジェルネイルの用具用材 ・衛生管理 ・ジェルネイルの安全な施術とトラブル防止	●ジェルネイルの基礎知識技術の重要ポイントを抑え、学ばせる	※JNAテクニカルシステム ジェルネイル
4時間	15. ジェルネイル	・フローター ・カラー (赤) (デモンストレーション) (ハンド)	●カラー、ベース、トップジェルの使用法の理解、手順の理解	※スクールキット
4時間	16. ジェルネイル	・アート・ドラッグアート (ピーコック) (デモンストレーション) (ハンド)	●JNAジェルネイル技能検定試験 初級 「ピーコック」デザイン決定 10分でピーコックの練習	※スクールキット
12時間	17. ジェルネイル	・総合トレーニング カラージェル→ピーコック (トレーニング相モデル)	●カラージェル～ピーコックまでの手順の理解	※スクールキット

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
12 時間	18. 検定対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J N A ジェルネイル技能 検定試験 初級内容 カラージェル～ドラッグ アート (ピーコック) (トレーニング相モデル)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● J N A ジェルネイル技能 検定試験 初級合格</li> </ul>	※スクールキット
1 時間	19. 期末試験 (前期)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J N E C ネイリスト技能 検定試験 3 級内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの学習範囲について理解度を確認する</li> </ul>	
1 時間	20. 期末試験 (後期)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J N A ジェルネイル技能 検定試験 初級内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの学習範囲について理解度を確認する</li> </ul>	
年間授業時間数				108 時間

教科目名	ビジネス演習	学科・学年	総合ビューティ学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	ビジネスマナー・就職活動に関する講義、実習		
年間授業時間数	18時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきサービスマナーなどの関連知識の習得を高め就職活動に向けてのトレーニングを行う。		
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況、授業態度、学期末実技試験を加味し総合的に評価する。</li> <li>・成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価。</li> <li>・A (80点以上) ・B (60点～79点) ・C (40点～59点) ・D (不合格)</li> </ul>		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
1時間	1. 就職活動の実際	・目指す業界の現状、業態、規模、それぞれの求める人材などの解説講義	●自分の目指す業界の実際を把握し、就職活動をするにあたって必要なことを考えさせる。	
2時間	2. 就職活動の用語解説	・就職活動で使用される用語の解説	●実際に就職活動において使われている用語を把握し、企業説明会などで話されている内容を理解できるようにする。	
6時間	3. 面接内容の演習	・実際に面接でよく聞かれる内容について考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>●過去、面接で聞かれた内容について自分ならどう答えるのかを考える。</li> <li>●面接において質問応答に必要な自己分析をさせる。</li> </ul>	※面接例題プリント
4時間	4. 履歴書の書き方 志望動機・自己PRの考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に気持ちを伝える志望動機・自己PRの考え方を学ぶ。</li> <li>・丁寧に見やすい履歴書の書き方の実習。模擬企業説明会を行い、実際に志望動機を書いてみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「履歴書は企業へのラブレター」をモットーに相手に気持ちを伝える履歴書に仕上げるためにはどうしたらいいのかを考え実践。</li> <li>●企業研究の必要性を理解させる。</li> </ul>	※模擬履歴書
2時間	5. 面接練習	・グループ面接の練習を行う。入室、自己紹介、質問に対する応答。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●挨拶の仕方、姿勢、声のトーンなどを意識させる。</li> <li>●実際の面接練習風景を見学させ、どう見えるのかを実感させる。</li> </ul>	
2時間	6. グループディスカッション演習	・選考試験で行われるグループディスカッション演習を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループディスカッションの目的を理解させる。</li> <li>●グループでの自分の役割を考えさせ、発言の内容やまとめ方を学ばせる。</li> </ul>	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
1時間	7. 企業説明会でのマナー指導	・企業説明会におけるマナー講義	●実際に企業説明会に参加するときに必要なマナーを理解させる。	
年間授業時間数				18時間

教科目名	メイク・アップ I	学科・学年	総合ビューティ学科 1 年生
実務経験	あり <実務従事経験 9 年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	ナチュラルメイクアップ（基礎） [スキンケア・ベースメイク・アイメイク・アイブロウメイク・ブラッシュオンメイク・リップメイク]		
年間授業時間数	216 時間		
到達目標	メイクアップの基礎知識・技術を習得させる		
成績評価の方法・基準	期末試験・出席状況を総合として A（80 点以上） B（60 点～79 点） C（40 点～59 点） D（不合格）		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
6 時間	1. 教材確認・取り扱いの説明 2. メイク施術をする時の姿勢	・教材の名称、扱い方、使用目的 ・道具のセッティング ・施術を行う時の姿勢	●メイクアップの仕事についての心得、道具の扱い方、施術の姿勢について学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3 時間	3. スキンケア① クレンジング トーンング プロテクティング	・スキンケア（クレンジング～プロテクティングまで）自分の顔で実施 ・顔の構造、肌質、スキンケア理論	●スキンケアの手順・道具のセッティング、施術の姿勢、距離感、力加減などの注意点を学ばせる ●肌質別のカウンセリングの重要性を学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3 時間	4. スキンケア② クレンジング トーンング プロテクティング	・スキンケア（クレンジング～プロテクティングまで）相モデルで実施	●スキンケアの手順・道具のセッティング、施術の姿勢、距離感、力加減などの注意点を学ばせる ●肌質別のカウンセリングの重要性を学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3 時間	5. スキンケア③ クレンジング トーンング プロテクティング アクアパック	・スキンケア（クレンジング～プロテクティング、アクアパックまで）相モデルで実施	●スキンケアの手順・道具のセッティング、施術の姿勢、距離感、力加減などの注意点を学ばせる ●肌質別のカウンセリングの重要性を学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
6 時間	6. スキンケア復習	・スキンケア（クレンジング～プロテクティング、アクアパックまで）相モデルで実施	●スキンケアの手順・道具のセッティング、施術の姿勢、距離感、力加減などの注意点を学ばせる ●肌質別のカウンセリングの重要性を学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
6 時間	7. ベースメイク① ファンデーションとパウダリングの手順	・ベースメイク（ファンデーション～パウダリングまで）自分の顔で実施	●ベースメイクのファンデーションをムラなく綺麗に仕上げる	※テキスト ※スクールキット教材

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
6時間	8. ベースメイク② ファンデーションとパウダリングの手順	・ベースメイク(ファンデーション～パウダリングまで) 相モデルで実施	●ベースメイクのファンデーションをムラなく綺麗に仕上げる	※テキスト ※スクールキット教材
6時間	9. ベースメイク③ ファンデーションとパウダリングの手順	・ベースメイク(ファンデーション～パウダリングまで) 相モデルで実施	●ベースメイクのファンデーションをムラなく綺麗に仕上げる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	10. ベースメイク④ カバーホワイト	・カバーホワイト理論(ファンデーション、カバーホワイト、パウダリングまで)	●トラブルのカバーをしっかりとすることができるようにする	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	11. ベースメイク⑤ カバーホワイト	・カバーホワイト理論(ファンデーション、カバーホワイト、パウダリングまで)	●トラブルのカバーをしっかりとすることができるようにする	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	12. ベースメイク⑥ コントロールカラー	・コントロールカラー理論(ファンデーション、コントロールカラー、パウダリングまで)	●コントロールカラーについての理解と使い方を学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	13. ベースメイク⑦ ハイライトとローライト	・ハイライトとローライト理論(ファンデーション～ハイライト・ローライト、パウダリングまで)	●顔の骨格と光と影の付け方のバランスについて学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	14. ベースメイク⑧ 基本のハイライトとローライト	・基本の位置でのハイライト・ローライトの入れ方(ファンデーション～ハイライト・ローライト、パウダリングまで)	●顔の骨格と光と影の付け方のバランスについて学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
6時間	15. ベースメイクと基本のハイライト・ローライト復習	・基本の位置でのハイライト・ローライトの入れ方(ファンデーション～ハイライト・ローライト、パウダリングまで)	●顔の骨格と光と影の付け方のバランスについて学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	16. 基本のアイメイク理論	・基本のベースメイク～基本のアイメイク	●基本のアイメイクの手順と注意点を学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	17. アイメイク①	・基本のアイメイク(ピンクのアイカラー)	●色別のアイカラーの発色の出し方を学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	18. アイメイク②	・基本のアイメイク(オレンジのアイカラー)	●色別のアイカラーの発色の出し方を学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	19. アイメイク③	・基本のアイメイク(パープルのアイカラー)	●色別のアイカラーの発色の出し方を学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
6時間	20. 基本のアイブロウ理論	・アイブロウペンシルを削るペンシルの使い方 ・基本の形のアイブロウメイク	●顔の骨格に合わせたアイブロウを考え、施術できるように学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
3時間	21. アイブロウメイク①	・基本のアイブロウメイクとブルーのアイカラー	●アイメイクとアイブロウのバランスを考え、施術できるように学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	22. アイブロウメイク②	・基本のアイブロウメイクとグリーンのアイカラー	●アイメイクとアイブロウのバランスを考え、施術できるように学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
6時間	23. 基本のリップ理論	・基本のリップ理論 ・リップブラシの使い方、リップラインの取り方	●リップカラーの発色をしっかりと出せる描き方を学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	24. 基本のブラッシュオン理論	・基本のブラッシュオンの入れ方	●顔の骨格とバランス、立体感、血色を考え、施術できるように学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	25. 基本のフルメイクアップ (ピンクのアイカラー)	・基本のフルメイクアップ	●顔の骨格とバランスを考え、モデルに合わせたフルメイクができるように学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
15時間	26. 基本のフルメイクアップ (モデルのイメージに合わせたアイカラー)	・基本のフルメイクアップ	●顔の骨格とバランスを考え、モデルに合わせたフルメイクができるように学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	27. メイク理論の復習	・メイクアップの光と影の法則	●メイクの光と影の法則を理解させ学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	28. 光のメイクアップ① (ベースメイク理論)	・光のベースメイクを使ったフルメイク	●光のメイクアップの法則を理解させ学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	29. 光のメイクアップ② (ポイントメイク理論)	・光のフルメイク (ピンクのアイメイク)	●光のメイクアップの法則を理解させ学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	30. 光のメイクアップ③ (ポイントメイク理論)	・光のフルメイク (オレンジのアイメイク)	●光のメイクアップの法則を理解させ学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	31. 影のメイクアップ① (ベースメイク理論)	・影のベースメイクを使ったフルメイク	●影のメイクアップの法則を理解させ学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	32. 影のメイクアップ② (ポイントメイク理論)	・影のフルメイク (シルバーのアイメイク)	●影のメイクアップの法則を理解させ学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	33. 影のメイクアップ③	・影のフルメイク (パープルのアイメイク)	●影のメイクアップの法則を理解させ学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	34. 光のフルメイクアップ (モデルのイメージに合わせたアイカラー)	・光のフルメイクアップ	●光のメイクアップの法則を理解させ、モデルに合わせたフルメイクができるように学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
3時間	35. 影のフルメイクアップ	・影のフルメイクアップ (モデルのイメージに合わせたアイカラー)	●影のメイクアップの法則を理解させ、モデルに合わせたフルメイクができるように学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
15時間	36. メイクアップ技能検定試験 3級対策	・メイクアップ技能検定試験 3級の課題 (ナチュラルメイクアップ) ・スキンケア～フルメイクアップ(タイム取り 60分間)	●メイクアップ技能検定試験の課題を時間内に完成させる ●衛生面についての検定基準に沿って道具をセッティング・扱い方を学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
3時間	37. メイクアップの応用(イメージメイクアップ理論)	・イメージ別メイクアップ (キュート・セクシー・エレガント・クール)	●印象別イメージメイクについて学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
9時間	38. イメージメイクアップ②(セクシー)	・セクシー編 (色っぽい大人の女性の印象)	●セクシーに見せるための化粧品の質感・色・フォルム・強さ、それぞれのテクニックを学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
9時間	39. イメージメイクアップ③(エレガント)	・エレガント編 (上品で優雅な印象)	●エレガントに見せるための化粧品の質感・色・フォルム・強さ、それぞれのテクニックを学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
9時間	40. イメージメイクアップ④(クール)	・クール編 (知的な大人の女性の印象)	●クールに見せるための化粧品の質感・色・フォルム・強さ、それぞれのテクニックを学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
9時間	41. モデルのイメージに合わせたイメージメイク	・カウンセリングシート作成 ・カウンセリングシートに沿ってのイメージメイクアップ	●モデルのイメージをとらえ、カウンセリングを行い、シートに沿ったイメージに仕上げられるよう学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
6時間	42. メイクアップの応用(成人式の振袖メイク)	・和装メイクアップ(成人式)	●和装メイクアップの特徴を学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
6時間	43. パーソナルカラー理論	・パーソナルカラー理論(自己診断)	●パーソナルカラーについて理論を学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
12時間	44. パーソナルカラーメイク	・モデルのパーソナルカラーを診断 ・診断結果のカラーでメイクアップ	●パーソナルカラーを使用したメイクアップの違いを学ばせる	※テキスト ※スクールキット教材
年間授業時間数				216時間

教科目名	メイク学科	学科・学年	総合ビューティ学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	皮膚・肌の知識・肌の手入れと正しい知識・美肌美ボディ生活を送るには・日本化粧品検定2級受験対策		
年間授業時間数	18時間		
到達目標	日本化粧品検定2級の受験・合格を目指し習得する		
成績評価の方法・基準	期末試験・出席状況を総合としてA(80点以上) B(60点~79点) C(40点~59点) D(不合格)		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
2時間	1. まちがえがちな美容知識をチェック	・クレンジング、洗顔の基本 ・化粧品の基礎知識 ・肌悩み、お手入れの基本	●スキンケア～フルメイクアップまでの基本的知識を見直し、まちがえがちな美容知識をチェックする	※日本化粧品検定2・3級対策テキスト
2時間	2. 皮膚・肌について知ろう	・皮膚の構造 ・皮膚のしくみと働き ・皮膚の機能	●皮膚の構造としくみ・表皮のターンオーバー・真皮のしくみ・皮膚の付属器官について学ばせる	※日本化粧品検定2・3級対策テキスト
4時間	3. 肌の手入れと正しい知識	・肌タイプと見分け方 ・肌悩みの原因とお手入れ ①乾燥 ②ニキビ ③毛穴 ④しみ ⑤くすみ ⑥くま ⑦しわ・たるみ	●肌タイプ別に肌トラブル・悩み・原因・お手入れについて学ばせる	※日本化粧品検定2・3級対策テキスト
4時間	4. 肌の手入れと正しい知識	・メイクアップの基本テクニック ・肌悩みに応じた化粧品の使い方 ①毛穴隠し ②ニキビ隠し ③シミ隠し ④パング目 ⑤くま隠し ⑥赤ら顔カバー	●メイクアップの基本テクニック ●肌トラブルに応じての化粧品の使い方を学ばせる	※日本化粧品検定2・3級対策テキスト
2時間	5. 美肌・美ボディ生活を送るには	・肌を劣化させるさまざまな要因	●肌の劣化の要因について外的要因・内的要因を学ばせる	※日本化粧品検定2・3級対策テキスト
2時間	6. 美肌・美ボディ生活を送るには	・紫外線が肌に与える影響	●紫外線の種類・肌への影響・季節や天候による紫外線量・サンケア指数(SPF/PA)について学ばせる	※日本化粧品検定2・3級対策テキスト

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
2 時間	7. 後期期末試験対策	・皮膚、肌について知ろう ～肌の手入れと正しい知識までの範囲において期末試験の実施	●期末試験範囲を復習し学ばせる	※日本化粧品検定 2・3 級対策テキスト
年間授業時間数				18 時間

教科目名	社会常識	学科・学年	総合ビューティ学科 1年生
実務経験	なし		
授業方法	講義及び問題演習		
授業内容	社会常識、コミュニケーション、ビジネスマナーに関する基礎知識		
年間授業時間数	18 時間		
到達目標	社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力を習得している		
成績評価の方法・基準	期末試験、A (80 点以上)・B (60 点～79 点)・C (40 点～59 点)・D (不合格)		

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
4 時間	1. 社会と組織	社会の仕組みや制度、企業の役割	●現代社会に生きる一人の大人として必要な常識や心構えを学び、社会の中で企業がどのような位置づけにあるか。そこで働く個人に何が求められているかを理解させる。一般知識や計数感覚についても養う。	
	2. 仕事と成果	仕事に取り組む際に求められる心構え		
	3. 一般知識	日本語やビジネス知識		
	4. ビジネス計算	社会人に必要な基礎的計算力		
3 時間	5. ビジネスコミュニケーション	良い人間関係を作るコミュニケーション	●ビジネスシーンで、良い人間関係を築くための意思伝達スキルを学び、職場や社外でそれぞれの人間関係に応じた話し方、聞き方を身に付けることが仕事の成果につながることを理解させる。	
	6. 社会人にふさわしい言葉遣い	敬語の使い方、効果的な伝え方		
	7. ビジネス文書の活用	社内文書の書き方		
5 時間	8. 職場のマナー	組織の一員としてふさわしい行動	●来客対応、電話対応、冠婚葬祭など、業務に必要なマナーや知識、技能を習得し、社会人としてのたしなみ、幅広いビジネスシーンに対応できる振る舞い方を身に付けることが出来るようにさせる。	
	9. 来客対応	基本の心構えから状況に講じたもてなし		
	10. 電話対応	電話の特性を踏まえた対応力		
	11. 交際・業務	慶弔やお見舞いのマナー		
	12. 文書類の受け取りと発送	文書の取り扱いや郵便の役割、オフィス環境と事務機器		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
6 時間	13. 問題演習①	社会人常識マナー検定試験 問題	●問題を通して、正しい社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーションを学び、ビジネスパーソンとして活躍できるように基礎的知識を理解させる。	
	14. 問題演習②	社会人常識マナー検定試験 問題		
	15. 問題演習③	社会人常識マナー検定試験 問題		
	16. 問題演習④	社会人常識マナー検定試験 問題		
	17. 問題演習⑤	社会人常識マナー検定試験 問題		
	18. 問題演習⑥	社会人常識マナー検定試験 問題		
			年間授業時間数	18 時間

教科目名	色彩学	学科・学年	総合ビューティ学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験 10 年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	色の表示、光と色、色彩心理、色彩調和、ファッション、インテリア等の知識		
年間授業時間数	18 時間		
到達目標	A F T 色彩検定協会 色彩検定 3 級取得、および色彩の知識と技能を社会生活で役立てること		
成績評価の方法・基準	出席：30%、授業態度および課題提出：20%、期末試験：50%による総合評価		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3 時間	1. 色を表す方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>色に関する基礎知識（イントロ）</li> <li>色相環（マンセル、PCCS）</li> <li>トーン図（PCCS）</li> <li>色を言葉で表す方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●色に興味を持ってもらう</li> <li>覚えなければいけない図（マンセル、PCCS 表色系）の確実な習得</li> </ul>	
3 時間	2. 色と光	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の正体（：光）と光の性質 視覚のしくみ（目の構造、視細胞）</li> <li>色の見え方と照明（光源）の関係</li> <li>混色について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物理学、生理学、医学の知識が必要となる難解な部分。できるだけ分かりやすく、記憶に残るように指導</li> </ul>	
3 時間	3. 色と心理	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の持つ心理的効果</li> <li>様々な視覚効果（色が起こす現象）</li> <li>様々な知覚的効果（錯視）</li> <li>生活の中での色の働き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常生活に大きく関わりを持っている色の効果。それを知識として覚えるだけでなく、実生活で実践できるように指導</li> </ul>	
3 時間	4. 色の調和と効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>色相とトーンによる配色（カラーコーディネーション）</li> <li>様々な配色テクニックと効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●色彩検定で最も大切となる「配色」。続く「ファッション」「インテリア」の配色の基本ともなる。確実に基本を押さえる</li> </ul>	
3 時間	5. 色とファッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファッション業界・ファッションビジネスの基本</li> <li>ファッションカラーコーディネーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●A F T 色彩検定協会の母体はファッション関連組織。検定試験でも問題数では最多の部分。配色に重点をおいて指導</li> </ul>	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
2 時間	6. 色とインテリア	<ul style="list-style-type: none"><li>・インテリアカラーコーディネーションの方法</li><li>・インテリアと色彩効果</li><li>・インテリアの色彩検討</li></ul>	●実生活でも活用できる「実用性の高い」領域。興味を引き出しながら記憶に残るように指導	
1 時間	7. 色彩検定・過去問題対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・直前の集中過去問題演習</li></ul>	●色彩検定には「傾向と対策」がある。多くの過去問にあたることで、それを感得させる	
年間授業時間数				18 時間

教科目名	美容総合技術 I	学科・学年	総合ビューティ学科 1 年生
実務経験	あり <実務従事経験 9 年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	浴衣の着付け技術、着物の名称、ヘアアレンジ (新日本髪)		
年間授業時間数	180 時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づき着付け、ヘアアレンジの基礎を学び、実務的な職業能力を高め即戦力となる人材育成		
成績評価の方法・基準	学期末に期末試験を実施し、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行う。出席状況、授業態度も評価対象とする。		

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
10 時間	1. 編み込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編み込み基礎 (デモンストレーション)</li> <li>・三つ編み</li> <li>・縄編み</li> <li>・編み込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●編み込み手順の理解</li> <li>●編み込みスタイルの応用を学ぶ</li> </ul>	※ヘアアレンジ道具一式
10 時間	2. アイロン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイロンの使い方基礎 (デモンストレーション)</li> <li>・アイロンスタイルの応用               <ol style="list-style-type: none"> <li>①毛先巻き</li> <li>②根元巻き</li> <li>③スパイラル</li> <li>④カーリー</li> <li>⑤ウェーブ</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイロンの正しい持ち方の理解</li> <li>●アイロンスタイルの応用を学ぶ</li> </ul>	※アイロン一式
20 時間	3. ヘアアレンジ (カジュアル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポニーテールアレンジ (デモンストレーション)</li> <li>・スタイル作成 (ツイストアップ) (シニヨン)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アップスタイルの基礎を学ぶ</li> <li>●スタイルの応用を学ぶ</li> </ul>	※ヘアアレンジ道具一式
20 時間	4. ヘアアレンジ (パーティ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィッグスタイル</li> <li>・ヘアピーススタイル</li> <li>・夜会巻き (デモンストレーション)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アップスタイルの応用を学ぶ</li> <li>●ヘアスタイルをデザインさせる</li> </ul>	※ヘアアレンジ一式
50 時間	5. 浴衣の着付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴衣が一人で着られ、帯結びも自分で結べるように学習する</li> </ul>		※浴衣一式
40 時間	6. 着物の着付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相モデルで学ぶ</li> <li>・着崩れしないポイントを学ぶ</li> <li>・苦しくない腰紐、胸紐の場所を学ぶ</li> <li>・全体のバランスを考え、着丈、身幅を学ぶ</li> <li>・相モデルで帯が結べるように学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モデルの体型に合った着せ方を学ぶ</li> <li>●品格のある着付けを学ぶ</li> <li>●裾丈、裾合わせ、襟合わせを学ぶ</li> </ul>	※着物一式

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
30 時間	7. 日本髪	・日本独自のものとして発達してきた結び方を学ぶ	●前髪、左右の鬢、髷、髻の5つの部分から構成されている事を学ぶ ●粋な髪、上品な髪の違いを学ぶ ●全身に比べて髪だけが大きくなりすぎないように学ぶ	※日本髪道具一式
年間授業時間数				180 時間

教科目名	アロマテラピーⅡ	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
実務経験	なし		
授業方法	講義		
授業内容	アロマテラピーの歴史（先史時代～現代）、アロマテラピーの歴史年表、アロマテラピー検定2級対策		
年間授業時間数	18時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきアロマテラピーの基礎・応用技術、知識を学び、資格検定取得、実務的な職能能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価。</li> <li>A (80点以上) ・ B (60点～79点) ・ C (40点～59点) ・ D (不合格)</li> <li>学期末に期末試験を実施、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各出席状況、授業態度も評価対象とする。</li> </ul>		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
1時間	1. 精油の基礎知識 (エッセンシャルオイル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>精油（エッセンシャルオイル）の基礎知識</li> <li>精油が心身に作用する経路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●精油とは何か、精油の製造法について学ばせる</li> <li>●精油が心身に作用する経路や精油の作用について理解させる</li> </ul>	※アロマテラピー 検定テキスト2級
1時間	2. アロマテラピー利用法	<ul style="list-style-type: none"> <li>アロマテラピー利用法</li> <li>安全のための注意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さまざまな利用法、アロマトリートメントケアの方法について学ばせる</li> <li>●精油を安全に使うための注意を理解させる</li> </ul>	※アロマテラピー 検定テキスト2級
1時間	3. 精油（エッセンシャルオイル）のプロフィール	<ul style="list-style-type: none"> <li>10種類の精油について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●精油の種類、特徴を学ばせる</li> <li>●目的を理解させる</li> </ul>	※アロマテラピー 検定テキスト2級
1時間	4. 精油（エッセンシャルオイル）のプロフィール	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他精油について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1級にも対応できるように、他8種類の精油の特徴を学ばせて、使用目的などを理解させる</li> </ul>	※アロマテラピー 検定テキスト2級
1時間	5. アロマテラピーの歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>アロマテラピーの歴史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史上の人物とアロマテラピーの関係について学ばせる</li> </ul>	※アロマテラピー 検定テキスト2級
1時間	6. アロマテラピーの歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>アロマテラピーの年表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史上の人物とアロマテラピーの関係について学ばせる</li> </ul>	※アロマテラピー 検定テキスト2級
1時間	7. アロマテラピーと環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物と共に生きてきた私たちの歴史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人と植物との関係を理解させる</li> </ul>	※アロマテラピー 検定テキスト2級
1時間	8. アロマテラピーと環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●E C Oについて理解させる</li> <li>地球が抱える環境問題について学ばせる</li> </ul>	※アロマテラピー 検定テキスト2級
3時間	9. 精油（エッセンシャルオイル）の嗅ぎ分け	<ul style="list-style-type: none"> <li>香りのテキスト対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●試香紙を使用して10種類を理解させる</li> </ul>	※精油（エッセンシャルオイル） ※詩香紙

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
5 時間	10. 検定対策	・ 社団法人日本アロマ環境協会 アロマセラピー検定 2 級内容	● 社団法人日本アロマ環境協会 ● アロマセラピー検定 2 級合格	※対策プリント
1 時間	11. 期末試験（前期）	・ アロマセラピー検定 2 級内容	● これまでの学習範囲について理解度を確認する	
1 時間	12. 期末試験（後期）	・ アロマセラピー検定 2 級内容	● これまでの学習範囲について理解度を確認する	
年間授業時間数				18 時間

教科目名	エステティック学科Ⅱ	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	心身生理学、化粧品学、サロンでの衛生・消毒、エステティック関連法規、サロンマネジメント、エステティックカウンセリング理論		
年間授業時間数	108 時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきエステティックの基礎・応用技術、知識を学び、資格検定取得、実務的な職業能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	学期末に期末試験を実施し、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各種検定取得の目標達成の為所定の単位の修得を行っている。出席状況、授業態度も評価対象とする。		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
20 時間	1. 心身生理学	・ホメオスタシス(恒常性維持機能)の仕組みを具体的に理解する。自律神経、免疫系、内分泌系の仕組みと働きを理解し、生体環境へのストレスについて考える。	●心と脳、神経との関わり、ストレスと食欲の関係、肥満との関連。肌に対しての影響を考え、実際にお客様へのアドバイスにつなげられるようにする。	※日本エステティック業協会 ※心身生理学テキスト
12 時間	2. 化粧品学	・医薬品医療機器等法を理解した上で化粧品、医薬部外品の役割と定義を理解する。化粧品に含まれる成分を理解する。	●エステティック技術を行うにあたり化粧品原料・成分の特徴効果の知識を深め、肌状態に合った化粧品に関するコンサルテーションができるようになる。	※化粧品学テキスト
8 時間	3. サロンでの衛生・消毒	・公衆衛生について歴史を含め理解する。エステティック業で行われる消毒と滅菌について理解し消毒方法全般に関する理解を深める。	●エステティシャンにとっての衛生管理の必要性を理解し、実践できるようにする。	※サロンでの衛生・消毒テキスト
4 時間	4. エステティック関連法規	・エステティック契約、施術に関連する様々な法律を学ぶ。日本エステティック振興協議会策定の「エステティック業統一自主基準」を理解する。	●エステティック業に従事するために、関連する法律の基礎知識を学び、エステティックの安心・安全の社会的意義と、その重要性を理解し、コンプライアンス(法令等の遵守)の意識を育てる。	※エステティック関連法規テキスト
10 時間	5. サロンマネジメント	・サロン運営における業務の流れや、商品説明のロールプレイング、お客様の目に留まるPOP作成などの実践をする。	●エステティシャンの接客に必要なホスピタリティマインド(おもてなしの心)を育てる。	※サロンマネジメントテキスト

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
10 時間	6. エステティックカウンセリング理論	・エステティックサロンにおけるカウンセリングと心理学カウンセリングの違いを理解し、エステティシャンがアドバイスする行為をコンサルティングとして理解する。	●心理的カウンセリングの手法と、コンサルティングのアドバイスの要素をふまえたエステティックカウンセリングの全体を理解し、お客様の心に響くエステティックカウンセラーとしての意識を育てる。	※エステティックカウンセリングテキスト
42 時間	7. A E A 上級認定エステティシャン筆記試験対策	・ J E O 認証 A E A エステティシャン認定試験例題集の全問解説	●全問解説をし、反復練習をさせる。	※日本エステティック業協会テキスト全巻 ※ J E O 認証 A E A エステティシャン認定試験 例題集
2 時間	8. 期末試験	・ J E O 認証 A E A E エステティシャン認定試験と同範囲	● A E A 上級認定エステティシャン取得の為。	
年間授業時間数				108 時間

教科目名	エステティック技術Ⅱ	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
業方法	実習		
授業内容	ボディマッサージ応用(痩身マッサージ)、ボディ機器トリートメント(超音波機器・吸引機器)、フェイシャルエステティック応用(スリミング、ガルバニック、超音波)、リフレクソロジー、エステティックカウンセリング、AEA上級認定エステティシャン試験対策		
年間授業時間数	216時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づき、エステティックの基礎・応用技術、知識を学び、エステティック資格検定取得、実務的な職業能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	学期末に期末試験、検定試験前に模擬試験を実施し、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各種検定取得の目標達成の為所定の単位の修得を行っている。出席状況、授業態度も評価対象とする。		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
21時間	1. ボディマッサージ応用(痩身マッサージ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>皮下脂肪(セルライト)に対するシェイプマッサージの実践</li> <li>美しいプロポーションバランスを意識し、セルライト、むくみのある部分に対して直接働きかけるマッサージの手法を学ぶ。</li> </ul> 相モデル実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>●セルライトの部分と状態を正しく把握し、状態に合わせた正しい力加減でマッサージを行う。又、むくみ、筋肉、脂肪の違いを理解し手技を選択できるようにする。</li> </ul>	※粧材
6時間	2. ボディ技術(超音波機器)	<ul style="list-style-type: none"> <li>超音波機器トリートメントで機械によるマイクロマッサージの実践。</li> </ul> 相モデル実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正確に機器を使用できるようにする。</li> <li>●機器トリートメントの禁忌を理解し安全に使用できるようにする。</li> </ul>	※超音波機器
12時間	3. フェイシャル技術(超音波機器)	<ul style="list-style-type: none"> <li>超音波機器トリートメントで機械によるマイクロマッサージの実践。繊維組織、脂肪組織の構造を整え、スリミング(小顔)効果を実感する。</li> </ul> 相モデル実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正確に機器を使用できるようにする。</li> <li>●機器トリートメントの禁忌を理解し安全に使用できるようにする。</li> </ul>	※超音波機器
18時間	4. フェイシャル技術(ガルバニック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>直流(ガルバニック)電流を利用し、イオン導入、エレクトロクレンジングを行う。</li> </ul> 相モデル実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正確に機器を使用できるようにする。</li> <li>●機器トリートメントの禁忌を理解し安全に使用できるようにする。</li> </ul>	※フェイシャル機器(ラルジュ) ※粧材
18時間	5. リフレクソロジー実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>足底部の反射区への刺激を行うことで体のメンテナンスにつながることの実践</li> </ul> 相モデル実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お客様とコミュニケーションをとり力加減の確認をし、それに合わせた刺激ができるようにする。</li> </ul>	※粧材

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
6 時間	6. ボディ技術 (吸引機器)	・リンパドレナージュの観点から、適度な加圧刺激を行い、吸引によるマッサージの実践 相モデル実習	● 正確に機器を使用できるようにする。 ● 機器トリートメントの禁忌を理解し安全に使用できるようにする。	※フェイシャル機器 (ラルジュ) ※粧材
28 時間	7. フェイシャルカウンセリング	・フェイシャルシートに基づき、肌状態、生活習慣の確認。肌タイプの把握。使用化粧品の選定。ホームケアアドバイスの実践。 相モデル実習	● お客様とのコミュニケーションの方法を理解し、コンサルテーションに必要な情報を把握できるようにする。肌タイプを正確に判断できるようにし、必要なアドバイスができるようにする。	※フェイシャルシート
30 時間	8. ボディカウンセリング	・ボディシートに基づき、健康状態、体型などの確認をし、BMI 値、標準体重の計算をする。身体の悩みを把握し、お客様の目標が達成できるよう適切なアドバイスをする。 相モデル実習	● お客様とのコミュニケーションの方法を理解し、コンサルテーションに必要な情報を把握できるようにする。BMI 値、標準体重を正確に計算でき、それに伴った体格の把握ができるようにする。 ● お客様の目標に合わせて必要なアドバイスができるようになる。	※ボディシート
75 時間	9. A E A 上級認定エステティシャン実技試験対策	・ A E A 上級認定エステティシャン実技試験内容に沿った対策授業。 模擬試験実施	● A E A 上級認定エステティシャン実技試験採点基準による。	
2 時間	10. 期末試験	・ A E A 上級認定エステティシャン筆記試験出題内容に沿った範囲で出題	● 模擬試験で実技。期末試験では筆記で出題。	
年間授業時間数				216 時間

教科目名	ネイル・ケアⅡ	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験 10年以上>		
授業方法	講義・実習		
授業内容	イクステンション技術、プロテックコレクション（スカルプチュア、チップ&オーバーレイ、ミックスメディア・アート）、ジェルネイル応用		
年間授業時間数	216時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきネイル、ジェルネイルの基礎・応用技術、知識を学び、資格検定取得、実務的な職能能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価。</li> <li>・A（80点以上）・B（60点～79点）・C（40点～59点）・D（不合格）</li> <li>・学期末に期末試験を実施、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各出席状況、授業態度も評価対象とする。</li> </ul>		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
16時間	1. 検定対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JNEC ネイリスト技能 検定試験 2級内容</li> <li>・ ネイルケア→チップラップ →フラットアート（トレーニング相モデル）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● JNEC ネイリスト技能 検定試験 2級合格</li> <li>● 2級合格レベルのネイルケア、チップラップの理解</li> <li>● フラットアート、テーマに沿ったアート決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※スクールキット</li> <li>※お湯</li> </ul>
10時間	2. 検定対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JNEC ネイリスト技能 検定試験 2級内容</li> <li>・ ネイルケア→チップラップ →フラットアート（トレーニング相モデル）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● JNEC ネイリスト技能 検定試験 2級合格</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※スクールキット</li> <li>※お湯</li> </ul>
2時間	3. アクリルネイル（理論）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクリルネイルの用具</li> <li>・ ネイルチップの基礎知識と仕込み</li> <li>・ アクリルネイルの材料</li> <li>・ アクリルネイルの材料学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アクリルネイルの基礎知識、技術の重要ポイントを抑え、学ばせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※テクニカルシステム</li> <li>※アドバンス</li> </ul>
6時間	4. アクリルネイル 5. イクステンション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロダクトコントロール チップオーバーレイ（ナチュラル）</li> <li>・ デモンストレーション（ハンド）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チップオーバーレイ手順の理解</li> <li>● ハーフウェルチップを使用しているアクリルネイルイクステンション手順の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※スクールキット</li> </ul>
14時間	6. アクリルネイル 7. イクステンション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チップオーバーレイ（ナチュラル）（トレーニング相モデル）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チップオーバーレイ手順の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※スクールキット</li> </ul>
8時間	8. アクリルネイル 9. イクステンション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクリルスカルプチュア（ナチュラル）</li> <li>・ デモンストレーション（ハンド）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アクリルスカルプチュア手順の理解</li> <li>● フォームを使用しているアクリルイクステンションの手順の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※スクールキット</li> </ul>

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
16時間	10. アクリルネイル 11. イクステンション	・アクリルスカルプチュア(ナチュラル) (トレーニング相モデル)	●アクリルスカルプチュア手順の理解	※スクールキット
10時間	12. アクリルネイル(アート)	・アクリルネイルアート(ミックスメディアアート) (トレーニング相モデル)	●アクリルスカルプチュア手順の理解	※スクールキット
2時間	13. フットケア(理論)	・フットケア概論 ・足の構造と名称 ・皮膚科学/生理解剖学 ・足のトラブル ・爪や皮膚の病気とトラブル ・衛生管理と消毒法 ・フットトリートメント理論	●フットケアの基礎知識技術のポイントを抑え学ばせる	※JNAテクニカルシステム(フットケア)
4時間	14. フットケア	・フットケア手順 ・セッティング→ファイリング→キューティクルクリーン ・デモンストレーション (トレーニング相モデル)	●セッティング、ファイリング～キューティクルクリーンまでの手順の理解	※JNAテクニカルシステム(フットケア)
4時間	15. フットケア	・フットトリートメント ・マッサージ→スクラブ→パック ・デモンストレーション (トレーニング相モデル)	●フットトリートメントの手順とフット用化粧品の使用法の理解	※JNAテクニカルシステム(フットケア)
4時間	16. フットケア	・フットカラーリング(ポリッシュ・ジェル)	●フットカラーリングの手順の理解	※JNAテクニカルシステム(フットケア)
10時間	17. 検定対策	・JNECネイリスト技能検定試験 1級内容 ・アクリルスカルプチュア ・チップオーバーレイ ・ミックスメディアアート (トレーニング相モデル)	●JNECネイリスト技能検定試験 1級合格 ●アクリルネイルの理解(1級内容) ●テーマに沿ったミックスメディアアート決定	※スクールキット
10時間	18. 検定対策	・JNECネイリスト技能検定試験 1級内容 ・アクリルスカルプチュア ・チップオーバーレイ ・ミックスメディアアート (トレーニング相モデル)	●JNECネイリスト技能検定試験 1級合格	※スクールキット
6時間	19. ジェルネイル 20. イクステンション	・ジェルチップオーバーレイデモンストレーション (ハンド)	●ジェルチップオーバーレイ手順の理解 ●ハーフウェルチップを使用してのジェルイクステンション	※スクールキット
14時間	21. ジェルネイル 22. イクステンション	・ジェルチップオーバーレイ (トレーニング相モデル)	●ジェルチップオーバーレイ手順の理解	※スクールキット

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
8時間	23. ジェルネイル 24. イクステンション	・ジェルスカンプチュアネイル (ショート) ・デモンストレーション (ハンド)	●ジェルスカンプチュア手順の理解フォームを使用 してのジェルイクステン ション	※スクールキット
14時間	25. ジェルネイル 26. イクステンション	・ジェルスカンプチュアネイル (ショート) (トレーニング相モデル)	●ジェルスカンプチュア手 順の理解	※スクールキット
4時間	27. ジェルネイル 28. グラデーション	・グラデーション(ピンク) ・デモンストレーション (ハンド)	●グラデーションの手順と 理解	※スクールキット
12時間	29. ジェルネイル 30. グラデーション	・グラデーション(ピンク) (トレーニング相モデル)	●グラデーションの手順と 理解	※スクールキット
6時間	31. ジェルネイル 32. フレンチ	・フレンチネイル(ホワイト) ・デモンストレーション (ハンド)	●フレンチネイルの手順の 理解 ●フレンチネイルのゴール デンバランスの理解	※スクールキット
14時間	33. ジェルネイル 34. フレンチ	・フレンチネイル (ホワイト) (トレーニング相モデル)	●フレンチネイルの手順の 理解	※スクールキット
10時間	35. 検定対策	・JNAジェルネイル技能検 定試験 中級内容 ・グラデーション ・ショートスカンプチュア、 フレンチ (トレーニングアイモデル)	●JNAジェルネイル技能 検定試験 中級合格 ●中級レベルに合わせた、フ レンチネイル、グラデーシ ョン、ショートスカンプチ ュアの理解	※スクールキット
10時間	36. 検定対策	・JNAジェルネイル技能検 定試験 中級内容 ・グラデーション ・ショートスカンプチュア、 フレンチ (トレーニングアイモデル)	●JNAジェルネイル技能 検定試験 中級合格	※スクールキット
1時間	37. 期末試験(前期)	・JNECネイリスト技能検 定試験 2級内容	●これまでの学習範囲につ いて理解度を確認する	
1時間	38. 期末試験(後期)	・JNAジェルネイル技能検 定試験 中級内容	●これまでの学習範囲につ いて理解度を確認する	
年間授業時間数				216時間

教科目名	メイク・アップⅡ	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	メイクアップ(応用) [イメージメイク・舞台メイク・メイクアップ技能検定試験(2級)対策 色の変化(色み・色相・色調・濃淡)によるメイクアップ・ブライダルメイク・映像メイク]		
年間授業時間数	180時間		
到達目標	メイクアップの基礎知識・技術を復習しながら応用知識・技術を習得する		
成績評価の方法・基準	期末試験・出席状況を総合としてA(80点以上) B(60点~79点) C(40点~59点) D(不合格)		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
3時間	1. イメージメイクアップ① (キュート)	・印象を変えるメイクテクニック (キュート編)	●ベース～リップメイクにおいて可愛らしく優しい印象に見せるための質感・色・フォルム・強さそれぞれのテクニックを学ぶ	※プリント ※スクール教材キット
3時間	2. メイクレッスン① 舞台メイク (キャッツメイク)	・トニーズコレクション講師来校 *舞台メイク(キャッツ)	●舞台メイクでテーマは「キャッツ」 ●動物メイクの特徴・メイクテクニックを学ぶ	※スクール教材キット
3時間	3. イメージメイクアップ② (キュート)	・トニーズコレクション講師来校 *舞台メイク(キャッツ)	●舞台メイクでテーマは「キャッツ」 ●動物メイクの特徴・メイクテクニックを学ぶ	※スクール教材キット
3時間	4. イメージメイクアップ① (フレッシュ)	・印象を変えるメイクテクニック (フレッシュ編)	●ベース～リップメイクにおいてアクティブな印象に見せるための質感・色・フォルム・強さそれぞれのテクニックを学ぶ	※スクール教材キット
3時間	5. イメージメイクアップ② (フレッシュ)	・印象を変えるメイクテクニック (フレッシュ編)	●ベース～リップメイクにおいてアクティブな印象に見せるための質感・色・フォルム・強さそれぞれのテクニックを学ぶ	※スクール教材キット
3時間	6. イメージメイクアップ① (エレガント)	・印象を変えるメイクテクニック (エレガント編)	●ベース～リップメイクにおいて上品で優雅な印象に見せるための質感・色・フォルム・強さそれぞれのテクニックを学ぶ	※スクール教材キット
3時間	7. イメージメイクアップ② (エレガント)	・印象を変えるメイクテクニック (エレガント編)	●ベース～リップメイクにおいて上品で優雅な印象に見せるための質感・色・フォルム・強さそれぞれのテクニックを学ぶ	※スクール教材キット

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
3 時間	8. メイクレッスン② 舞台メイク (宝塚メイク)	・ トニーズコレクション講師来校 舞台メイク (宝塚メイク)	● 舞台メイクでテーマは「宝塚」 ● 男役・女役それぞれの特徴・メイクテクニックを学ぶ	※スクール教材キット
3 時間	9. イメージメイクアップ① (クール)	・ 印象を変えるメイクテクニック (クール編)	● ベース～リップメイクにおいてかっこいい知的な印象に見せるための質感・色・フォルム・強さそれぞれのテクニックを学ぶ	※スクール教材キット
3 時間	10. イメージメイクアップ② (クール)	・ 印象を変えるメイクテクニック (クール編)	● ベース～リップメイクにおいてかっこいい知的な印象に見せるための質感・色・フォルム・強さそれぞれのテクニックを学ぶ	※スクール教材キット
3 時間	11. メイクアップ技能 検定試験 (2 級) 対策①	・ モデルの印象に合ったイメージメイクを 50 分間で仕上げる ・ ファンデーションの多色塗り・ポイントメイクをイメージ別で仕上げる	● メイクアップ技能検定試験の課題を時間内に完成させる	※スクール教材キット
3 時間	12. メイクアップ技能 検定試験 (2 級) 対策②	・ モデルの印象に合ったイメージメイクを 50 分間で仕上げる ・ ファンデーションの多色塗り・ポイントメイクをイメージ別で仕上げる	● メイクアップ技能検定試験の課題を時間内に完成させる	※スクール教材キット
3 時間	13. 色調によるイメージ②	・ モデルの印象に合ったイメージメイクを 50 分間で仕上げる ・ ファンデーションの多色塗り・ポイントメイクをイメージ別で仕上げる	● メイクアップ技能検定試験の課題を時間内に完成させる	※スクール教材キット
3 時間	14. 筆記対策①	・ メイクアップ概論/プロポーション/皮膚生理学/色彩/ベースメイク/アイメイク/アイブロウ/リップ/ブラッシュオン/投光角度	● テキスト・プリントを使用し試験範囲で出題傾向に合わせた練習問題を何度も繰り返し行う。	※テキスト・プリント
3 時間	15. メイクアップ技能 検定試験 (2 級) 対策③	・ モデルの印象に合ったイメージメイクを 50 分間で仕上げる ・ ファンデーションの多色塗り・ポイントメイクをイメージ別で仕上げる	● メイクアップ技能検定試験の課題を時間内に完成させる	※スクール教材キット

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
3 時間	16. 筆記対策②	・メイクアップ概論/プロポーション/皮膚生理学/色彩/ベースメイク/アイメイク/アイブロウ/リップ/ブラッシュオン/投光角度	●テキスト・プリントを使用し試験範囲で出題傾向に合わせた練習問題を何度も繰り返し行う。	※テキスト・プリント
3 時間	17. メイクアップ技能検定試験 (2 級) 対策④	・モデルの印象に合ったイメージメイクを 50 分間で仕上げる ・ファンデーションの多色塗り・ポイントメイクをイメージ別で仕上げる	●メイクアップ技能検定試験の課題を時間内に完成させる	※スクール教材キット
3 時間	18. 筆記対策③	・メイクアップ概論/プロポーション/皮膚生理学/色彩/ベースメイク/アイメイク/アイブロウ/リップ/ブラッシュオン/投光角度	●テキスト・プリントを使用し試験範囲で出題傾向に合わせた練習問題を何度も繰り返し行う。	※テキスト・プリント
3 時間	19. メイクアップ技能検定試験 (2 級) 対策⑤	・モデルの印象に合ったイメージメイクを 50 分間で仕上げる ・ファンデーションの多色塗り・ポイントメイクをイメージ別で仕上げる	●メイクアップ技能検定試験の課題を時間内に完成させる	※スクール教材キット
3 時間	20. 筆記対策④	・メイクアップ概論/プロポーション/皮膚生理学/色彩/ベースメイク/アイメイク/アイブロウ/リップ/ブラッシュオン/投光角度	●テキスト・プリントを使用し試験範囲で出題傾向に合わせた練習問題を何度も繰り返し行う。	※テキスト・プリント
3 時間	21. メイクアップ技能検定試験 (2 級) 対策⑥	・モデルの印象に合ったイメージメイクを 50 分間で仕上げる ・ファンデーションの多色塗り・ポイントメイクをイメージ別で仕上げる	●メイクアップ技能検定試験の課題を時間内に完成させる	※スクール教材キット
6 時間	22. メイクアップ技能検定試験 (2 級) 対策⑦	・模擬試験の実施 ・試験要項に沿って試験中の注意点等を確認しながら検定当日と同じ流れで実施する	●衛生管理の基準に合わせた道具の扱い方・時間内にメイクアップを仕上げる	※テキスト・プリント ※スクールキット教材
6 時間	23. メイクアップ技能検定試験	・検定試験の実施 (実技試験 50 分間・筆記試験 25 問 80 点以上合格 20 分間)	●イメージメイクアップ (キュート or エレガント) を 50 分間でスキンケア～フルメイクまで仕上げる	※テキスト・プリント ※スクールキット教材

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
3 時間	24. 前期期末試験筆記 対策①	・メイクアップ技能検定 2 級の試験範囲から出題	●メイクアップ概論/プロポーション/皮膚生理学/色彩/ベースメイク/アイメイク/アイブロウ/リップ/ブラッシュオン/投光角度の範囲内を復習し学ばせる	※テキスト・プリント
3 時間	25. 前期期末試験筆記 対策②	・メイクアップ技能検定 2 級の試験範囲から出題	●メイクアップ概論/プロポーション/皮膚生理学/色彩/ベースメイク/アイメイク/アイブロウ/リップ/ブラッシュオン/投光角度の範囲内を復習し学ばせる	※テキスト・プリント
3 時間	26. 前期期末試験筆記 対策③	・メイクアップ技能検定 2 級の試験範囲から出題	●メイクアップ概論/プロポーション/皮膚生理学/色彩/ベースメイク/アイメイク/アイブロウ/リップ/ブラッシュオン/投光角度の範囲内を復習し学ばせる	※テキスト・プリント
3 時間	27. 色みによるイメージ①	・ウォーム系 (黄) とクール系 (青) を使用した色みによるイメージメイク	●メイクアップの色みウォーム系 (活発)・クール系 (モダン) をそれぞれに使用して印象の違いを学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
3 時間	28. 色みによるイメージ②	・ウォーム系 (黄) とクール系 (青) を使用した色みによるイメージメイク	●メイクアップの色みウォーム系 (活発)・クール系 (モダン) をそれぞれに使用して印象の違いを学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
3 時間	29. 色みによるイメージ③	・ウォーム系 (黄) とクール系 (青) を使用した色みによるイメージメイク	●メイクアップの色みウォーム系 (活発)・クール系 (モダン) をそれぞれに使用して印象の違いを学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
6 時間	30. メイクレッスン③ ブライダル①	・トニーズコレクション 講師来校 ブライダルヘアメイク・撮影	●ドレス選び・ヘアメイクデザインを考えモデルに合ったブライダルヘアメイクを実践する。ヘア・メイク・ドレス着付けまでを担当し撮影まで行う。	※スクールキット教材 ※ドレス・髪飾り
6 時間	31. メイクレッスン④ ブライダル②	・トニーズコレクション 講師来校 ブライダルヘアメイク・撮影	●ドレス選び・ヘアメイクデザインを考えモデルに合ったブライダルヘアメイクを実践する。ヘア・メイク・ドレス着付けまでを担当し撮影まで行う。	※スクールキット教材 ※ドレス・髪飾り

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
3時間	32. 色調によるイメージ①	・明るい色調(ブライトトーン)と深い色調(ディープトーン)などを使用した色調によるイメージメイク	●ブライトトーン(明るく爽やか)・ディープトーン(強いイメージ)などいろいろな色調の組み合わせによる印象の変化・違いを学ばせる	※スクールキット教材
3時間	33. 色調によるイメージ③	・明るい色調(ブライトトーン)と深い色調(ディープトーン)などを使用した色調によるイメージメイク	●ブライトトーン(明るく爽やか)・ディープトーン(強いイメージ)などいろいろな色調の組み合わせによる印象の変化・違いを学ばせる	※スクールキット教材
3時間	34. 色相によるイメージ①	・同一色相、反対色相を使用したイメージメイク	●同一色相(落ち着き・上品)と反対色相(派手・活動的)の組み合わせによる印象の変化・違いを学ばせる	※スクールキット教材
3時間	35. 色相によるイメージ②	・同一色相、反対色相を使用したイメージメイク	●同一色相(落ち着き・上品)と反対色相(派手・活動的)の組み合わせによる印象の変化・違いを学ばせる	※スクールキット教材
3時間	36. 色相によるイメージ③	・同一色相、反対色相を使用したイメージメイク	●同一色相(落ち着き・上品)と反対色相(派手・活動的)の組み合わせによる印象の変化・違いを学ばせる	※スクールキット教材
3時間	37. 色の濃淡の組み合わせによるイメージ①	・淡い目元・淡い口元	●目元と口元の両方の色みを抑えることで表情そのものの美しさを引き出しピュアな表情の演出を学ばせる	※スクールキット教材
3時間	38. 色の濃淡の組み合わせによるイメージ②	・淡い目元・淡い口元	●目元と口元の両方の色みを抑えることで表情そのものの美しさを引き出しピュアな表情の演出を学ばせる	※スクールキット教材
3時間	39. 色の濃淡の組み合わせによるイメージ③	・淡い目元・淡い口元	●目元と口元の両方の色みを抑えることで表情そのものの美しさを引き出しピュアな表情の演出を学ばせる	※スクールキット教材
6時間	40. メイクレッスン⑤ 映像メイク (グラフィック①)	・トニーズコレクション 講師来校 映像メイク (グラフィック)	●映像メイクでグラフィック撮影を ●する場合のメイクテクニック・特徴を学ぶ	※スクールキット教材

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3時間	41. 色の濃淡の組み合わせによるイメージ④	・ 濃い目元、濃い口元	● 口元を大胆に強調し目元の色みをぐっと抑えそのコントラストによるシックな大人っぽさの演出を学ばせる	※スクールキット教材
3時間	42. 色の濃淡の組み合わせによるイメージ⑤	・ 薄い目元、濃い口元	● 口元を大胆に強調し目元の色みをぐっと抑えそのコントラストによるシックな大人っぽさの演出を学ばせる	※スクールキット教材
3時間	43. 色の濃淡の組み合わせによるイメージ⑥	・ 薄い目元、濃い口元	● 口元を大胆に強調し目元の色みをぐっと抑えそのコントラストによるシックな大人っぽさの演出を学ばせる	※スクールキット教材
3時間	44. 色の濃淡の組み合わせによるイメージ⑦	・ 濃い目元、薄い口元	● 目元を大胆に強調し口元の色みをぐっと抑えそのコントラストによって洗練された大人の表情の演出を学ばせる	※スクールキット教材
3時間	45. 色の濃淡の組み合わせによるイメージ⑧	・ 濃い目元、薄い口元	● 目元を大胆に強調し口元の色みをぐっと抑えそのコントラストによって洗練された大人の表情の演出を学ばせる	※スクールキット教材
3時間	46. 色の濃淡の組み合わせによるイメージ⑨	・ 濃い目元、薄い口元	● 目元を大胆に強調し口元の色みをぐっと抑えそのコントラストによって洗練された大人の表情の演出を学ばせる	※スクールキット教材
3時間	47. 色の濃淡の組み合わせによるイメージ⑩	・ 濃い目元、濃い口元	● 目元と口元の両方を強調することでグラマラスでドラマチックな表情の演出を学ばせる	※スクールキット教材
3時間	48. 色の濃淡の組み合わせによるイメージ⑪	・ 濃い目元、濃い口元	● 目元と口元の両方を強調することでグラマラスでドラマチックな表情の演出を学ばせる	※スクールキット教材
3時間	49. 色の濃淡の組み合わせによるイメージ⑫	・ 濃い目元、濃い口元	● 目元と口元の両方を強調することでグラマラスでドラマチックな表情の演出を学ばせる	※スクールキット教材
6時間	50. メイクレッスン⑥ 映像メイク (グラフィック②)	・ トニーズコレクション 講師来校 映像メイク (グラフィック)	● メイクレッスン⑤と同じ媒体のサイズによりメイクテクニックも変わってくるということを学び使用するカラー等を変えて実施する	※スクールキット教材

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3 時間	51. 後期期末試験 筆記対策①	・メイクアップ技能検定 2・3 級の試験範囲から出題	●メイクアップ概論/プロ ポーション/皮膚生理学/ 色彩/ベースメイク/アイ メイク/アイブロウ/リッ プ/ブラッシュオン/投光 角度の範囲内総まとめ	※テキスト・プリント
3 時間	52. 後期期末試験 筆記対策②	・メイクアップ技能検定 2・3 級の試験範囲から出題	●メイクアップ概論/プロ ポーション/皮膚生理学/ 色彩/ベースメイク/アイ メイク/アイブロウ/リッ プ/ブラッシュオン/投光 角度の範囲内総まとめ	※テキスト・プリント
3 時間	53. 後期期末試験 筆記対策③	・メイクアップ技能検定 2・3 級の試験範囲から出題	●メイクアップ概論/プロ ポーション/皮膚生理学/ 色彩/ベースメイク/アイ メイク/アイブロウ/リッ プ/ブラッシュオン/投光 角度の範囲内総まとめ	※テキスト・プリント
3 時間	54. 後期期末試験 筆記対策④	・メイクアップ技能検定 2・3 級の試験範囲から出題	●メイクアップ概論/プロ ポーション/皮膚生理学/ 色彩/ベースメイク/アイ メイク/アイブロウ/リッ プ/ブラッシュオン/投光 角度の範囲内総まとめ	※テキスト・プリント
年間授業時間数				180 時間

教科目名	メイク学科	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	皮膚・肌の知識・肌の手入れと正しい知識・美肌美ボディ生活を送るには・日本化粧品検定2級受験対策		
年間授業時間数	18時間		
到達目標	日本化粧品検定2級の受験・合格を目指し習得する		
成績評価の方法・基準	期末試験・出席状況を総合として A(80点以上) B(60点~79点) C(40点~59点) D(不合格)		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
2時間	1. 効果的なマッサージの必要性と方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的なフェイスマッサージ</li> <li>身体のリンパ節とリンパの流れ</li> <li>頭皮マッサージ</li> </ul>	●身体のリンパ節・リンパの流れを考えたフェイスマッサージ・頭のマッサージ方法について学ばせる	※日本化粧品検定2級・3級対策テキスト
2時間	2. 美しい肌をつくる生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>睡眠がもたらす効果</li> <li>食事&amp;飲み物</li> <li>運動</li> <li>入浴</li> </ul>	●美肌をつくるための生活習慣について学ばせる	※日本化粧品検定2級・3級対策テキスト
2時間	3. 検定対策①	・日本化粧品検定2級内容	●美容知識・美容皮膚科学・メイクアップ・生活習慣美容について全般の範囲を復習・検定合格を目指す	※日本検定試験2級・3級対策テキスト 問題集プリント
2時間	4. 検定対策②	・日本化粧品検定2級内容	●美容知識・美容皮膚科学・メイクアップ・生活習慣美容について全般の範囲を復習・検定合格を目指す	※日本検定試験2級・3級対策テキスト 問題集プリント
2時間	5. 検定対策③	・日本化粧品検定2級内容	●美容知識・美容皮膚科学・メイクアップ・生活習慣美容について全般の範囲を復習・検定合格を目指す	※日本検定試験2級・3級対策テキスト 問題集プリント
2時間	6. 検定対策④	・日本化粧品検定2級内容	●美容知識・美容皮膚科学・メイクアップ・生活習慣美容について全般の範囲を復習・検定合格を目指す	※日本検定試験2級・3級対策テキスト 問題集プリント
2時間	7. 検定対策⑤	・日本化粧品検定2級内容	●美容知識・美容皮膚科学・メイクアップ・生活習慣美容について全般の範囲を復習・検定合格を目指す	※日本検定試験2級・3級対策テキスト 問題集プリント

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
2 時間	8. 検定対策⑥	・ 日本化粧品検定 2 級内容	●美容知識・美容皮膚科学・ メイクアップ・生活習慣 美容について全般の範囲 を復習・検定合格を目指 す	※日本検定試験 2 級・3 級 対策テキスト 問題集プリント
2 時間	9. 検定対策⑦	・ 日本化粧品検定 2 級内容	●美容知識・美容皮膚科学・ メイクアップ・生活習慣 美容について全般の範囲 を復習・検定合格を目指 す	※日本検定試験 2 級・3 級 対策テキスト 問題集プリント
年間授業時間数				18 時間

教科目名	選択<エステティック>	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	エステティック		
年間授業時間数	108時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきエステティックの応用技術知識を学び、サービスマナーなどの関連知識の習得を高める。		
成績評価の方法・基準	評価付けなし		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
18時間	1. ボディトリートメント応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エステティックの目的の一つであるスキンケアの実践</li> <li>ボディスクラブ</li> <li>パラフィントリートメント</li> </ul>	●肌状態に合わせて粧材を選択できるようにする。	※粧材
18時間	2. ボディパック応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なタイプのパックを実践的に使用する。</li> <li>ピールオフパック</li> <li>スリミングパック</li> </ul>	●肌状態に合わせて粧材を選択できるようにする。	※粧材
15時間	3. メジャーリング(採寸)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全身のサイズを把握するためにメジャーリングを行う。</li> </ul>	●正しいメジャーの使い方を学び効率よく正確に採寸できるようにする。	※メジャー
15時間	4. エステティック機器応用(ボディ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な機器の中から選択し機器トリートメントの実践をする。</li> <li>バイブレーション機器</li> <li>低周波機器</li> <li>超音波機器</li> <li>吸引機器(サクション)</li> </ul>	●お客様の目的をヒアリングし、効果的な機器トリートメントを選択できるようにする。	※ボディ機器(G5) (ベルシェイブ) (超音波機器) (ラルジュ)
15時間	5. エステティック機器応用(フェイシャル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な機器の中から選択し機器トリートメントの実践をする。</li> <li>吸引機器</li> <li>ブラシクレンジング</li> <li>超音波機器</li> <li>直流機器</li> <li>パター</li> </ul>	●お客様の目的をヒアリングし、効果的な機器トリートメントを選択できるようにする。	※フェイシャル機器(ラルジュ) (超音波機器)
15時間	6. フェイシャルパック応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なタイプのパックを実践的に使用する。</li> <li>ピールオフパック</li> <li>石膏パック</li> </ul>	●肌状態に合わせて粧材を選択できるようにする。	※粧材

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
12 時間	7. 美容ライト脱毛実習	・美容ライト脱毛を実践し、技術の幅を広げる。	●毛質、毛色、肌色に対してのボリュームを設定できるようにする。 ●機械を正しく使用できるようになる。 ●アフターケアの説明ができるようになる。	※美容ライト脱毛機器（ルテラ）
年間授業時間数				108 時間

教科目名	選択<ネイル・メイク>	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
実務経験	ネイル/なし ・ メイク/あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	ネイル(前期)・メイク(後期)		
年間授業時間数	108時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきネイルケア基礎・応用技術、知識を学び、資格検定取得、実務的な職能能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	評価付けなし		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
4時間	1. ジェルネイル (アート)	・マープル、水彩画、大理石柄、べっ甲柄、フラワーアート、ドロップアート デモンストレーション (ハンド)	●各種ジェルアートの理解	※スクールキット
10時間	2. ジェルネイル (アート)	・デザイン決定 チップ10本制作	●今までに学習したアート技法を用いて、チップ作成	※スクールキット
6時間	3. アクリルネイル イクステンション	・アクリルスカルプチュアイクステンション (ホワイト・ピンク) デモンストレーション (ハンド)	●フレンチスカルプチュア手順の理解	※スクールキット
6時間	4. アクリルネイル イクステンション	・アクリルスカルプチュアイクステンション (ホワイト・ピンク) (トレーニングアイモデル)	●フレンチスカルプチュア手順の理解	※スクールキット
4時間	5. カラーポリッシュ	・カラーポリッシュ フレンチネイル (ホワイト・ナチュラルスキンカラー) デモンストレーション (ハンド)	●カラーポリッシュフレンチネイルの理解 ●モデルに合ったナチュラルスキンカラー決定	※スクールキット
6時間	6. アクリルネイル (イクステンション アート)	・アクリルスカルプチュアイクステンション ・デザインスカルプチュア デモンストレーション (ハンド)	●デザインスカルプチュアの手順の理解 ●埋め込みエンボスフラワー作成	※スクールキット

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
18時間	7. アクリルネイル (アート)	・3D、立体アート、エンボスアート デモンストレーション	●立体フラワーアート、ワイヤーを使用したのフラワーアートの手順の理解 ●アルミホイルをしようしての立体の動物の作成	※スクールキット
3時間	8. 顔型の変化	・大人と子供の顔のバランス	●大人と子供の顔のバランスやパーツの違いを見極める	※プリント ※スクールキット教材
3時間	9. パーツの形と与える印象	・パーツの形(直線・曲線)による印象の変化	●直線と曲線のそれぞれのフォルムを知り、その人の顔の印象を確認する	※プリント ※スクールキット教材
9時間	10. メイクによる視覚的錯覚	・視覚的錯覚によるかたちの構成	●形・線・太さ・輪郭の大きさ・色の濃淡による変化を学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
3時間	11. スペースバランシング (バランスの調整)	・標準のプロポーション	●顔・眉・目・唇それぞれの標準プロポーションを学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
3時間	12. スペースバランシング	・バランスの見方	●スペースにより大きく影響されている人の印象を学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
3時間	13. スペースバランシング	・スペース調整のポイント	●色によるスペース調整、面によるスペース調整、パーツの大きさによるスペース調整を学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
3時間	14. スペースバランシング	・スペースによる印象変化	●顔の大きさ、パーツは同じでも配置によって印象が変わることを学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
3時間	15. スペースバランシング①	・肌色の調整	●肌色の1色使い・2色使いの違いを学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
3時間	16. スペースバランシング②	・頬の調整	●チークカラーの入れ方により顔の大きさが違って見えることを学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
3時間	17. スペースバランシング③	・上まぶたの調整 ・下まぶたの調整	●ハイライト・シャドウを使ってスペースの変化を学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
3時間	18. スペースバランシング④	・目頭の調整	●ハイライト・シャドウを使ってスペースの変化を学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
3時間	19. スペースバランシング⑤	・眉の調整	●眉の長さ・太さによりまぶたのスペースが変化することを学ばせる	※プリント ※スクールキット教材

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3 時間	20. スペースバランス⑥	・眉の角度の調整	●眉山の位置を高く・低く角度を調整することで顔の長さが違って見えることを学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
3 時間	21. スペースバランス⑦	・唇の調整	●唇の大きさによりフェイスラインが違って見えることを学ばせる	※プリント ※スクールキット教材
6 時間	22. スペースバランスの応用	・面長な顔の調整 ・丸い顔の調整	●面長・丸顔のスペースを分析し、眉・目・唇の描き方を工夫して顔のスペースを調整する	※プリント ※スクールキット教材
年間授業時間数				108 時間

教科目名	美容総合技術Ⅱ	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	着物の着付け技術、ヘアアレンジ（コーンロウ）		
年間授業時間数	144時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づき着付け、ヘアアレンジの基礎を学び、実務的な職業能力を高め即戦力となる人材育成		
成績評価の方法・基準	学期末に期末試験を実施し、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行う。出席状況、授業態度も評価対象とする。		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
20時間	1. 編み込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>編み込み基礎（デモンストレーション）</li> <li>三つ編み</li> <li>縄編み</li> <li>編み込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●編み込み手順の理解</li> <li>●編み込みスタイルの応用を学ぶ</li> </ul>	※ヘアアレンジ材料一式
4時間	2. アイロン	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイロンの使い方基礎（デモンストレーション）</li> <li>アイロンスタイルの応用               <ul style="list-style-type: none"> <li>①毛先巻き</li> <li>②根元巻き</li> <li>③スパイラル</li> <li>④カーリー</li> <li>⑤ウェーブ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイロンの正しい持ち方の理解</li> <li>●アイロンスタイルの応用を学ぶ</li> </ul>	※アイロン一式
5時間	3. ヘアアレンジ（カジュアル）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポニーテールアレンジ（デモンストレーション）</li> <li>スタイル作成（ツイストアップ）（シニヨン）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アップスタイルの基礎を学ぶ</li> <li>●スタイルの応用を学ぶ</li> </ul>	※ヘアアレンジ材料一式
5時間	4. ヘアアレンジ（パーティ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウィッグスタイル</li> <li>ヘアピーススタイル</li> <li>夜会巻き（デモンストレーション）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アップスタイルの応用を学ぶ</li> <li>●ヘアスタイルをデザインさせる</li> </ul>	※ヘアアレンジ道具一式
15時間	5. 合わせ着物の着付け 6. 長襦袢の着付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人で着られるように学習する</li> </ul>		※着物一式
15時間	7. 着物のたたみ方 8. 長襦袢のたたみ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>本たたみ</li> <li>夜具たたみ</li> </ul>	●着物の種類によって、たたみ方の違いを学習する	※着物一式
15時間	9. 帯結び	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋帯の結び方を覚えさせる</li> </ul>		
5時間	10. 用具（小物）の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>着付けに必要な用具と名称を覚える</li> </ul>		※用具一式

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
20 時間	11. 留袖の着付け 12. 二重太鼓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留袖着付け実習</li> <li>・裾丈、裾合わせ、襟合わせなどを学ぶ</li> <li>・着崩れしない結び方を学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年齢、体型に合わせて着付けを学ぶ</li> <li>●体型に合った帯の大きさ、バランスを学ぶ</li> <li>●全体的に品格を重んじた着付けを学ぶ</li> </ul>	※着物一式
40 時間	13. コーンロウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編み込みを応用しアレンジを学ぶ</li> <li>・全体のバランスとテンションの与え方を学ぶ</li> <li>・編み込みの一つ一つを正確に学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●裏編みでヘアアレンジができることを学ぶ</li> <li>●性格なパーツが作れるように学ぶ</li> </ul>	※ヘアアレンジ道具一式
年間授業時間数				144 時間

教科目名	コンピュータ実習Ⅱ	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
実務経験	なし		
業方法	実習		
授業内容	エクセルの基本と応用		
年間授業時間数	36時間		
到達目標	一般的なエクセルの利用技術の修得		
成績評価の方法・基準	出席状況、授業態度、提出物、試験結果を基に、A：80点以上、B：60点～79点、C：40点～59点、D（不可）：40点未満の評価とする。		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
2時間	1. Excel入門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起動と終了</li> <li>・データ入力の基本</li> </ul>	●ワークシートへのデータ入力を理解する。	
5時間	2. 基本的な表作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数式と合計の求め方</li> <li>・セル参照と数式</li> <li>・連続データ</li> <li>・合計、平均、連続データ</li> <li>・平均、最大、最小</li> </ul>	●基本的な表作成を理解する。	
3時間	3. 絶対参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成比</li> <li>・累計の計算</li> <li>・相対参照・絶対参照・複合参照</li> </ul>	●相対参照と絶対参照の違いを理解する。	
5時間	4. 基本的な関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最大、最小</li> <li>・条件にもとづく処理</li> <li>・数える</li> <li>・論理関数</li> <li>・端数処理</li> </ul>	●基本的な関数の使い方を理解する。	
7時間	5. グラフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円、折れ線、集合縦棒</li> <li>・積み上げ縦棒</li> <li>・積み上げ横棒</li> <li>・レーダーチャート</li> <li>・バブルチャート</li> <li>・補助円グラフ付き円グラフ</li> <li>・複合グラフ</li> </ul>	●グラフの利用を修得する。	
2時間	6. シート分析と入力規則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条件付き書式</li> <li>・ユーザー定義の表示形式と入力規則</li> </ul>	●シート分析と入力規則の修得。	
8時間	7. 関数の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順位付け</li> <li>・別表を検索して参照</li> <li>・条件処理と検索参照</li> <li>・切捨てと剰余</li> <li>・文字列検索</li> <li>・条件で集計</li> <li>・時間の計算</li> <li>・日付の管理</li> </ul>	●Excelの主な関数を修得する。	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
2 時間	8. マルチワークシート	<ul style="list-style-type: none"><li>作業グループ 3D 集計</li><li>3D 集計、リンク貼り付け</li><li>グラフシート、パレートと ABC 分析</li></ul>	● 3D 集計の修得及びパレート図の作成と ABC 分析。	
2 時間	9. 他アプリケーションとの連携	<ul style="list-style-type: none"><li>Word に貼り付け</li></ul>	● 他のアプリケーションとの連携を理解する。	
年間授業時間数				36 時間

【客観的な指数に基づく成績の分布を示す資料】

○平成 30 年度

客観的な指標の算出方法						
履修科目成績評価を点数化し全科目の合計点で各学年の順位を算定する						
学科名	美容学科	学年	1	学生数	38	
成績の分布						
指標の数値	～50 点	51 ～60 点	61 ～70 点	71 ～80 点	81 ～90 点	91 ～100 点
人数	4	9	12	12	0	0
下位 1/4 に該当する人数			9 名			
下位 1/4 に該当する指標の数値			67 点以下			

客観的な指標の算出方法						
履修科目成績評価を点数化し全科目の合計点で各学年の順位を算定する						
学科名	総合ビューティ学科	学年	1	学生数	10	
成績の分布						
指標の数値	～50 点	51 ～60 点	61 ～70 点	71 ～80 点	81 ～90 点	91 ～100 点
人数	1	0	2	4	3	0
下位 1/4 に該当する人数			2 名			
下位 1/4 に該当する指標の数値			77 点以下			